NMP-1000 ネットワークメディアプレーヤー

ユーザーマニュアル（バージョン： 1.1.3）

目次

お客様へ

QNAP 製品をお買い求めいただきましてありがとうございます！このユーザーマニュアルは NMP-1000 を使用する為の詳しい使用説明を記載しております。内容を良くお読みいただき、NMP-1000 のパワフルな性能を満喫してください!

- このマニュアルでは NMP-1000 のすべての機能について説明しております。ご購入いただいた製品は、特定モデル限定の機能に対応していない場合があります。
- すべての機能、性能、及びその他の製品特性は、事前の通知及びその義務なしに変更される場合があります。
- 記載されているすべてのブランド及び製品名称は各社の商標です。

保証

QNAP Systems, Inc.（QNAP)は、ソフトウェアまたはその文書による直接、間接、特別、偶発的、または結果的損害について、製品に対し支払われた価格を超えるいかなる責任も負いません。QNAP は明示黙示、あるいは法定を問わず、その製品、内容、または本書及び付属のソフトウェアの使用において一切の保証または表記を行わず、また特に、その質、性能、商業価値、あるいはいかなる特別な使用目的への適応についてもその責任を負わないものとします。QNAP は、いかなる個人あるいは団体に対し通知の義務を負うことなく、その製品、ソフトウェア、あるいは書類について変更あるいは更新する権利を留保します。

注意

- データ損失を防ぐため、定期的にシステムをバックアップしてください。QNAP はいかなるデータ損失あるいは修復についてもその責任を負いません。
- NMP-1000 梱包品のコンポーネントを返金あるいは修理のため返送する際は、配送中の破損を防ぐため適切に梱包してください。不適切な梱包によるいかなる破損も補償外となります。

Copyright and trademark notices

HDMI, the HDMI logo and High-Definition Multimedia Interface are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing, LLC.

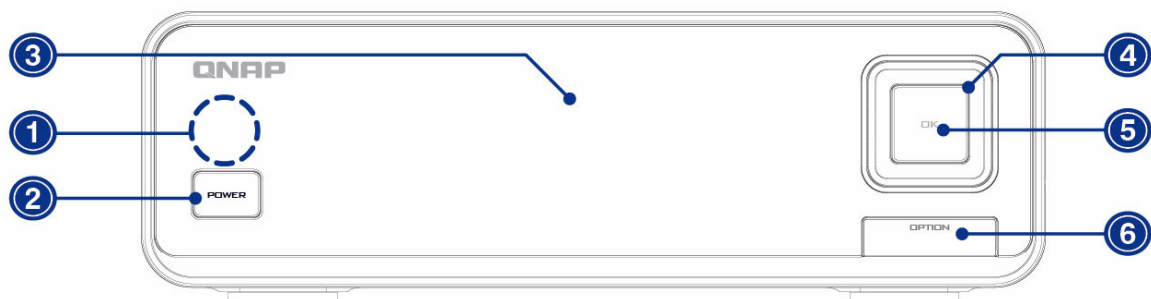
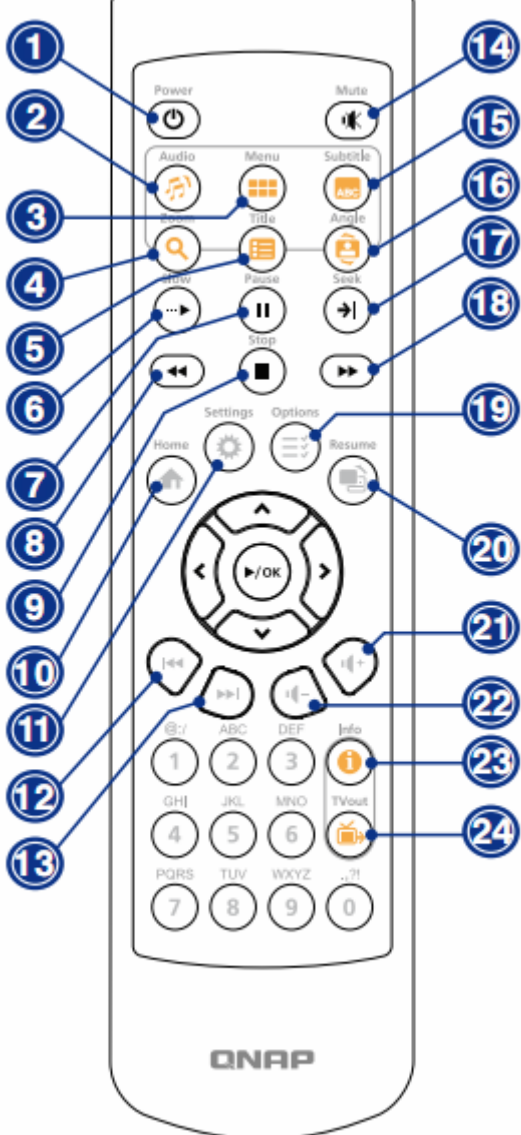
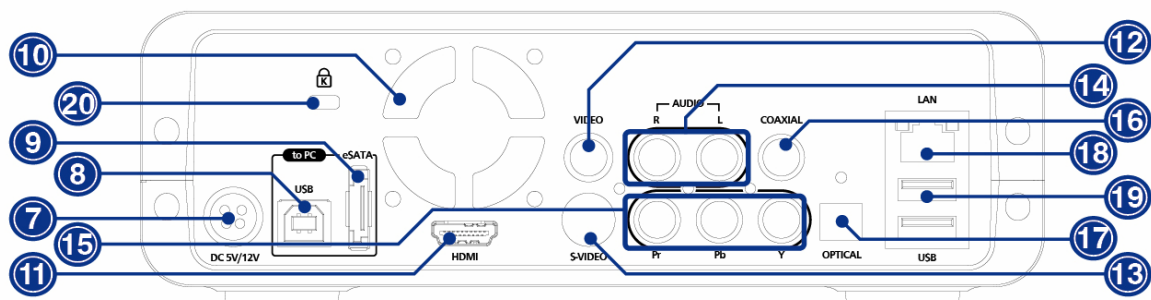
Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

1. はじめに

1.1 製品に含まれるもの

NMP-1000 梱包品は以下の内容を含みます。品物が不足している場合は、販売代理店または再販業者にご連絡ください。

NMP-1000	電源コード	アダプタ
HDMI ケーブル	AV ケーブル	USB ケーブル
イーサネット ケーブル	ねじ一式	クイックインストール ガイド
CD-ROM	リモートコントロール	2x 単 4 アルカリ電池

1.2　ハードウェア図解

1.	IR レシーバー
2.	電源ボタン
3.	VFD ディスプレイ
4.	方向ボタン
5.	OK/ 再生ボタン
6.	オプションボタン

7.	DC 入力
8.	USB デバイスポート
9.	eSATA デバイスポート
10.	ファン
11.	HDMI
12.	複合ビデオ
13.	S-ビデオ
14.	アナログステレオ出力
15.	コンポーネント(Y, Pb, Pr)
16.	S/PDIF　同軸
17.	S/PDIF　オプティカル
18.	LAN
19.	USB ホスト
20.	K-ロック　セキュリティスロット

1.3 リモートコントロール

1. Power (電源)
2. Audio (オーディオ)
3. DVD Menu (DVD メニュー)
4. Zoom (ズーム)
5. DVD Title (DVD タイトル)
6. Slow (スロー)
7. Pause (一時停止)
8. Rewind (巻き戻し)
9. Stop (停止)
10. Home (ホーム)
11. Settings (設定)
12. Previous (前)
13. Next (次)
14. Mute (ミュート)
15. Subtitle (字幕)
16. Angle (rotate photo) (角度(写真を回転))
17. Seek (検索)
18. Fast forward (早送り)
19. Options (オプション)
20. Resume (Fortfahren) (戻る(再生中の画面へ))
21. Volume up (音量を上げる)
22. Volume down (音量を下げる)
23. Info(情報)
24. TV out (TV 出力)

a. Previous menu (前のメニュー)
b. Move up (上に移動)
c. Play / OK (再生/ OK)
d. Next menu (次のメニュー)
e. Move down (下に移動)

2. ハードウェアを取り付ける

2.1 必要なもの

NMP-1000 を取り付ける前に、以下のものを確認してください:

- ハードディスクドライブ（NMP-1000 に取り付けます）
- TV
- オーディオアンプ（オプション）
- 使用可能なブロードバンドインターネット（オプション)*
- コンピュータ(Windows XP, Vista, Mac OS X, あるいは Linux）

*NMP-1000 は、実際にネットワークケーブルで接続することなく、USB ワイヤレスアダプタ (802.11b/g/n)を通し WEP/WPA-PSK エンコードを使用してネットワークに接続することができます。
ネットワークからの HD ビデオ再生には、有線接続の使用をお勧めいたします。

2.2 ハードドライブを取り付ける

当製品は主要メーカーの 3.5 インチSATAハードディスクドライブに対応しています。HDD対応表は、http://www.qnap.com/にてご覧ください。

QNAP は、ハードディスクの誤使用あるいは不適切な取り付けにより発生した製品の破損/誤作動あるいはデータ損失/修復について、いかなる事由・状況に関わらず一切の責任を負いません。

以下の説明に従いハードドライブ(別売)を NMP-1000 に取り付けてください。

1. ふたを開けます。

2. ディスクトレイを持ち上げ、静かに引き出します。

3. ディスクトレイ上にハードディスクを取り付け、4 つのねじで固定します。

4. ディスクトレイをメディアプレーヤーに挿入します。

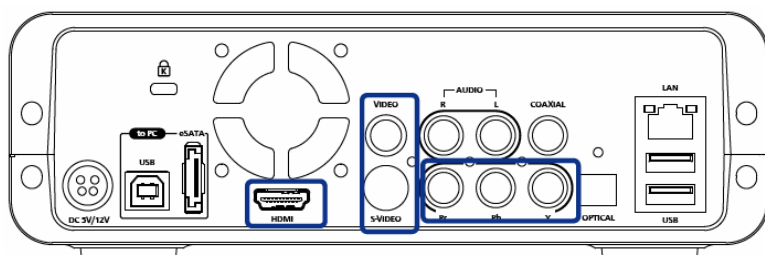
5. ディスクトレイをねじで固定します。

6. ふたを閉めます。カバーが適切に閉じるとカチッという音がします。

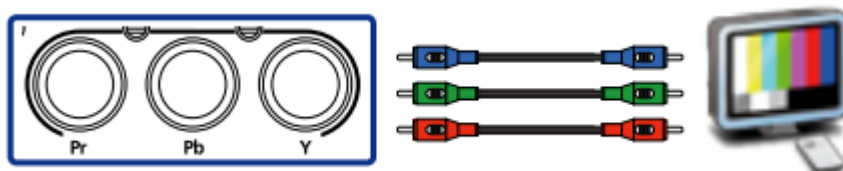
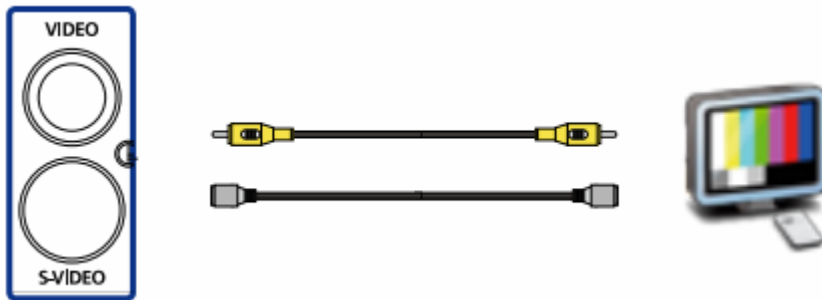
7. メディアプレーヤーを電源に接続します。

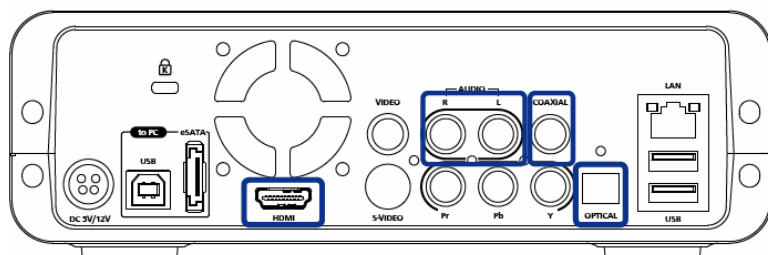
2.3 NMP-1000 をビデオ及びオーディオ出力に接続する

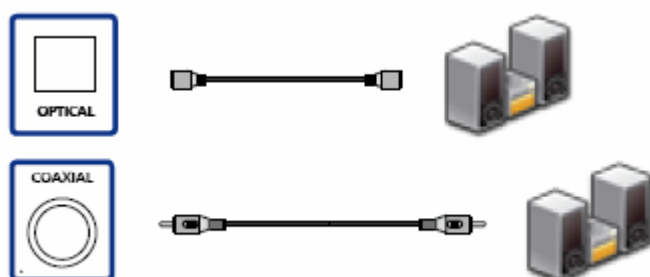
NMP-1000 ネットワークメディアプレーヤーは、TV あるいはオーディオシステム上の音楽、写真、またはビデオを再生するよう設計されています。NMP-1000 の適切なビデオ及びオーディオ出力を TV あるいはオーディオアンプに接続してください。

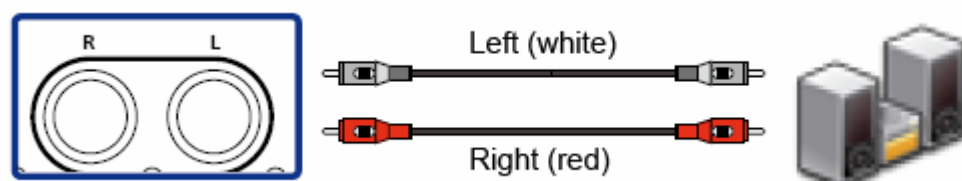
2.3.1 ビデオ

以下の方法のいずれかに従って NMP-1000 を TV に接続してください。

a. HDMI (TV/ アンプ)*: NMP-1000 を HDMI ケーブルを使用してアンプ(当てはまる場合)あるいは TV に接続してください。

b. コンポーネント:NMP-1000 をコンポーネントケーブル(梱包物には含まれていません)を使用して TV に接続してください。追加のオーディオケーブルが必要です。

c.　S-ビデオ/複合：NMP-1000 を S-ビデオ（梱包物には含まれていません)または複合ビデオケーブル（黄色)を使用して TV に接続してください。

*ビデオ及びオーディオ信号は、同じ HDMI ケーブルを通して送信されます。HDMI インターフェイスをご利用の場合は、オーディオケーブルの追加は必要ありません。

2.3.2 オーディオ

NMP-1000 を以下の方法のいずれかに従ってオーディオ機器に接続してください。

a. S/PDIF (同軸/オプティカル): NMP-1000 を S/PDIF 同軸あるいはオプティカルケーブル(梱包物には含まれていません)を使用してアンプに接続してください。

注意:オプティカルあるいは同軸ケーブル接続後に音声が聞こえない場合は、NMP-1000 のオーディオ出力設定を使用して S/PDIF 構成を変更してください。

b. 複合(オーディオ):NMP-1000 を複合オーディオケーブル(赤及び白)を使用して TV あるいはアナログ出力(例:アンプあるいはスピーカー)に接続してください。

*HDMI インターフェイスを使用する場合、ビデオ及びオーディオ信号は同じ HDMI ケーブルを通して送信されます。

3. システムを初期化する

システムを初期化する前に、NMP-1000 に新しいハードディスクドライブが取り付けられていることを確認してください。

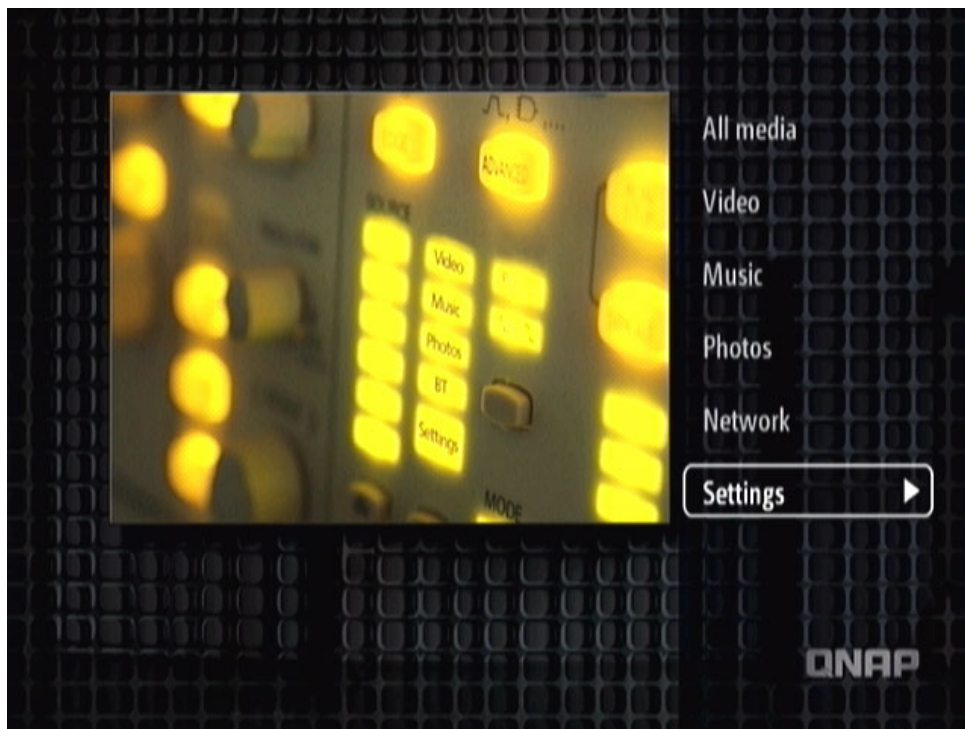
1. NMP-1000 のリモートコントロールに単 4 アルカリ電池を二つ入れます。

2. リモートコントロールを使用して NMP-1000 の電源を入れます。

3. TV の正しい信号入力を選択します。(NMP−1000 と TV またはアンプを接続しているビデオまたはオーディオ入力が、TV 入力と合致するよう確認してください。)

注意:TV に黒い画面が表示された場合、NMP−1000 のリモートコントロール上の "TV out(TV 出力)"キーを押してください。解像度は 480i, 480p, 576i, 576p に切り替えられます。 正しい信号が表示されるまでお待ちください。解像度は後ほど手動で構成することが出来ます。

4. オンスクリーン指示に従いシステムを初期化します。*
   *取り付けた HDD の既存ファイルがシステムによって確認されない場合、HDD をフォーマットするようメッセージが表示されます。

ハードドライブがフォーマットされた後、ホームメニューが表示されます。“Settings(設定)”に進みます。言語を選択しオーディオ及びビデオ出力、その他の設定を構成します。

4.　再生用のデジタルコンテンツを取得する

NMP－1000を使用してローカルハードディスク（別売)あるいはローカルネットワーク上のデジタルコンテンツを再生することが出来ます。再生用のデジタルコンテンツを取得するには以下の方法のいずれかを選択してください。

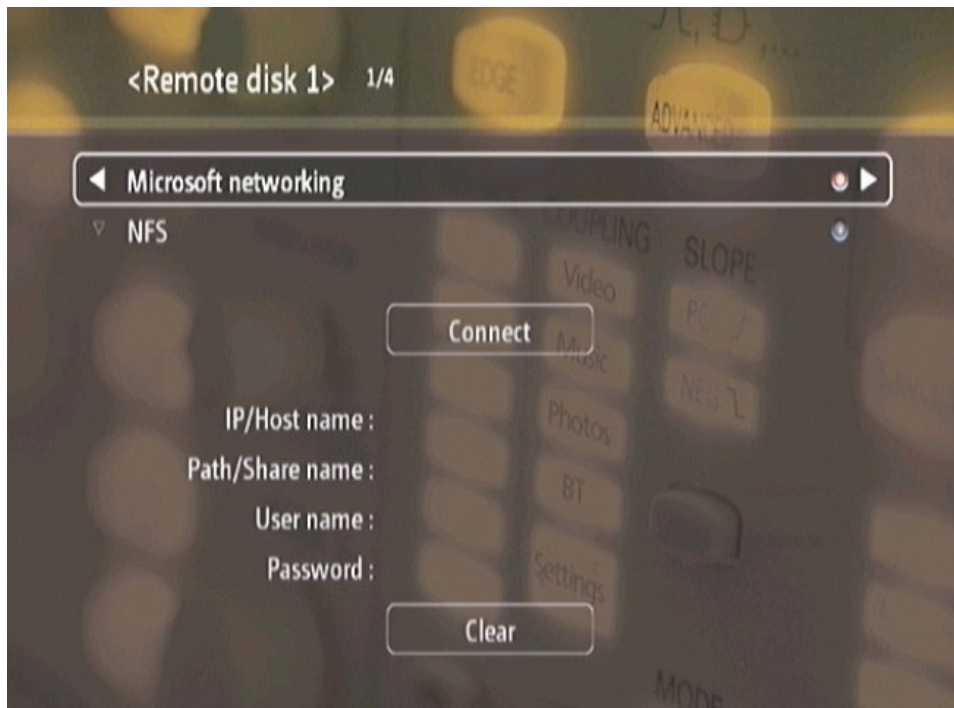
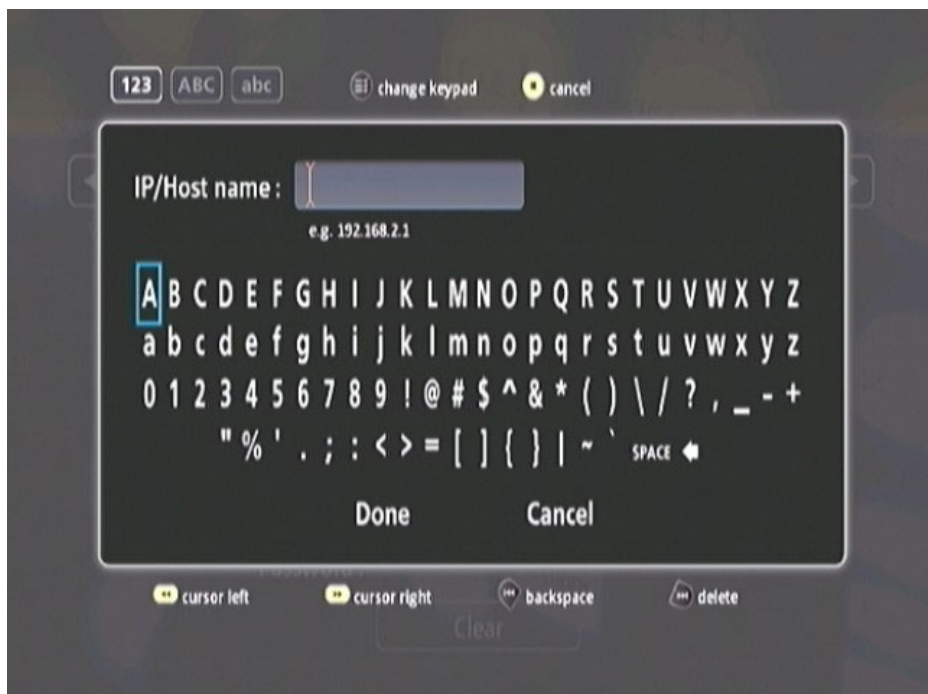
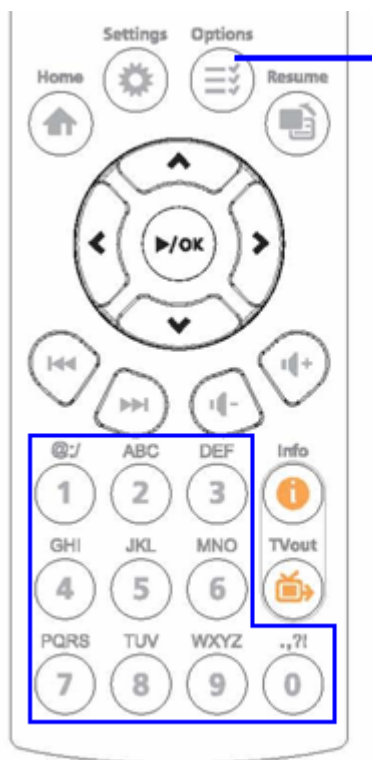
4.1　ネットワーク接続を使用する

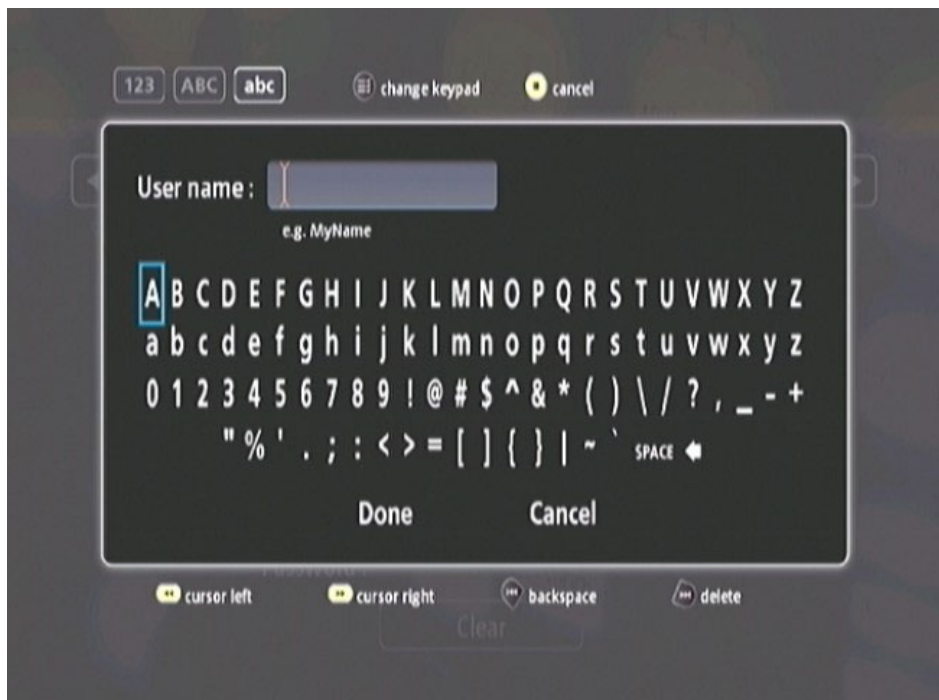
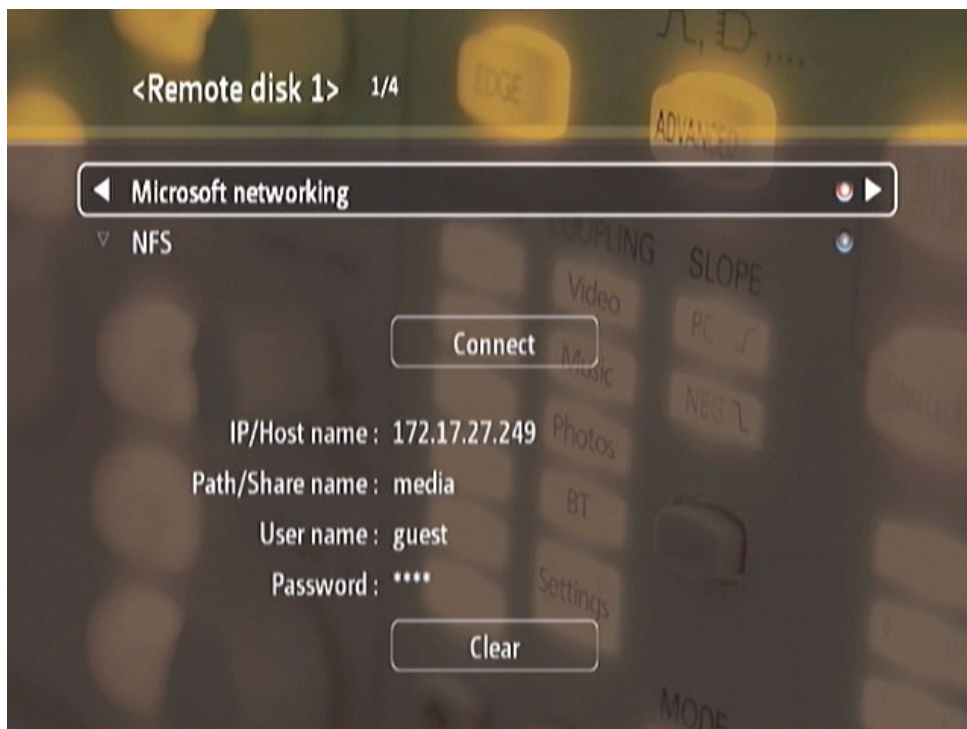
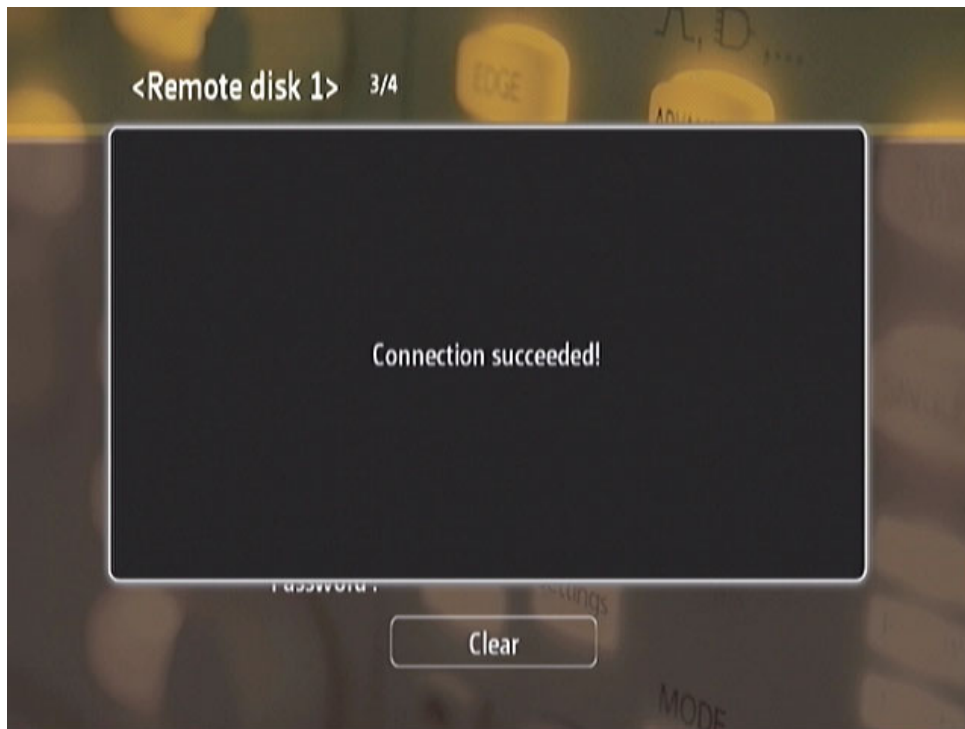
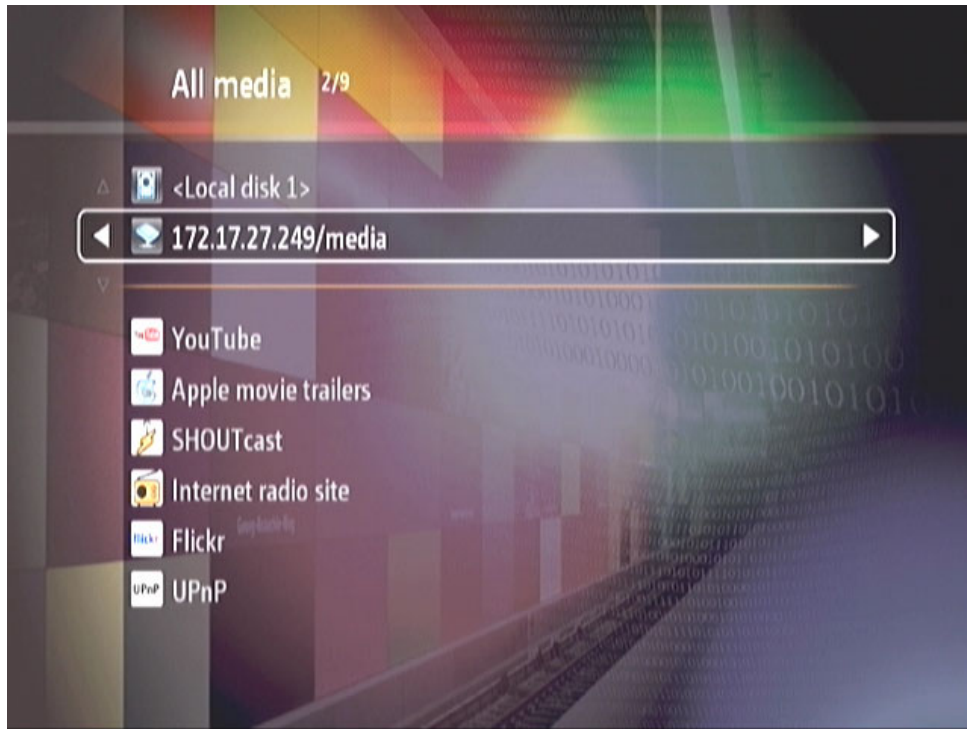
4.1.1　リモートPC あるいは NAS から再生する

1. NMP-1000 をホームネットワークに接続します。
   NMP-1000 は、実際にネットワークケーブルで接続することなく、USB ワイヤレスアダプタ(802.11b/g/n)を通し WEP/WPA-PSK エンコードを使用してネットワークに接続することができます。
   ネットワークからの HD ビデオ再生には、有線接続の使用をお勧めいたします。

2. NMP-1000 は DHCP により自動的に IP を取得します。
   静的 IP を構成する必要がある場合は、リモートコントロールを使用し ″Setttings(設定)″＞″Network (ネットワーク) ″と入力、″Static IP (静的 IP)″ の設定を入力します。詳しくはセクション 5.3.1 を参照してください。

3. ″Settings(設定)″＞ ″Remote Disk (リモートディスク)″に進みます。“QNAP NAS” を選択してすべての使用可能な QNAP NAS を、また“Auto search”(自動検索)によりすべての PC あるいは NAS をローカルネットワークから検索することができます。

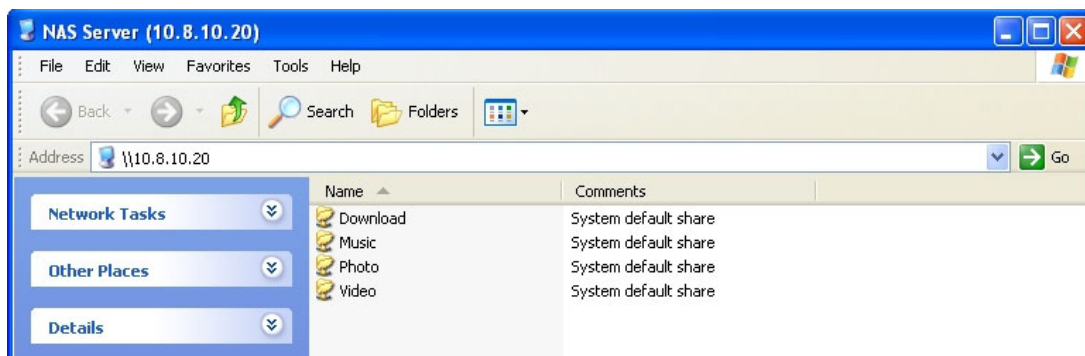
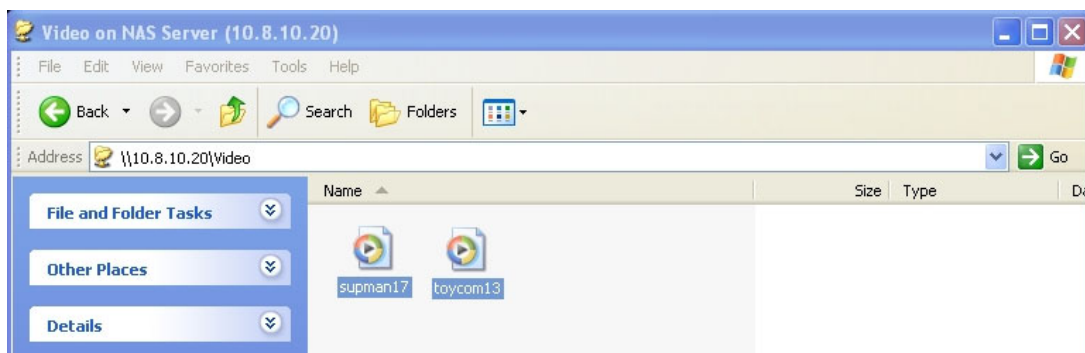
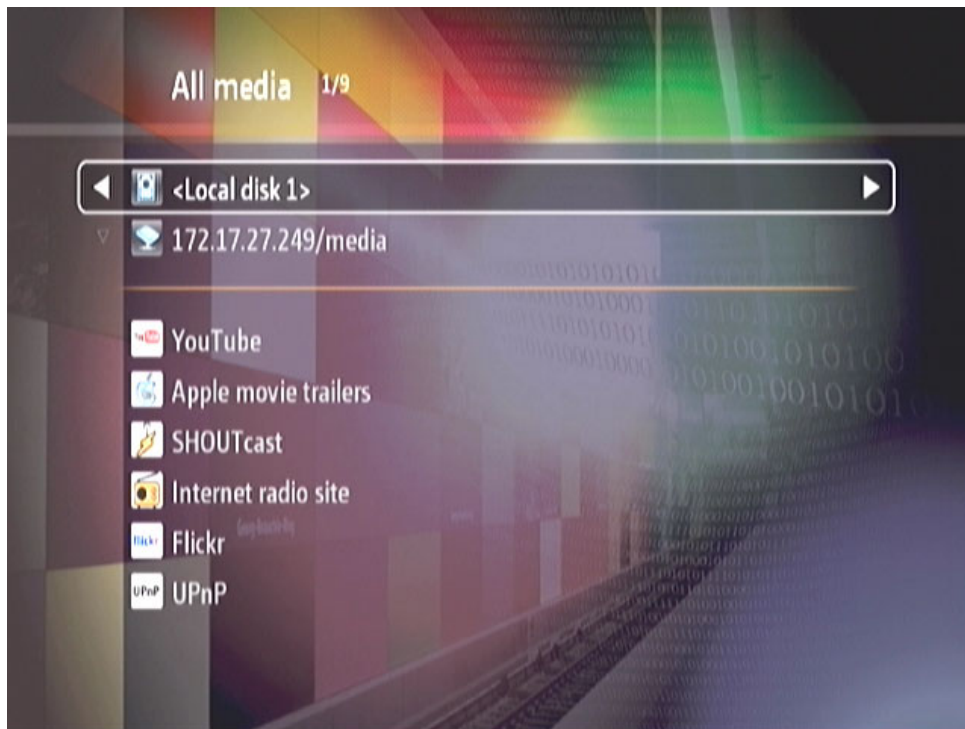
4. リモートディスク番号（1～6)を選択しネットワーク接続タイプ(Windows PC 用 Microsoft Networking あるいは Linux PC 用 NFS)詳しくはセクション 5.4.を参照してください。

5. PC あるいは NAS の IP アドレス/ホスト名を入力します。

6.　ネットワーク共有の名称あるいはパスを入力します。

ヒント：数字またはアルファベット（大文字あるいは小文字）入力を切り替えるには、"Options（オプション）"キーを押してください。

7. ログイン名及びパスワードを入力します。ユーザー名及びパスワードが必要ではない場合は、その欄は空白で構いません; デフォルトのゲストアカウントが使用されます。

8. “Connect(接続)”を選択し “OK”を押してネットワーク共有に接続します。

9. 入力した情報が適切でネットワーク接続が正しく動作している場合、"Connection succeeded!(接続に成功しました!)"のメッセージが表示されます。"Connection Failed!(接続に失敗しました!)"のメッセージが表示された場合は、入力した情報及びネットワーク接続が正しく動作していることを確認してください。

10. ネットワーク共有*からデジタルコンテンツを再生します。

* のアイコンは、リモートディスクが接続されていることを表しています。 のアイコンがリモートディスク名の前に表示されている場合、コンテンツを参照するために右方向キーを押した際、システムは自動的にそのリモートディスクに接続します。（リモートディスクが正しくセットアップされている場合）

4.1.2　ローカルディスクから再生する

注意：標準パッケージにはローカルハードドライブは含まれていません。別に購入して頂く必要があります。以下のステップを実行する前に、ハードドライブがサーバにインストールされていることを確認してください。

a.　NMP-1000 の IP アドレスを¥¥IP と入力してください。

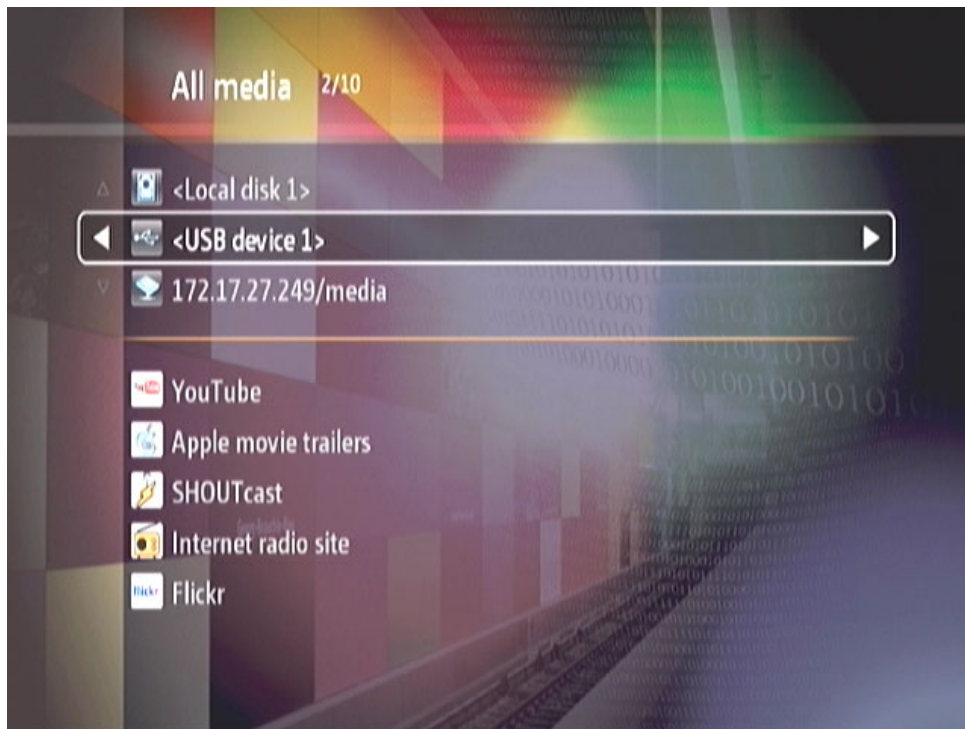
b.　NMP-1000 上でネットワーク共有に samba(Windows または Mac)あるいは NFS(Linux)を使用してログインしてください。(デフォルトログイン名及びパスワード:admin/ admin)

c.　NMP-1000 の共有フォルダにデジタルコンテンツをコピーします。共有フォルダをさらに作成するには、セクション 9.6.1 をご覧ください。

d.　ローカルディスクからデジタルコンテンツを再生します。

4.2　その他の接続

ネットワーク接続を使用しない場合、デジタルコンテンツを以下の方法により取得することが出来ます。

4.2.1　外部ディスクモード(PC 接続モード)を使用する

a. eSATA または USB2.0 インターフェイスを使用し NMP-1000 を PC に接続します。VFD は前面ディスプレイに “USB ON”(USB オン)と表示します。
b. PC は NMP-1000 を USB 大容量記憶装置として検出します。デジタルコンテンツを NMP-1000 にコピーします。
c. NMP-1000 からデジタルコンテンツを再生します。

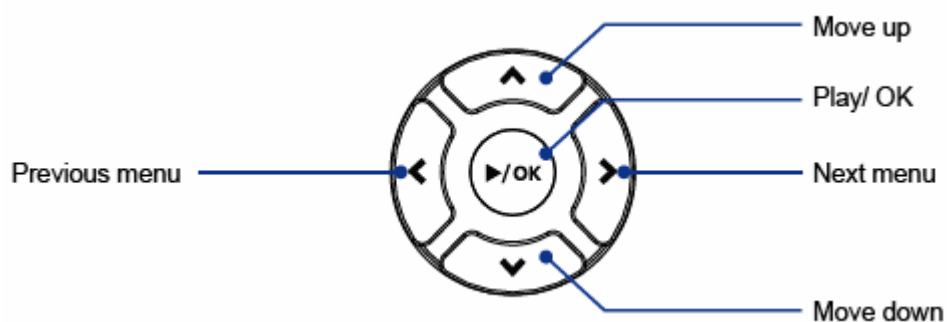
4.2.2　外部メモリモード(USB2.0 ホストモード)を使用する

a. USB2.0 インターフェイスを使用し、外部メモリデバイス*を NMP−1000 に接続します。
b. NMP−1000 は外部ディスクを自動的**に検出します。

c. 外部メモリデバイスからデジタルコンテンツを再生します。

*外部メモリデバイスに複数のパーティションが存在する場合、NMP−1000 は最初の 2 つのパーティションのみ検出します。
** 6 つのリモートディスク接続をすべて使用している場合、外部ディスクは検出されません。詳しくはセクション 4.1.1 をご覧ください。いくつかのリモートディスクの接続を一時的に解除し、外部メモリが自動的に検出されるようにすることが出来ます。

d. NMP−1000 にハードドライブを取り付けてある場合は、メディアコンテンツを外部メモリからローカルディスクにコピーすることが出来ます。詳しくはセクション 8.3 を参照してください。

5. NMP-1000 設定メニュー

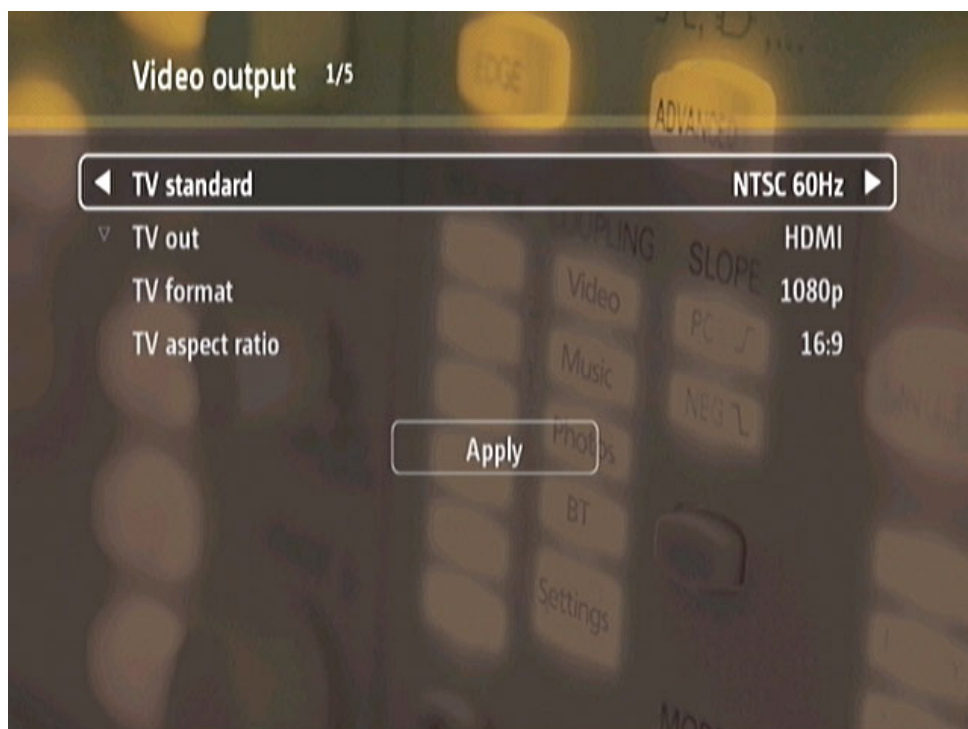
NMP-1000 設定メニューでは、“Move up(上に移動)”/ “Move down(下に移動)”キーを使用することで変更したい設定を簡単に選択することが出来ます。“Previous menu(前のメニュー)”/ “Next menu(次のメニュー)” キーを使用して、設定メニュー内のオプションを移動し選択してください。

5.1　ビデオ及びオーディオ

ビデオ、オーディオ、及びディスプレイ設定を、ご使用のホームエンターテインメントシステムにあわせて構成することが出来ます。

5.1.1 Video output (ビデオ出力)

ビデオ出力セクションにより、TV ディスプレイ設定を変更することが出来ます。

- TV 標準: NTSC あるいは PAL を選択してください。
- TV 出力: ご希望のビデオ出力のタイプを選択してください。
- TV フォーマット: TV のディスプレイ解像度を選択してください。
- TV アスペクト比: TV の画面アスペクト比を選択してください。

変更を保存するには、"Apply(適用)" を押します。

新しい設定が TV に適合する場合、変更を確定するようメッセージが表示されます。15 秒以内に変更を確定しない場合、変更はキャンセルされ、元の設定に戻ります。

*ビデオ出力設定の変更後に黒い画面が現れた場合は、新しい設定が TV に適合していないことを表しています。15 秒間待つと、ビデオ設定は自動的に元の設定に戻り、再度ディスプレイを見ることが可能になります。

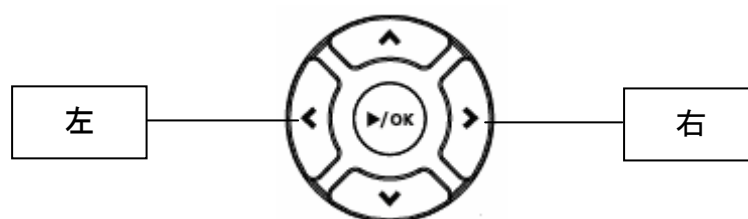
5.1.2　Audio output（オーディオ出力）

オーディオ出力セクションにより、ご使用の TV あるいはオーディオシステムにあわせてサウンド設定を変更することが出来ます。

正しいオーディオ機能についてはオーディオシステム書類を参照、または製造業者にお問い合わせください。

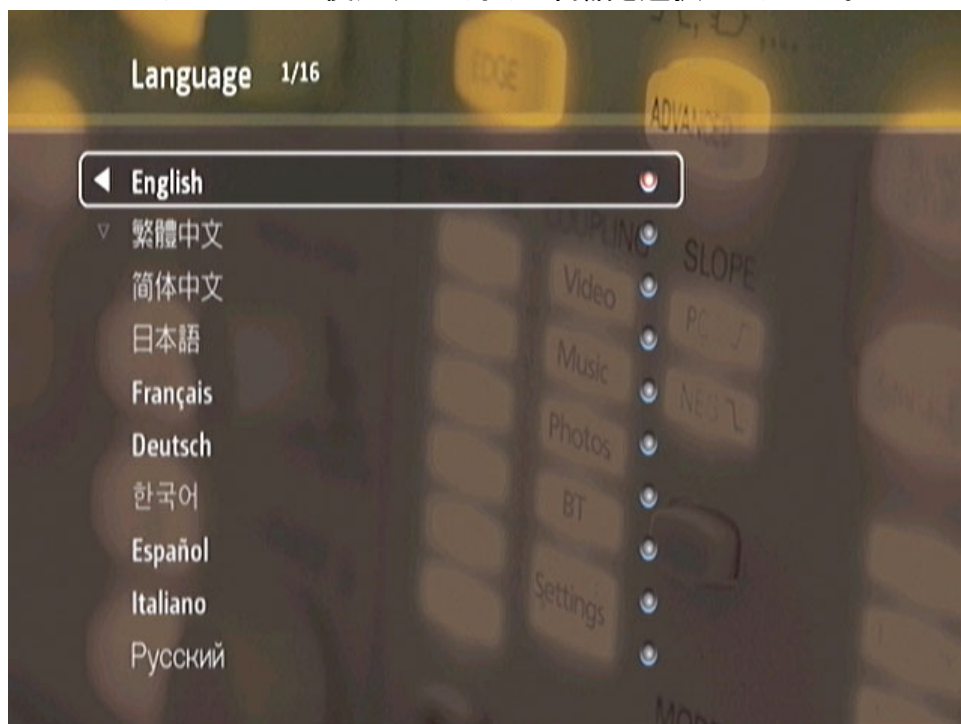
5.1.3 Display settings (画面設定)

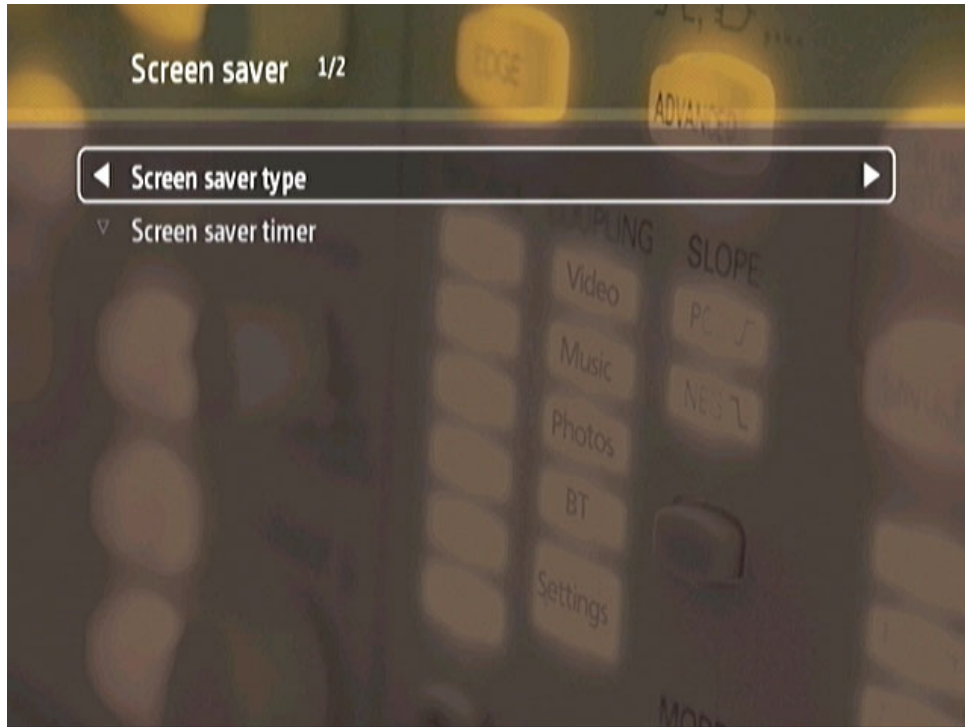
ディスプレイ設定において、TV の明るさ、コントラスト、鮮やかさ、及び色合いの値を構成することが出来ます。

各オプションにて、下図の調節セットアップが表示されます。調整は即時反映されます。左、右、及び OK キーを使用して簡単にお好みの変更を加えることが出来ます。

5.2 System Settings (システム設定)

システム設定では、言語、日付及び時間、システム更新など、システムに関わる機能の一覧が表示されます。

5.2.1 Language (言語)

ユーザーインターフェイスで使用するお好みの言語を選択してください。

5.2.2 Screen saver (スクリーンセーバー)

このセクションにてスクリーンセーバーの設定をおこなうことが出来ます。

システムがスタンバイの際に表示されるスクリーンセーバーのタイプを選択してください。

- Off(オフ): スクリーンセーバーをオフにします。
- Logo(ロゴ): 浮遊する QNAP のロゴが表示されます。
- Clock(時計): 浮遊する時計が表示されます。

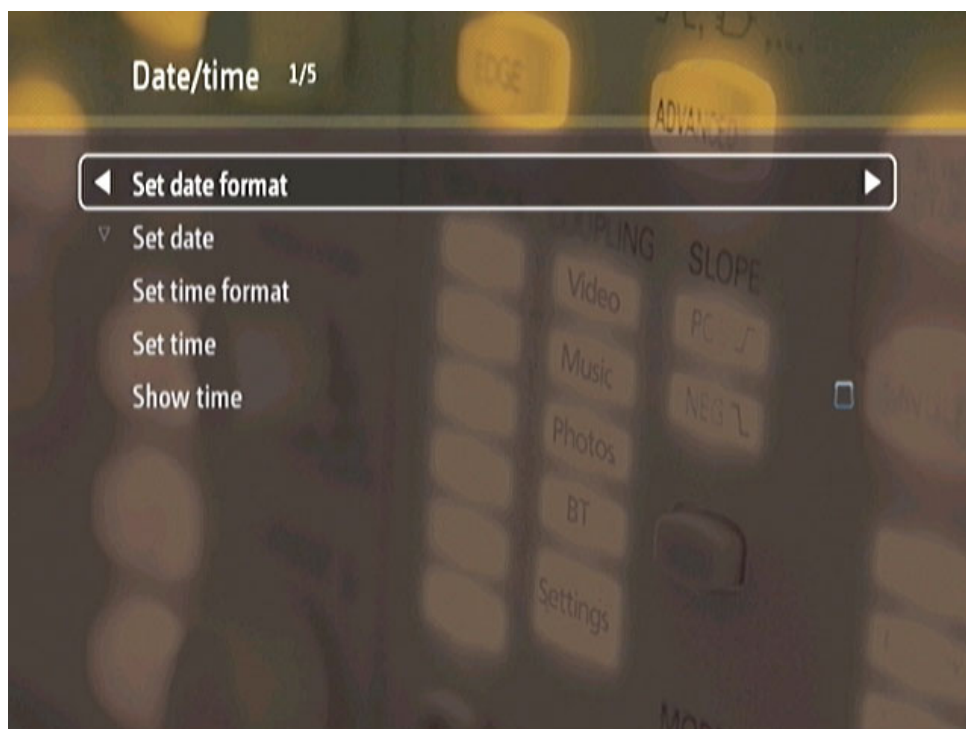
スクリーンセーバーが起動されるタイマーを 1,2,5,10 分の中から選択することが出来ます。

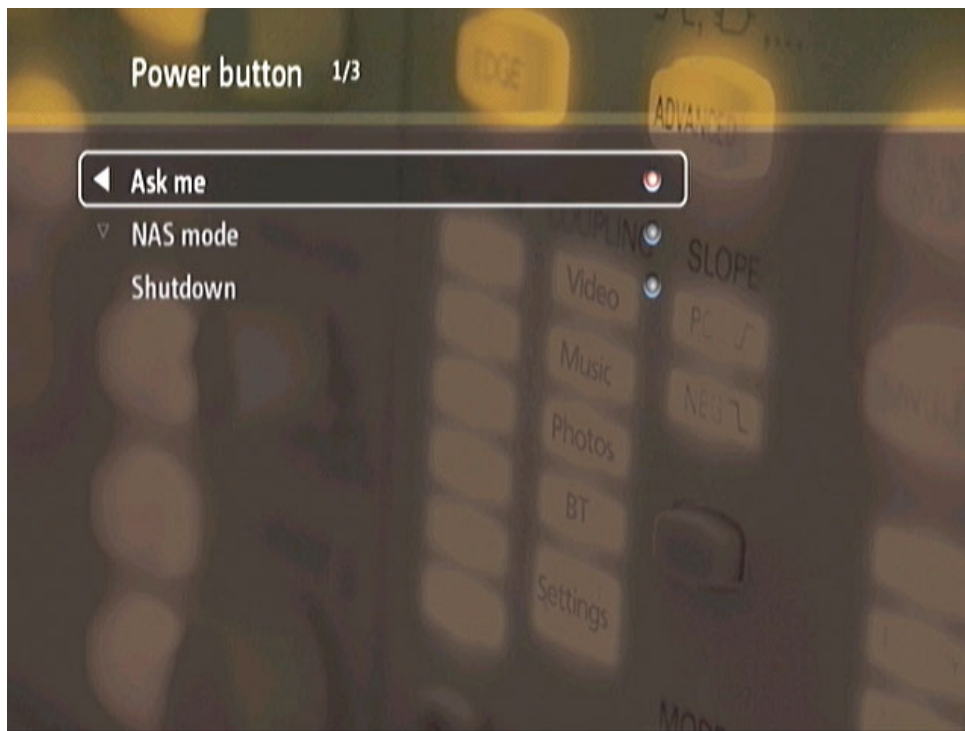
5.2.3　Sleep timer (スリープタイマー)

この昨日により、NMP-1000 をシャットダウンするタイマーをセットすることが出来ます。

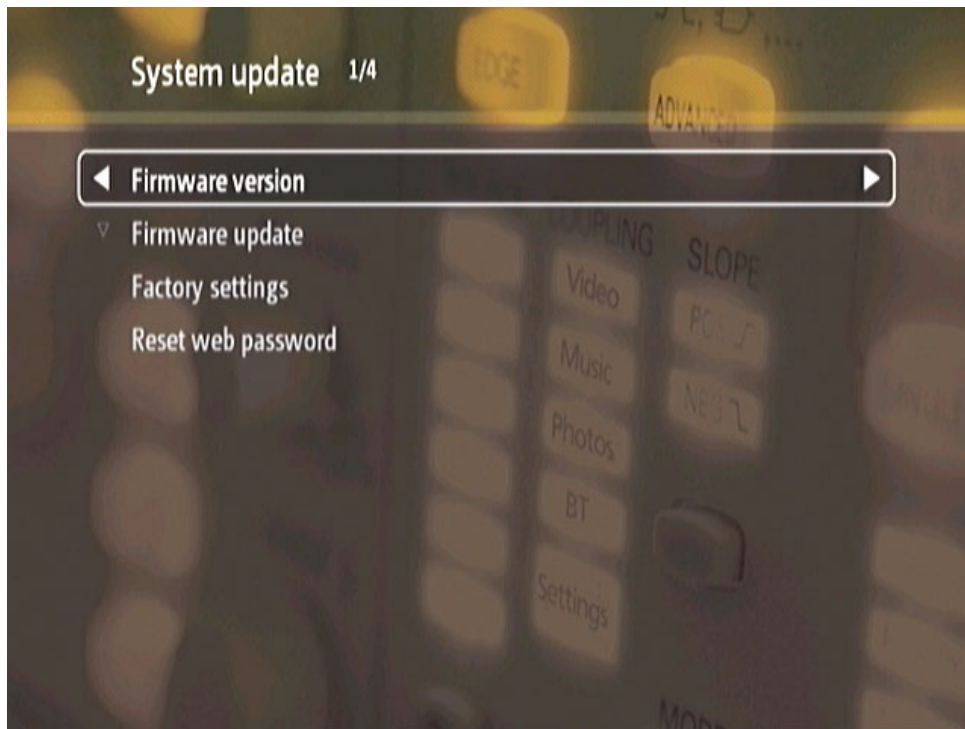
5.2.4　Date/time (日付/時間)

日付及び時間設定を変更することが出来ます。

- 日付表示フォーマットを選択してください。
- 方向キーを使用して日付を調整します。
- 時間表示フォーマットを選択します。
- 方向キーを使用して時間を調整します。
- 日付及び時間を表示するかどうかを選択します。時間は画面の右上角に表示されます。

5.2.5 Power button（電源ボタン）

NMP-1000 の電源ボタンの動作をカスタマイズします。“NAS mode(NAS モード)”は、メディアプレーヤー機能がどれも使用可能でない場合に、システムを NAS 動作に移行します。NAS モードでは TV 画面は空白になります。

“Ask me(確認する)” を選択すると、電源ボタンが押された際には、システムは動作を選択するよう求めるメッセージを表示します。

5.2.6　System update（システム更新）

システムファームウェア バージョンの確認、システムの更新、システム設定をデフォルトに戻す、あるいはウェブログインパスワードの変更をおこなうことが出来ます。

5.2.6.1　Firmware version（ファームウェアバージョン）

システムのファームウェア バージョンを確認することが出来ます。最新のファームウェアはQNAP公式ウェブサイト http://www.qnap.comにて入手可能です。

5.2.6.2　Firmware update（ファームウェア更新）

システムファームウェアを更新するには、適切なファームウェアファイルをQNAPウェブサイト http://www.qnap.com/よりダウンロード、NMP-1000 の内部ハードドライブあるいは接続されたUSBメモリデバイスに保存します。ファームウェアファイルを保存するために、ハードドライブに少なくとも 256MBの空き容量があることを確認してください。オンスクリーン指示に従いシステムを更新します。

ウェブインターフェイスによりシステムファームウェアを更新するには、セクション 9.7.3 をご覧ください。

注意：ファームウェア更新が失敗する場合に良く見られる理由がいくつかあります。

A. NMP-1000 の内部ハードドライブまたは外部 US メモリデバイスの空き容量が足りない（256MB未満）場合。
B. ダウンロードしたファームウェアファイルが不適切あるいは破損しています。ファームウェアを再度ダウンロードしてください。
C. ファームウェア更新中に電源が不足しました。システムの修復についてはセクション 12.1 を参照してください。

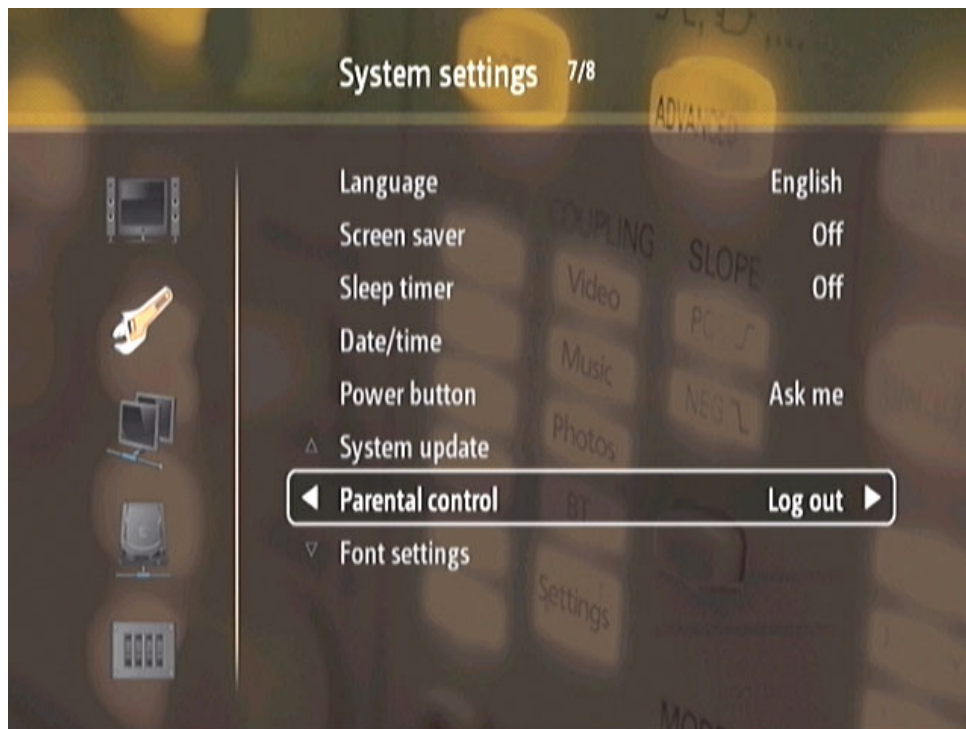
5.2.6.3　Factory settings（出荷時設定）

システム設定をデフォルトに戻すことが出来ます。設定は、システム構成、共有フォルダ、ユーザーアカウントを含みます。

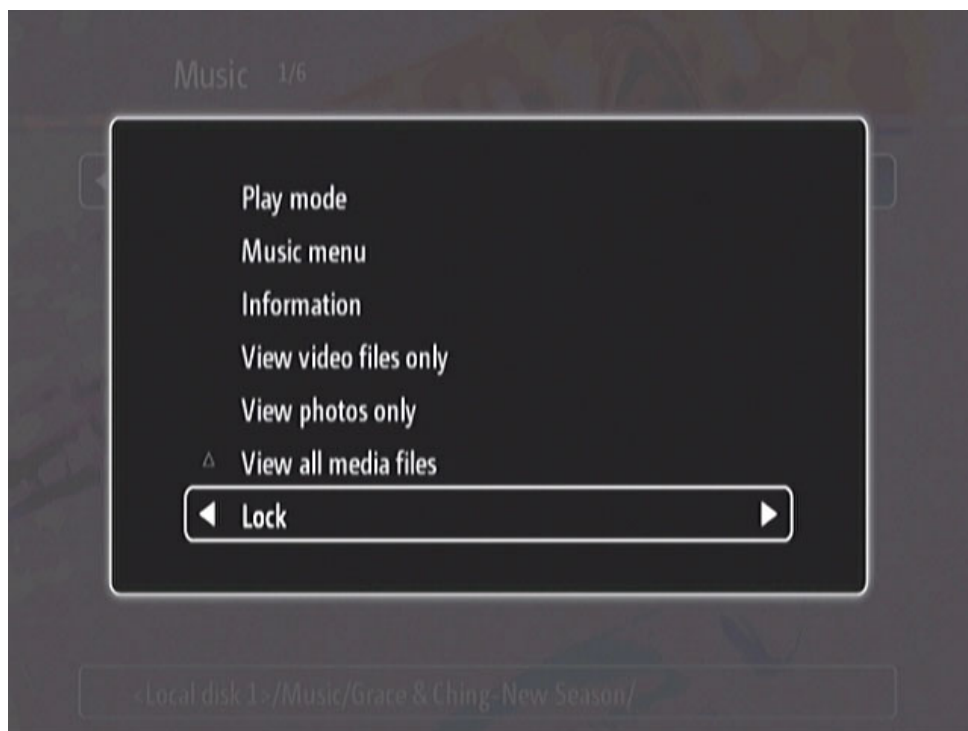
5.2.6.4　Reset web password (Web パスワードのリセット)

ウェブパスワードをデフォルトの “admin/admin”にリセットすることが出来ます。

5.2.7 Parental Control（ペアレンタルコントロール）

保護者規制オプションにより、メディアロックを管理するためのログイン及びログアウトが可能になり、データへのアクセス権限のない人物に対し、ロックされた内容が表示されないようにすることが出来ます。

保護者規制パスワードを入力するよう求められます。デフォルトのパスワードは“111111”です。

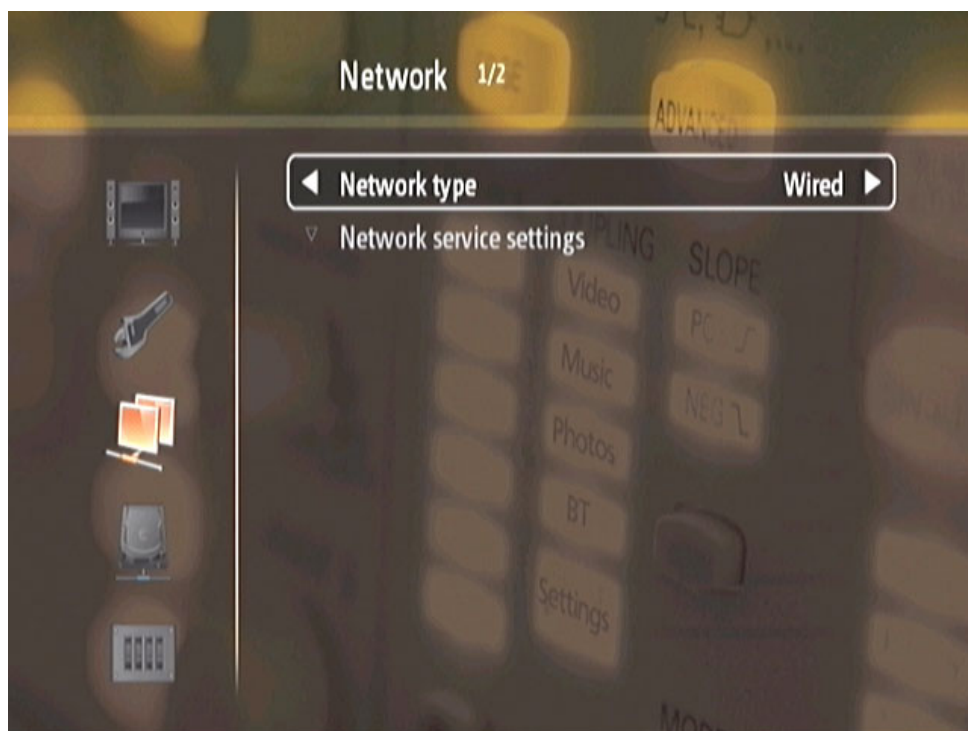
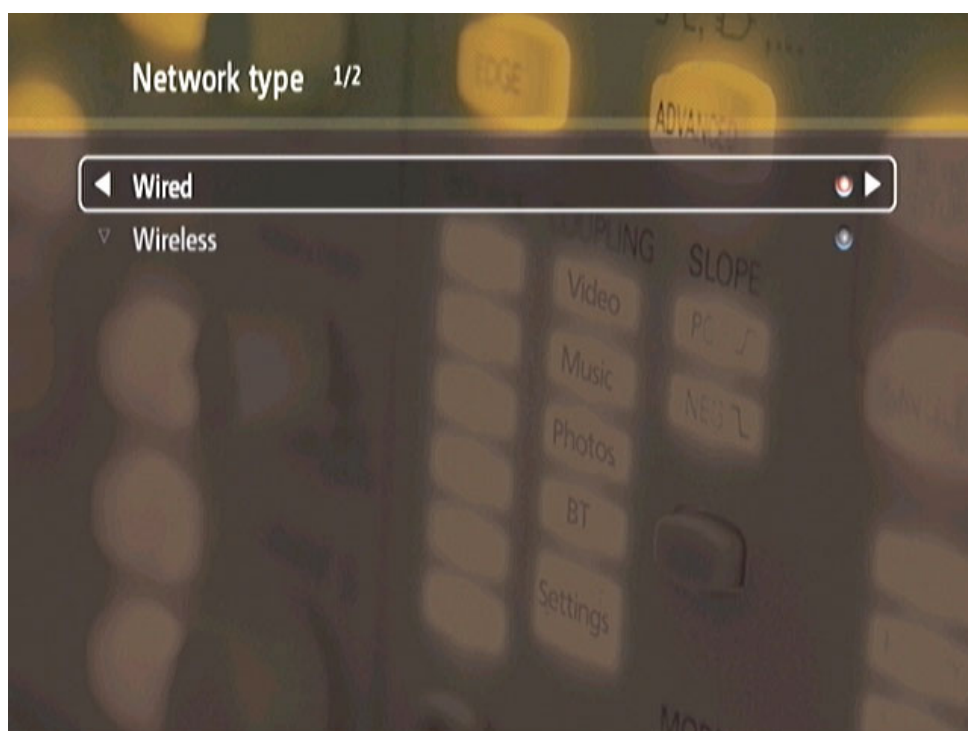
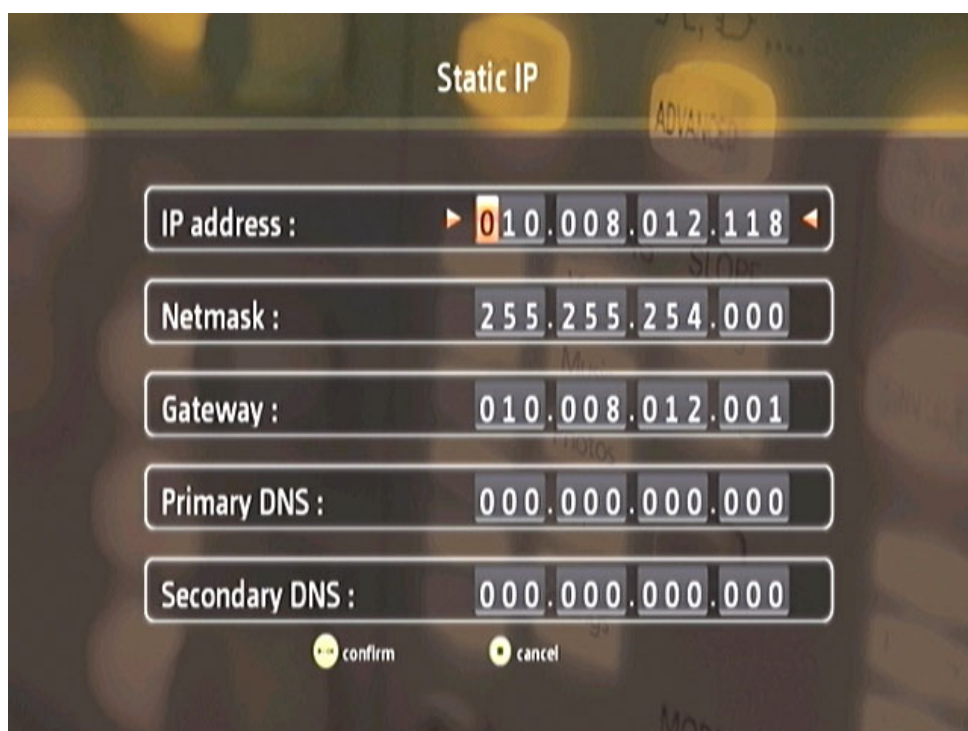
正しいパスワードを入力すると、保護者規制の状態が “Log in(ログイン)”と表示されます。ログアウト、あるいはパスワードの変更をおこなうことが出来ます。

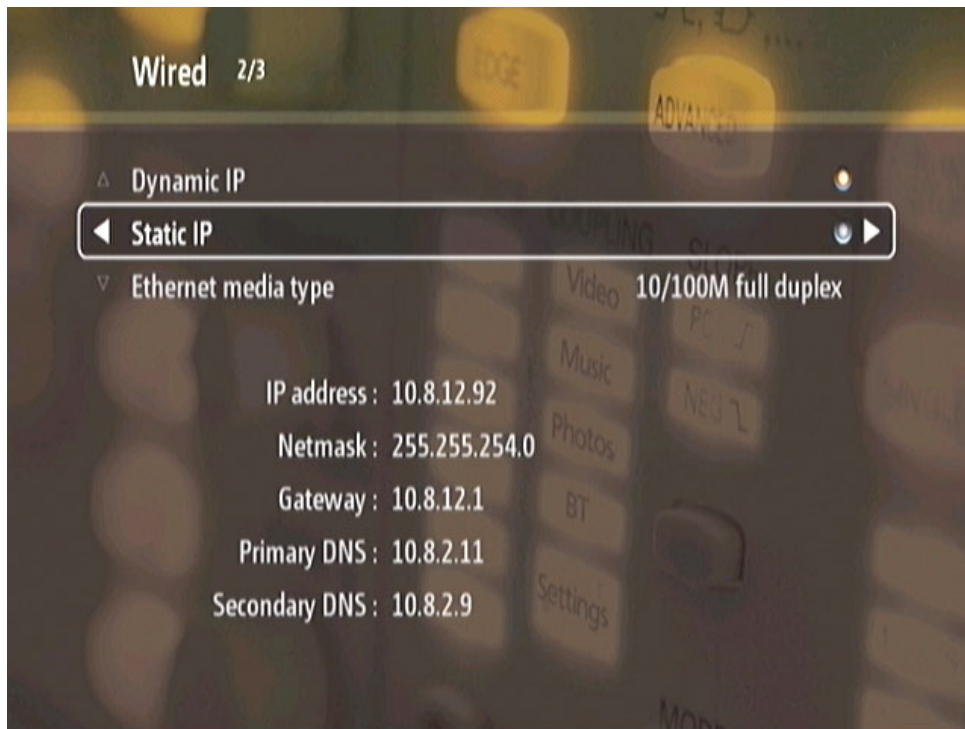
保護者規制機能にログインすると、“Options(オプション)” メニュー上に “Lock(ロック)” 及び “Unlock(ロック解除)”項目が表示されます。保護者規制にアクセスのない人物に表示されるべきではないフォルダあるいはファイルをロックすることが出来ます。保護者規制は “Settings(設定)”メニューから変更することが出来ます。ウェブベースのインターフェイス内でパスワードをリセットすることが出来ます。(セクション 9.7.5 をご覧ください)

5.2.8　Font settings（フォント設定）

システム表示にお好みのフォントを使用するには、NMP-1000 のローカルディスクにフォントファイルを保存し、フォントを選択します。

注意：NMP-1000 は現在 TrueType フォント(.ttf 拡張子)及び OpenType フォント(.otf 拡張子)ファイルに対応しています。フォントファイルはプレーヤーの内部ハードドライブに保存する必要があります。

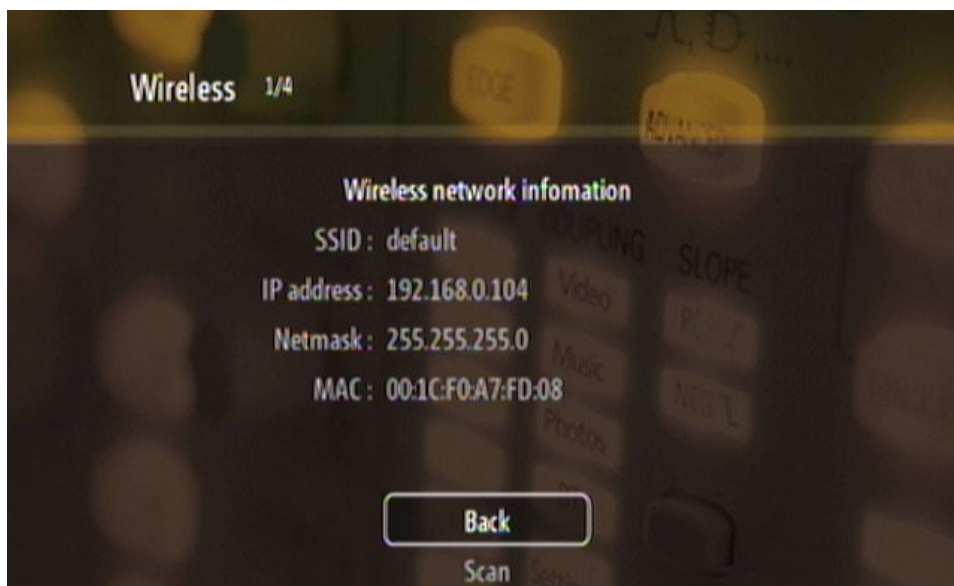
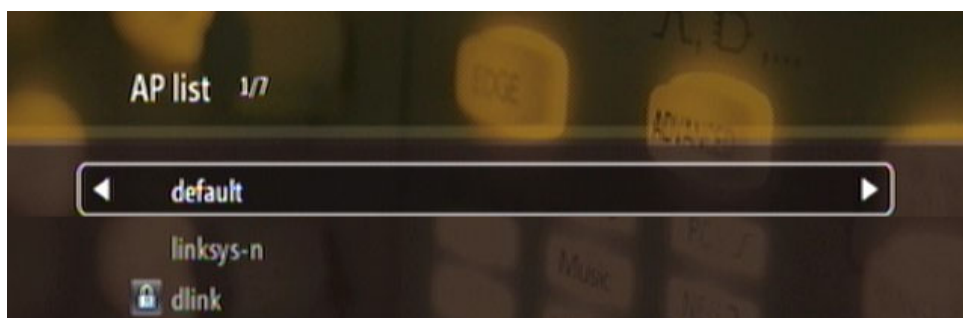
5.3　Network (ネットワーク)

NMP-1000 のネットワーク設定を構成することが出来ます。

Wired(有線)あるいは Wireless(ワイヤレス)のネットワークタイプを選択することが出来ます。

5.3.1 有線ネットワーク

システムはデフォルトでは動的 IP(DHCP) を使用しています。静的 IP を使用するには、"Static IP(静的 IP)" を選択してください。

リモートコントロールの方向キー及び数字キー(0～9)を使用して IP 設定を構成します。“OK”を押して変更を確定します。

5.3.2 ワイヤレスネットワーク

ワイヤレス機能はワイヤレスアダプタがNMP−1000 のUSBポートに接続された上で使用できます。QNAPオフィシャルウェブサイト(www.qnap.com)の対応ワイヤレスアダプタの一覧を参照してください。

ワイヤレスネットワーク情報が表示されると、"Scan(スキャン)" ボタンを使用してワイヤレスネットワークと利用可能な AP との接続をセットアップすることが出来ます。

利用可能な AP の一覧が表示されます。 ネットワークキーが必要な AP には、AP 名の前に鍵のアイコンが表示されます。 必要に応じて、NMP−1000 がネットワークキーを入力するよう表示します。

5.3.3 Network service settings（ネットワークサービス設定）

ネットワークサービスのオンまたはオフが出来ます。NFS サーバはデフォルトではオフの状態です。変更した後、“Apply(適用)”を押します。

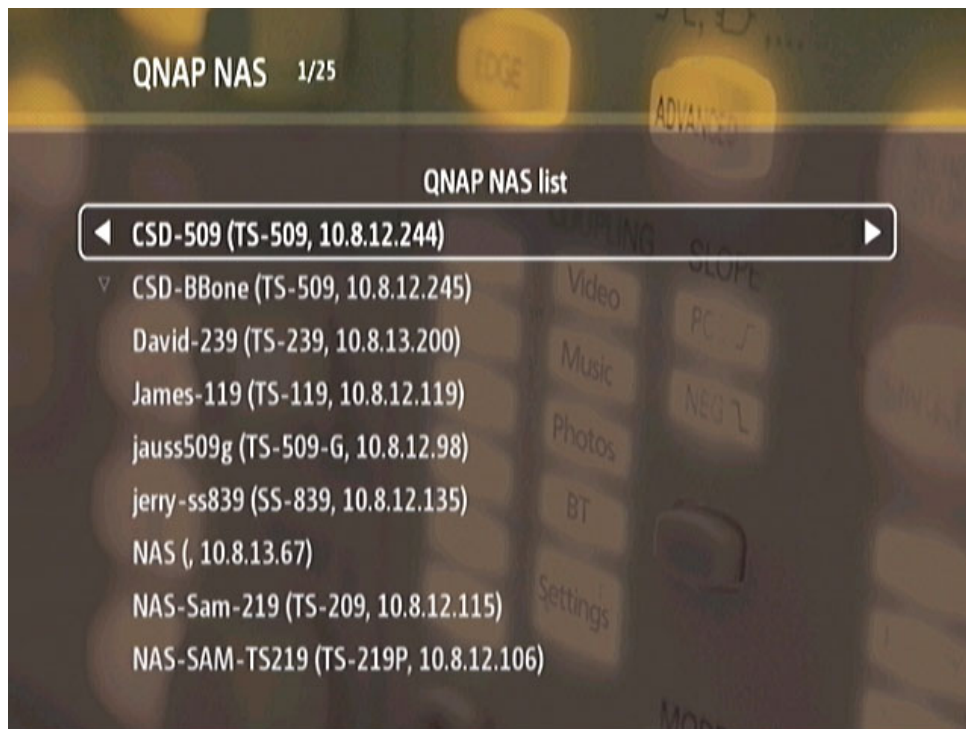
注意：BT ダウンロードサービスはデフォルトではオンの状態です。背景で BT ダウンロードが行われている場合、明らかにメディア再生が途切れがちになったり UI ナビゲーションへの反応が遅くなります。そのため、プレーヤーモードを使用中の際、BT ダウンロードサービスをオフにしておくことをお勧めします。

5.4 Remote Disk（リモートディスク）

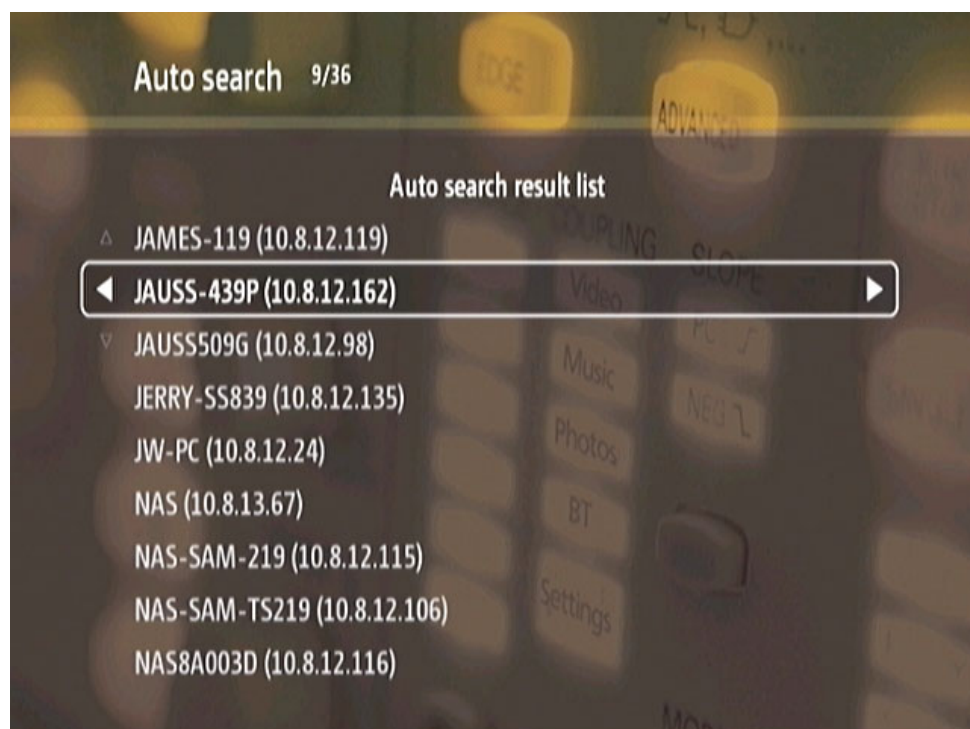
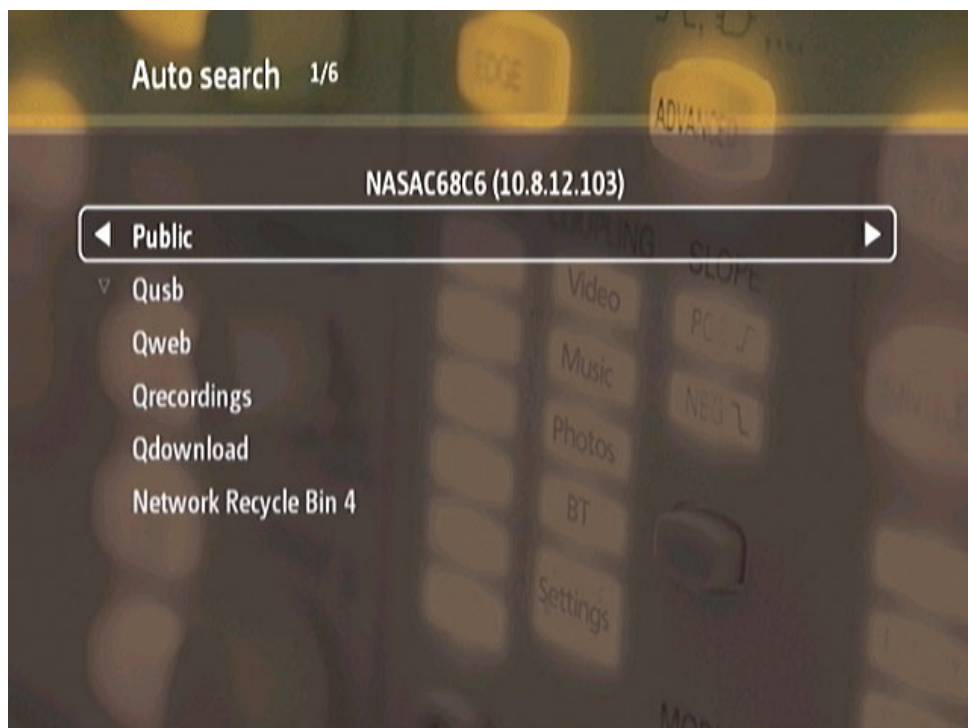
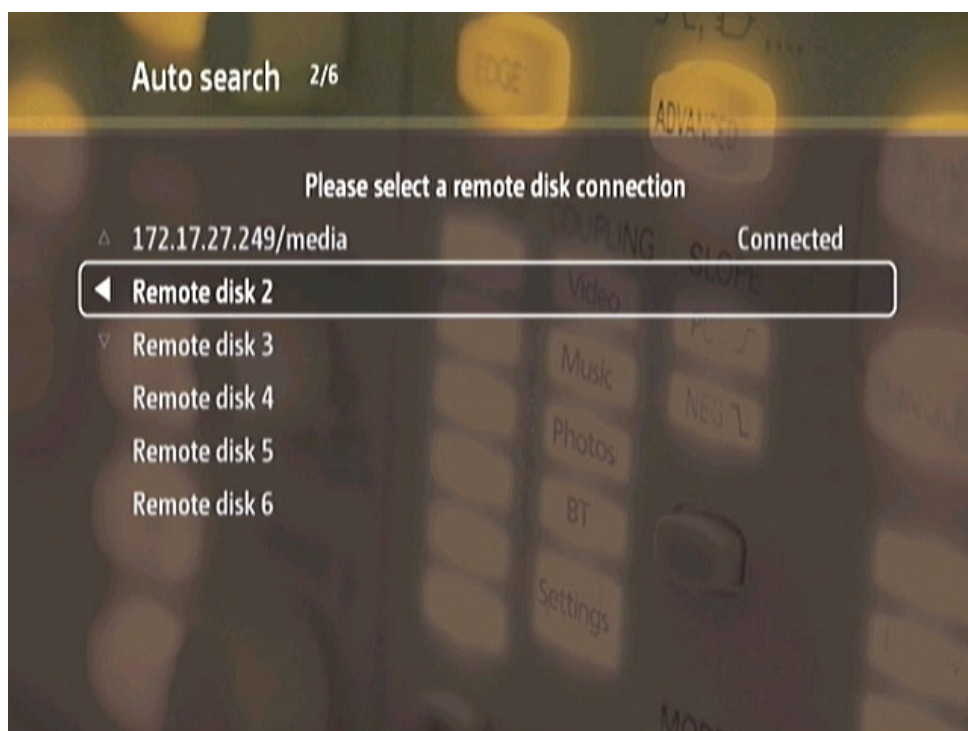
システムは最大 6 台のリモートディスク接続まで同時に対応すること出来ます。ネットワーク共有フォルダ及び USB メモリデバイスを含みます。USB メモリデバイスの各パーティションは 1 リモートディスク接続として合計されます。

5.4.1 QNAP NAS の自動検索

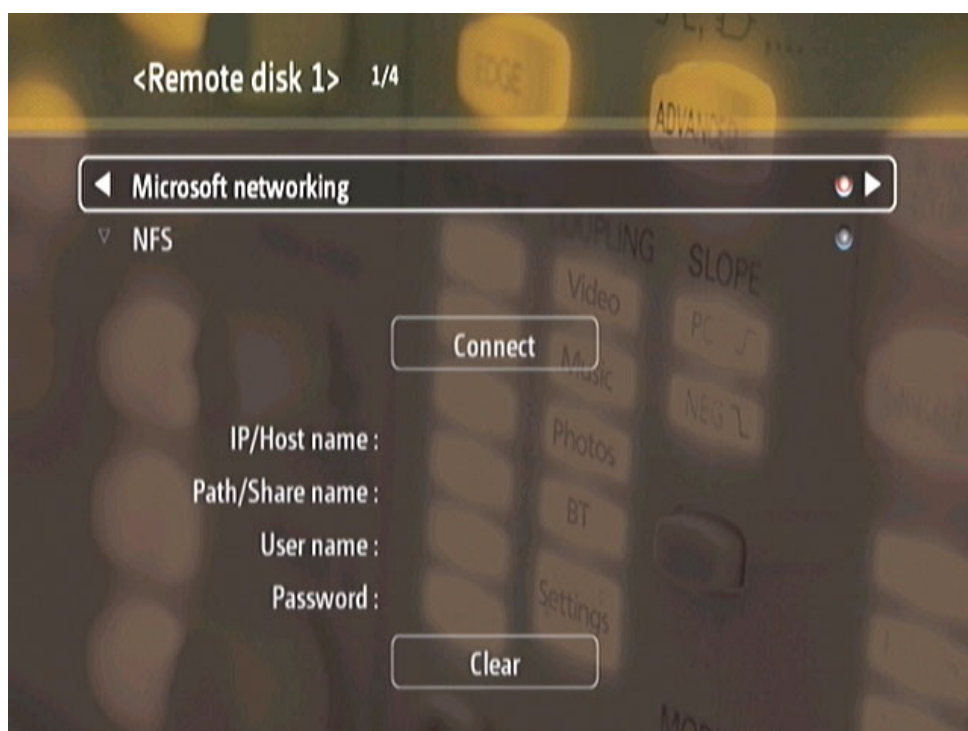
この機能を使用して、ローカルネットワーク上のすべての使用可能な QNAP NAS を検索することができます。

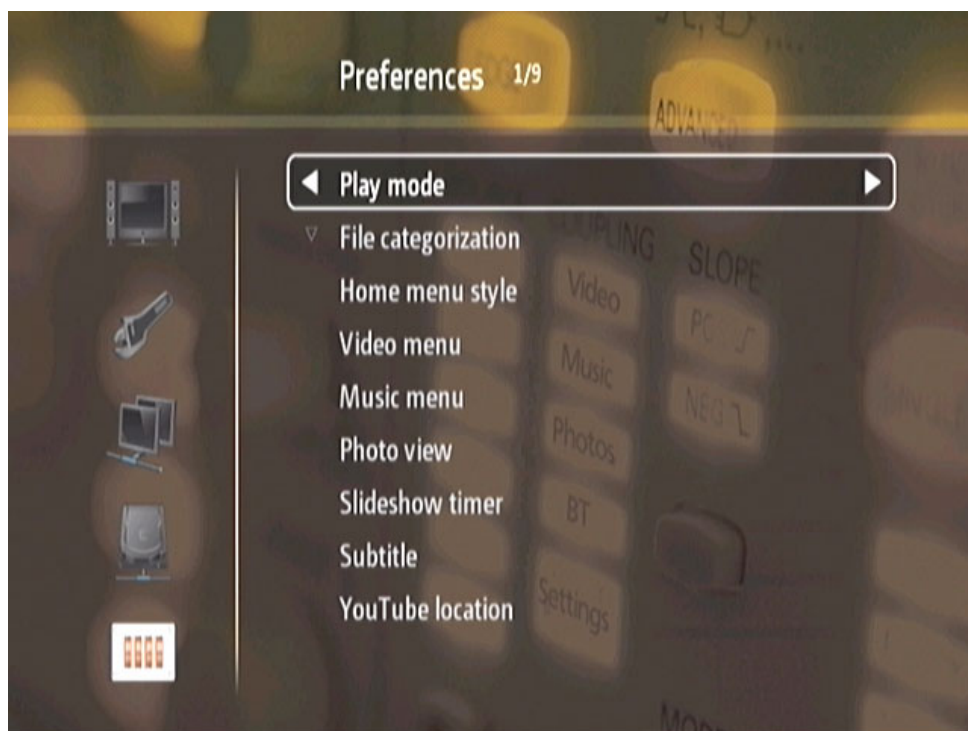
QNAP NAS の一覧が表示されます。接続するサーバを選択し、ログイン情報を入力、NMP−1000 にリモートディスクとしてマウントする共有フォルダを選択します。正常に接続されると、NAS にてマルチメディアコンテンツを再生することができます。

5.4.2 リモートディスク セットアップのための自動検索

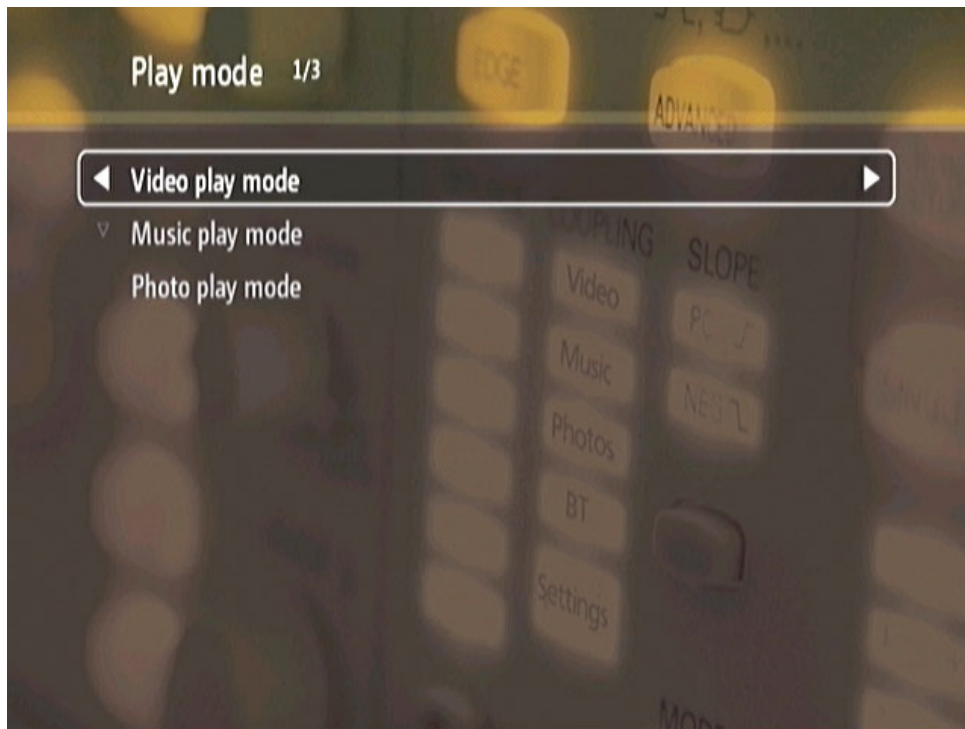
自動検索により、Microsoft ネットワーク接続の PC あるいは NAS を自動的に検出することが出来ます。

自動検索結果は利用可能なコンピュータあるいは NAS を一覧します。

PC あるいは NAS を選択し、表示に従ってユーザーおよびパスワードを入力します。 適正な認証と共に、リモートディスク接続とセットアップするフォルダの一覧を選ぶことが出来ます。

セットアップするリモートディスク接続を選択します。

5.4.3 手動でのリモートディスク セットアップ

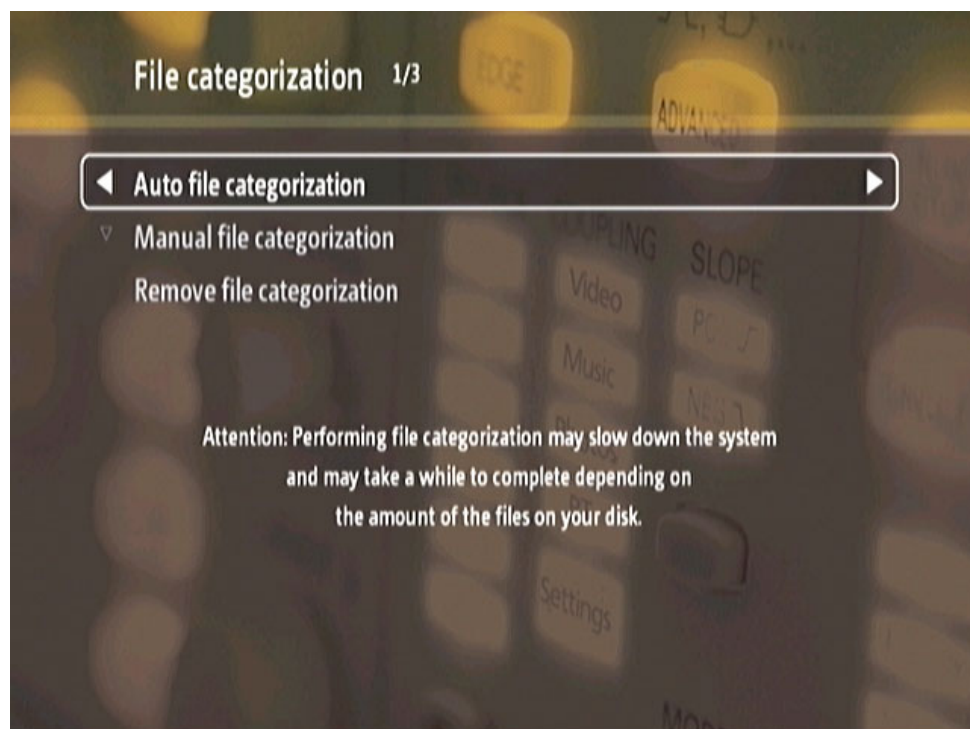
Microsoft ネットワークは Windows PC 用の接続で、NFS は Linux PC 用となります。異なる点は、NFS にはユーザー/パスワード情報が必要ないということです。リモートディスクの設定例についてはセクション 4.1.1 をご覧ください。

各リモートディスクを接続または切断することが出来ます。既に 6 つのすべてのリモートディスク接続が使用されている際に、さらに USB メモリデバイスを使用したい時などに便利です。

5.5 Preferences（好みの設定）

ユーザーインターフェイスをカスタマイズし、メディア再生機能を構成することが出来ます。

5.5.1　　Play mode（再生モード）

メディア再生の再生モード、ランダム、あるいは繰り返しを選択します。現在のファイルあるいは全ての繰り返しを選択することが出来ます。

5.5.2 File categorization（ファイルカテゴリー化）

この機能は全てのメディアファイルにインデックスを作成するために使用されます。これでファイルが体系的に分類され、閲覧が容易になります。

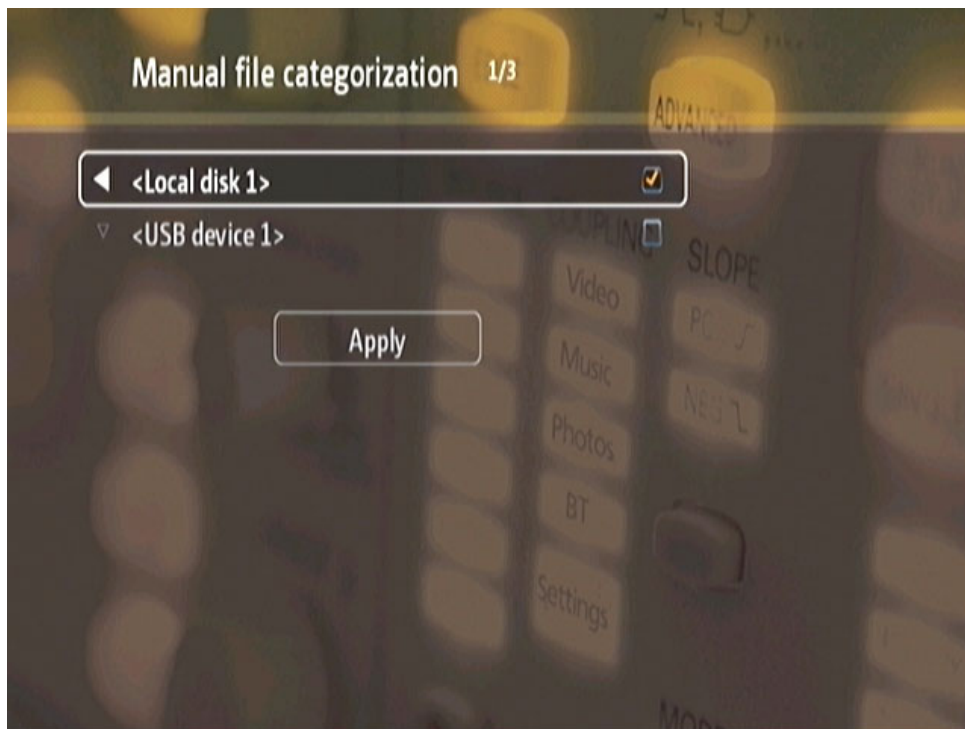
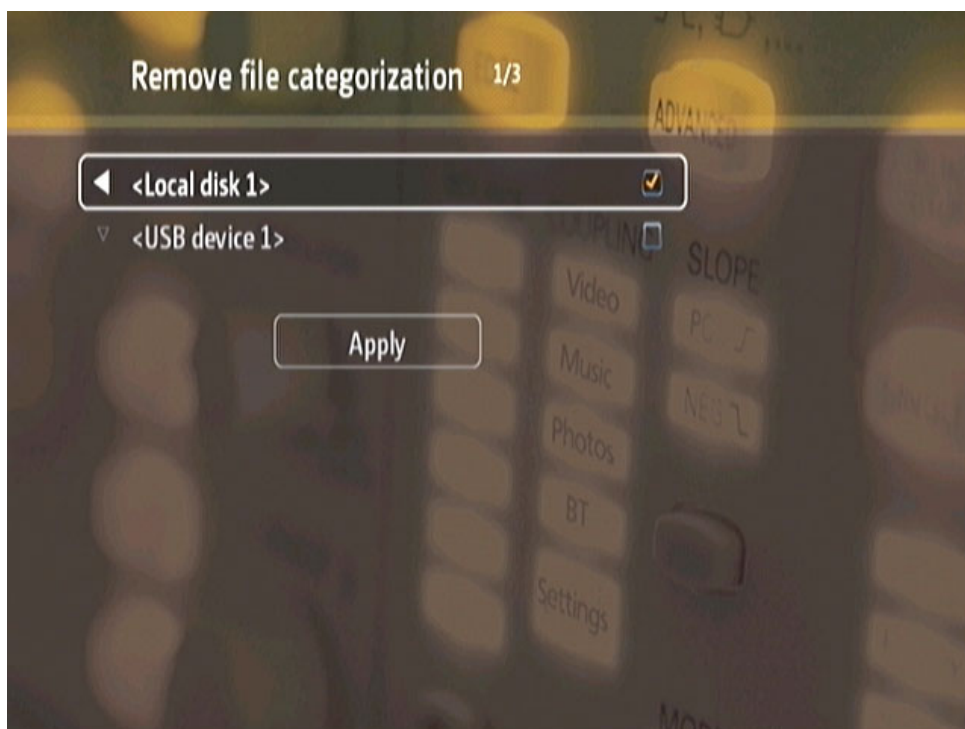
注意：各メモリデバイスのインデックスファイルはそれぞれのディスクに保存されます。NMP-1000 のローカルハードドライブには、他のメモリデバイスのインデックスファイルは保存されません。

ローカルディスク、USB メモリデバイス、及びリモートディスクにおいて、ファイル自動分類を構成することが出来ます。これはデフォルトではオフの状態です。

注意：ファイル自動分類機能をオンにした後、分類プロセスを開始するため NMP-1000 を再起動する必要があります。

分類プロセスは以下の条件で実行されます:

メモリデバイス	ファイル自動分類が実行される条件
ローカルディスク	デバイスがオンになる度（分類プロセスにかかる時間は NMP−1000 に新たに追加されたファイルの量により異なります）
USB メモリデバイス	USB デバイスが NMP−1000 に接続される度
リモートディスク	リモートディスクが接続される度

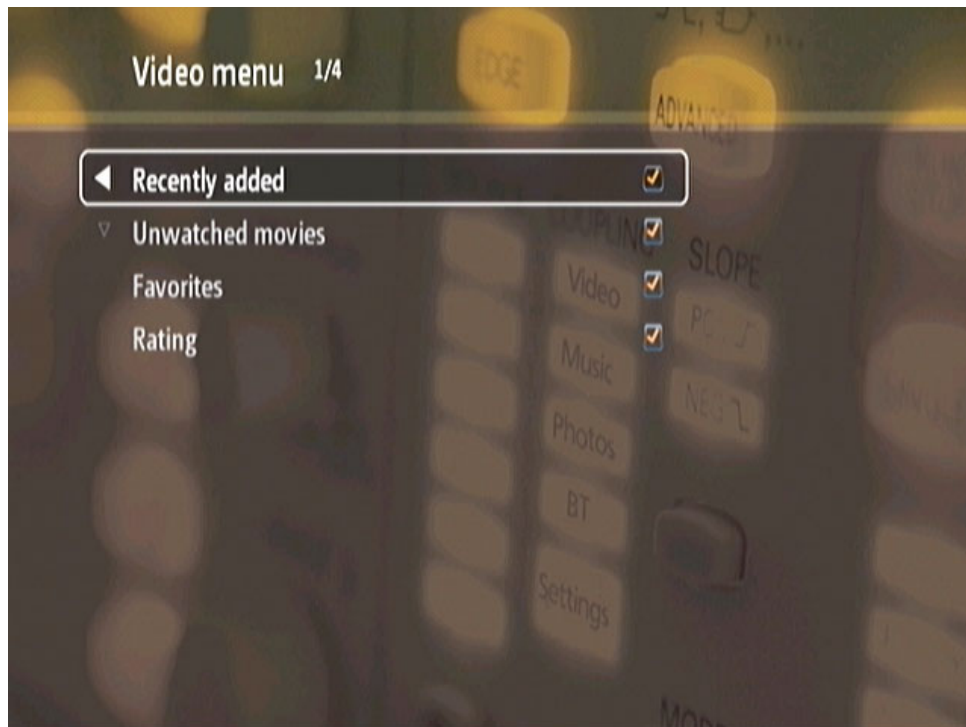
注意：新規ファイルがメディアライブラリに追加されるよう、ファイル自動分類は毎回実行される必要があります。ファイル分類が実行中は、画面右上角にアニメーションが表示されます。

ローカルディスク、接続されたリモートディスクあるいは USB メモリデバイスにてファイル分類を手動で実行することも出来ます。

インデックスを削除するには、オプションのチェックをはずし、変更を適用してください。

5.5.3　Home menu style（ホームメニュースタイル）

ホームメニューの背景を選択します。デフォルトの背景、あるいは写真のスライドショーやビデオ再生を使用することが出来ます。

5.5.4 Video menu（ビデオメニュー）

全てのビデオファイルにおいて、ファイル分類により作成されたカテゴリを表示するよう選択します。

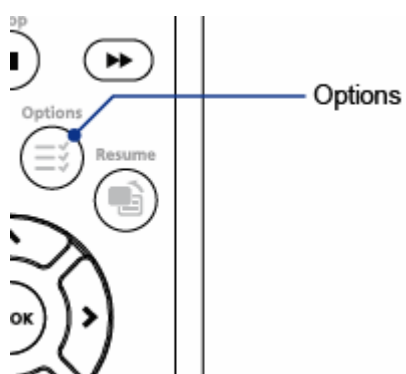
注意：メディア分類メニューを表示するには、ファイル分類が一度は実行されている必要があります。

5.5.5 Music menu （音楽メニュー）

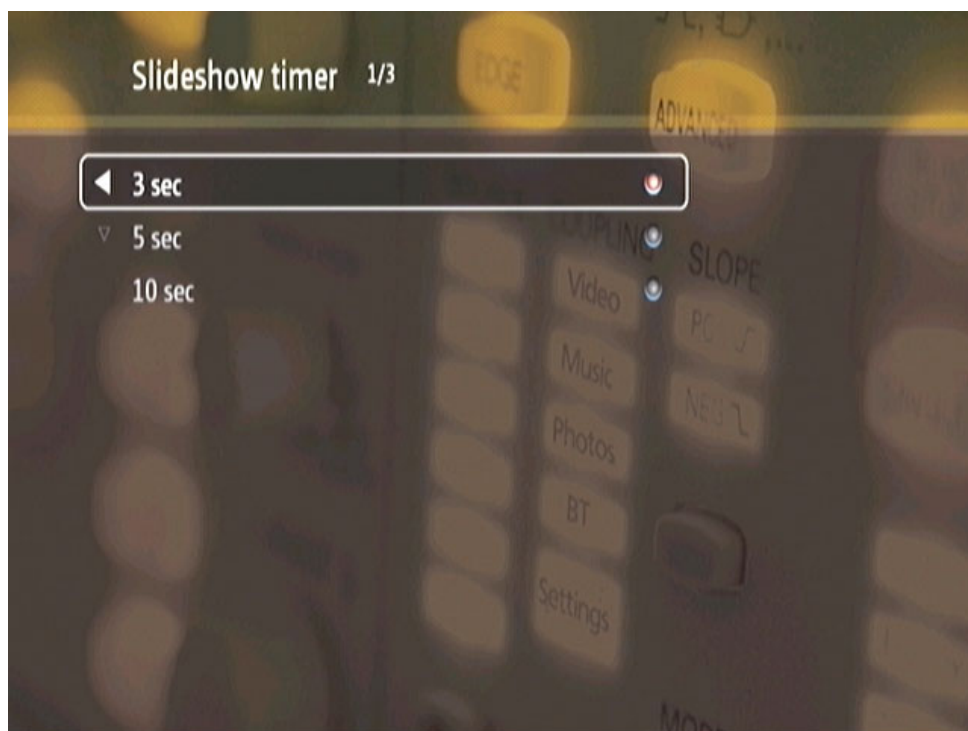
全ての音楽ファイルにおいて、ファイル分類により作成されたカテゴリを表示するよう選択します。

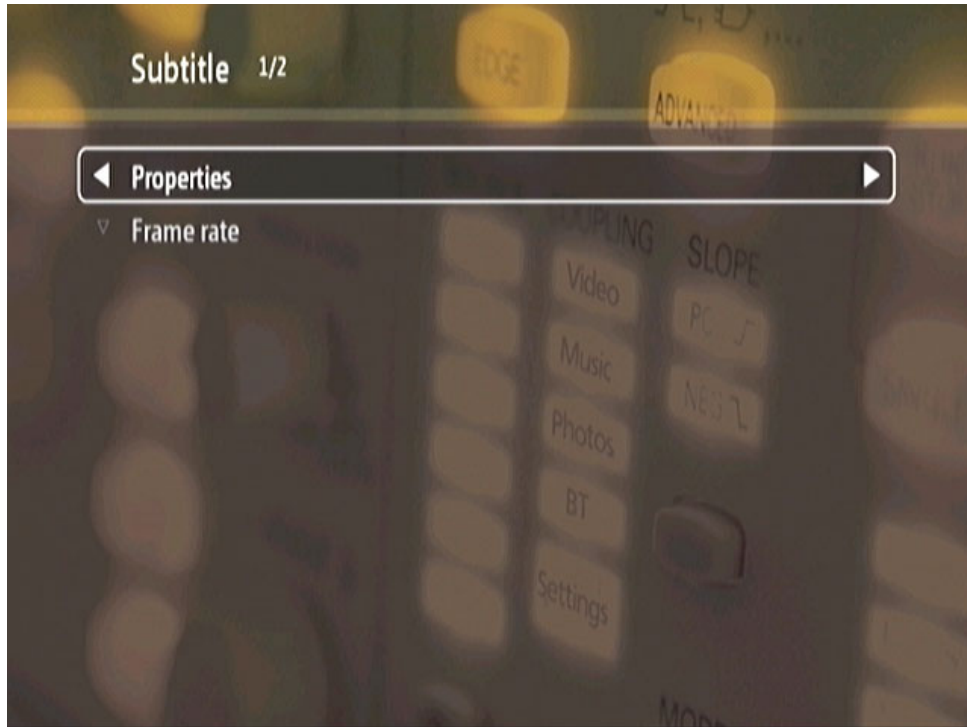
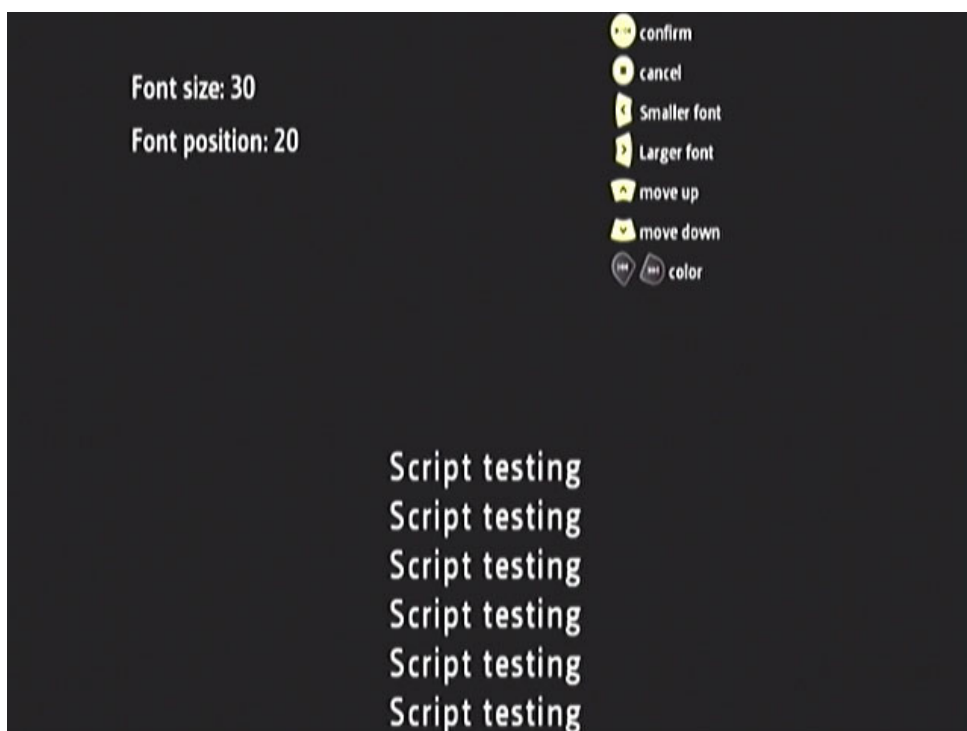
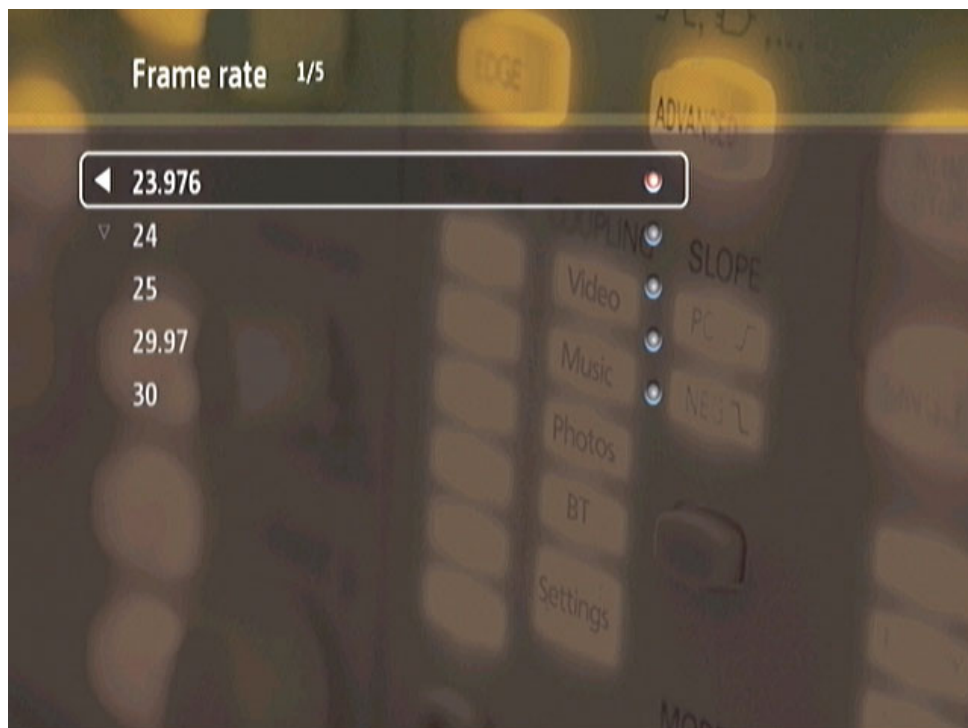
注意：メディア分類メニューを表示するには、ファイル分類が一度は実行されている必要があります。

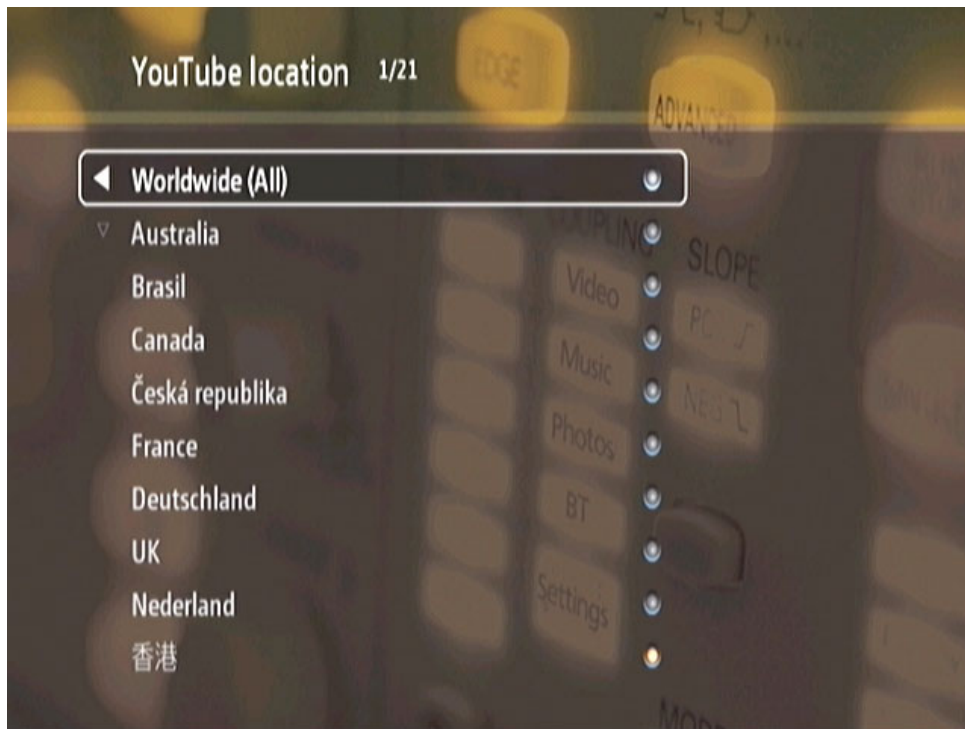
5.5.6 Photo view (写真ビュー)

画像ファイル(写真)を一覧あるいはサムネール表示する選択をしてください。

画像ファイルを表示している間に、フォルダ表示を "Options(オプション)"メニューから変更することが出来ます。

5.5.7 Slideshow timer (スライドショータイマー)

各画像ファイル（写真）がスライドショーに表示される秒数を定義します。

5.5.8 Subtitle（字幕）

字幕プロパティ及びフレーム率を構成します。

フォントサイズ及び字幕の位置を変更することが出来ます。

フレーム率設定はフレーム率ベースの字幕において調整可能です。これは、異なるビデオフレーム率設定による非同期問題が発生したときに便利です。

5.5.9 YouTube の地域

YouTube の表示する国別コンテンツを選択します。詳細については、項目錯誤! 找不到參照來源。 を参照してください。

6.　NMP-1000 のメディア再生

メディアファイルを再生中に、早送り、高速巻き戻し、前、次、再生、一時停止、といった標準再生機能に加え、“Options（オプション）”キーを押すことで、その他に使用できる機能のオプションメニューを呼び出すことが出来ます。

6.1　標準メディア再生オプション

これらのオプションはいかなるメディア再生モードにおいても使用可能です。

6.1.1　消去

現在再生中のメディアファイルを消去することが出来ます。ビデオ、音楽、及び写真再生は停止し、ナビゲーションメニューへと移動します。

6.1.2　再生モード

ビデオ再生中に再生モードをいつでも変更することが出来ます。オプションには、ランダム、現在のファイルあるいは全てのファイルの繰り返しを含みます。

6.1.3　情報

ビデオに使用される字幕、音楽ファイルのファイルサイズ、写真のサイズといったメディア情報が表示されます。

6.1.4　ロック/ロック解除

保護者規制にログインしている場合は、再生されているメディアファイルをロックあるいはロック解除することが出来ます。

6.1.5　ビデオ及び音楽ファイルのお気に入りへの追加及び評価

“Auto file categorization（ファイル自動分類)”がオンにされているか、あるいは “Manual file categorization（ファイル手動分類)”が実行してある場合、“Add to favorites（お気に入りに追加)”及び “Rate(評価)”機能が、ビデオ及び音楽再生のオプションメニューに表示されます。

1) お気に入りに追加されたファイルは、“Favorites（お気に入り)”カテゴリに表示されます。
2) 評価されたファイルは “Rating（評価)”カテゴリに一覧されます。

6.1.6　ビデオ及び音楽再生における検索機能

“Seek(検索)”機能を使用して現在再生中のビデオあるいは音楽ファイルの特定の時間枠に移動することが出来ます。

6.2 ビデオファイルの再生

リモートコントロールにて様々な標準ビデオ再生機能を使用することが出来ます。例えば:

1) Slow (スロー):ファイルを 1/2 あるいは 1/4 倍速にて再生します。
2) Seek (検索):特定の時間枠に移動します。
3) Play/ Pause/ Stop (再生/一時停止/停止):現在のビデオファイルを再生、一時停止、あるいは終了します。
4) Fast forward/ Fast rewind (早送り/高速巻き戻し):ファイルを 2、4、8、16、32 倍速にて早送りあるいは高速巻き戻しします。
5) Previous/Next (前/次):前/次のビデオに移動します。

ビデオファイルを再生中、オプションメニューにて以下の特定機能が使用可能です。

6.2.1 External subtitle (外部字幕)

お好みの字幕を選択し、ビデオと共に再生します。

6.2.2 Subtitle encoding (字幕エンコード)

字幕エンコードを変更することが出来ます。

6.2.3 Subtitle properties (字幕プロパティ)

字幕の位置及びサイズを変更することが出来ます。

6.2.4 TV aspect ratio (TV アスペクト比)

TV アスペクト比を 16:9、4:3 レターボックス、あるいは 4:3Pan Scan に変更することが出来ます。

6.3 Play Audio Files (オーディオファイルの再生)

オーディオファイルの再生中にリモートコントロールから以下のオプションを使用することが出来ます。

1) Seek (検索):特定の時間枠に移動します。
2) Play/Pause/Stop (再生/一時停止/停止):音楽ファイルを再生、一時停止、あるいは停止します。
3) Fast forward/Fast rewind (早送り/高速巻き戻し):ファイルを 2、または 4 倍速にて早送りあるいは巻き戻しします。
4) Previous/Next (前/次):前/次のオーディオファイルに移動します。

音楽再生リスト:オーディオファイルと共に使用したい音楽再生リストがある場合は、"Auto file categorization(ファイル自動分類)" を有効化、あるいは "Manual file categorization(ファイル手動分類)"を実行し、システムがインデックスファイルを作成するようにします。インデックスが作成された後、"Playlists(再生リスト)"カテゴリに再生リストファイルが表示されます。

6.4 画像ファイルの再生

画像ファイルの再生中にリモートコントロールから以下のオプションを使用することが出来ます。

1) Zoom (ズーム):ズームイン; 画像ファイルを 2、4、8 倍にて表示します。
2) Angle (角度):表示角度を 90°, 180°, 270°と回転します。
3) Play/Pause/Stop (再生/一時停止/停止):スライドショーをを再生、一時停止、あるいは終了します。
4) Previous/Next (前/次):前/次の画像ファイルに移動します。

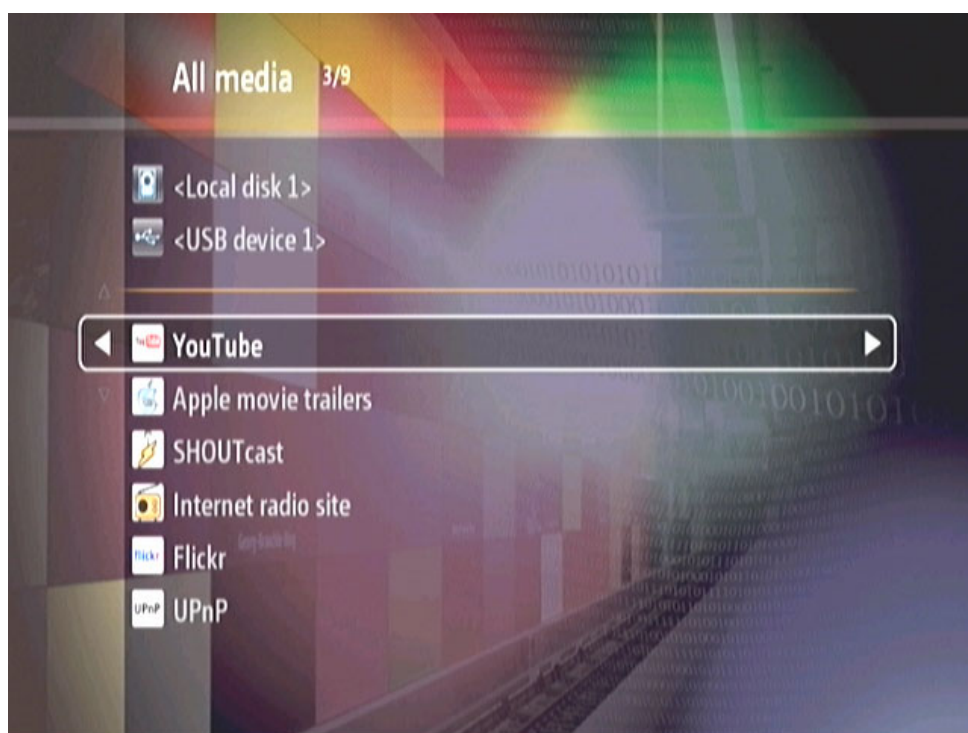
画像ファイルを再生中、"Options(オプション)"メニューにて以下の特定機能が使用可能です。

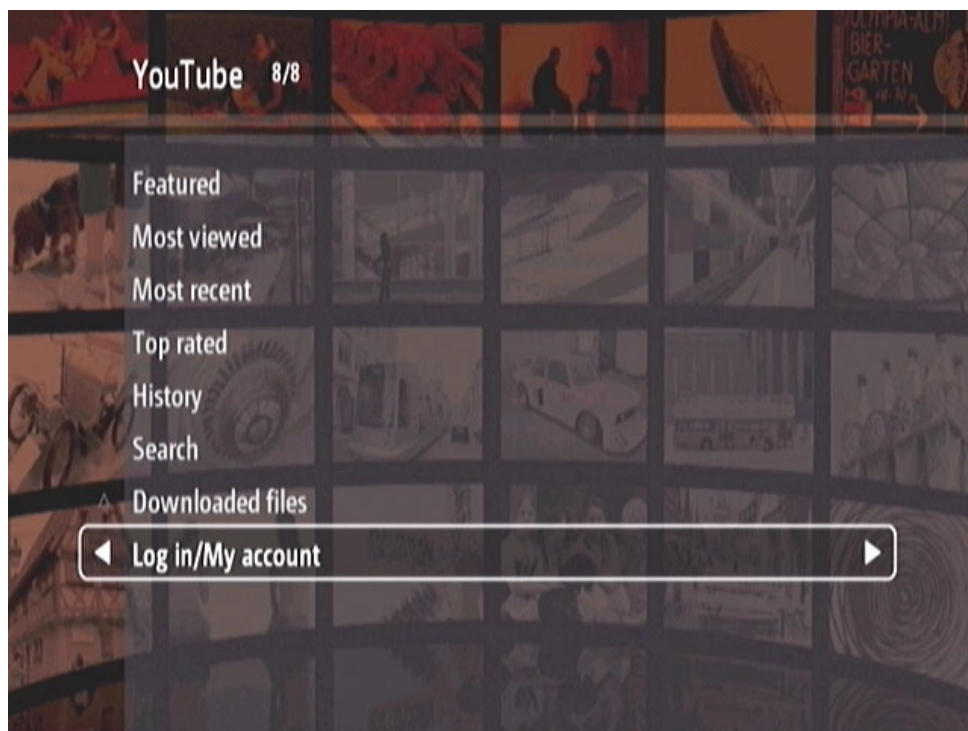
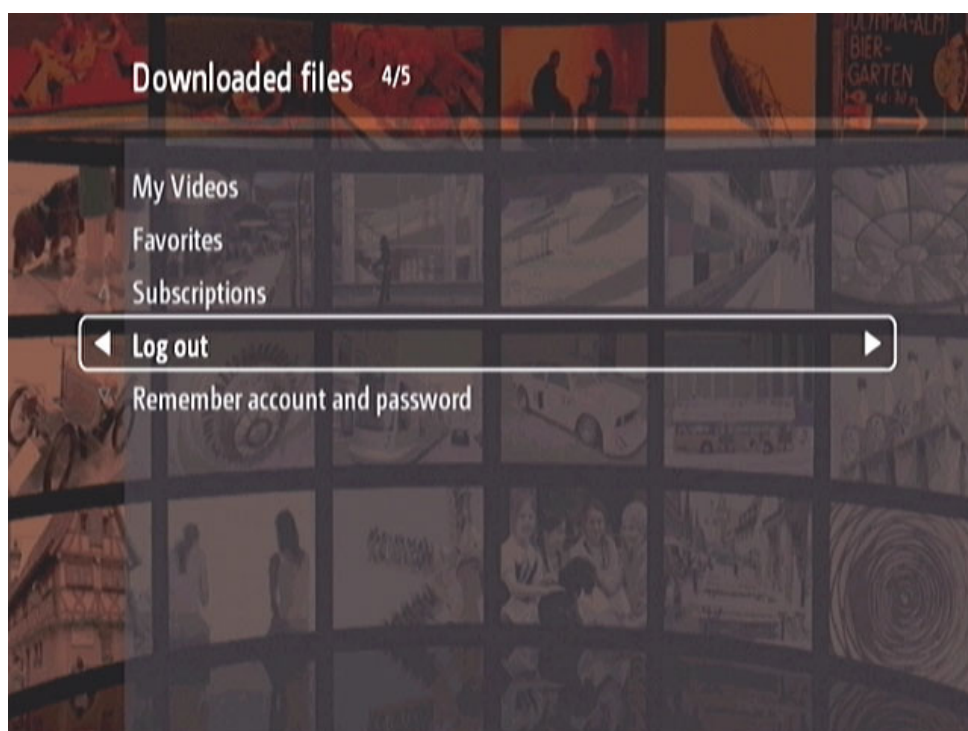
1. Delete (消去):画像を消去します。
2. Play mode (再生モード):スライドショーを、ランダム、現在のファイルあるいは全てのファイルの繰り返しで再生します。
3. Slideshow timer (スライドショー タイマー):スライドショーの各画像ファイルの表示時間を設定します。
4. Information (情報):画像の情報を表示します。
5. Lock/ Unlock (ロック/ロック解除):保護者規制にログインしている場合は、画像ファイルをロックあるいはロック解除することが出来ます。

6.5 オンラインメディアコンテンツの再生

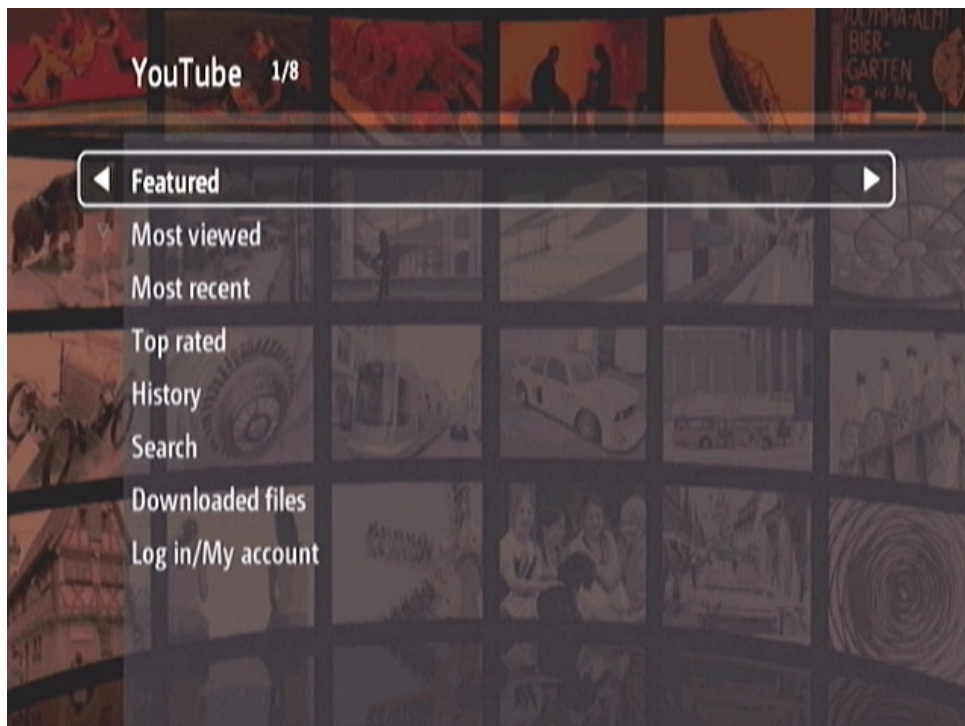
6.5.1 YouTube 動画

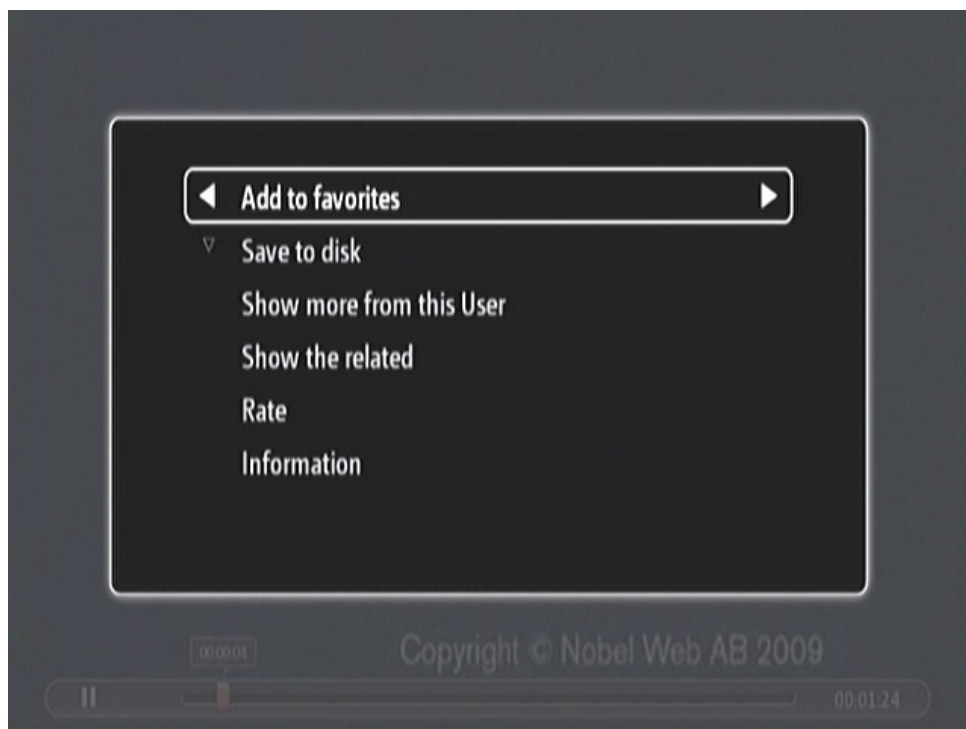
NMP-1000 は YouTube(www.youtube.com)の動画再生をサポートしています。この機能を使用するには、NMP-1000 がインターネットに接続されていることを確認してください。YouTube の表示する国別コンテンツを"Preferences" (選択) > "YouTube Location" (YouTube 地域).から選択します。

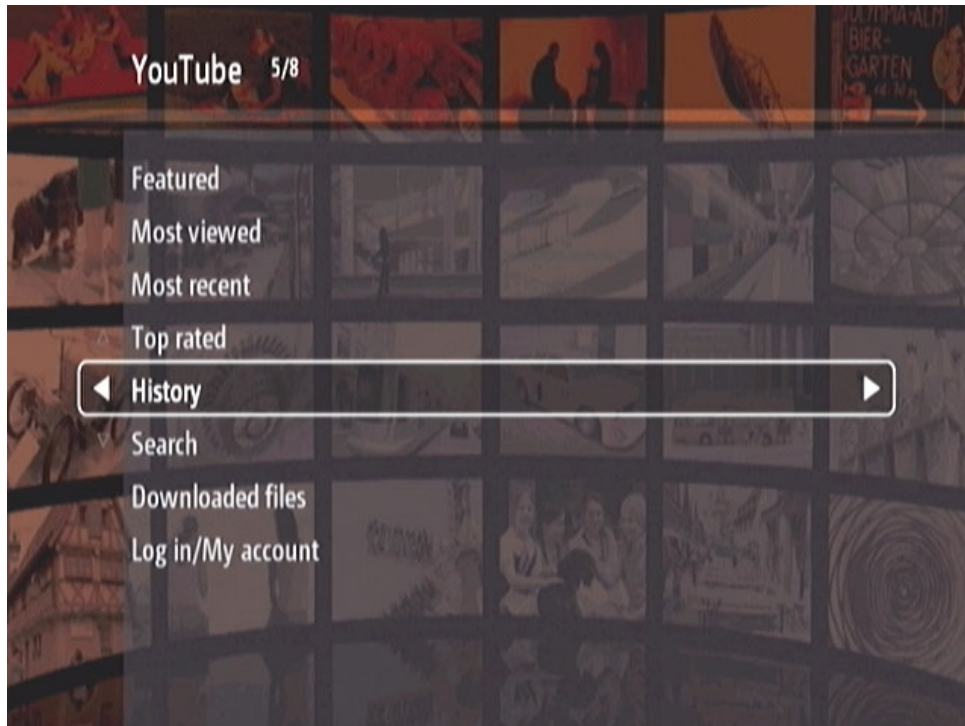
"All media" (すべてのメディア) または "Video" (ビデオ) に移動し、"YouTube"を選択します。

YouTube アカウントにログイン

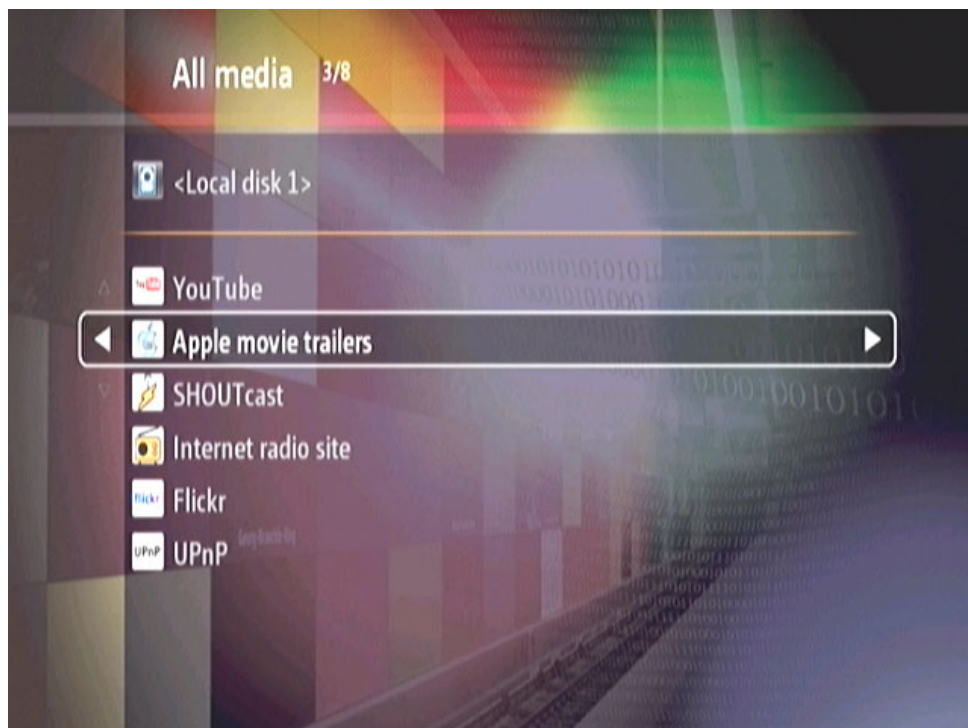
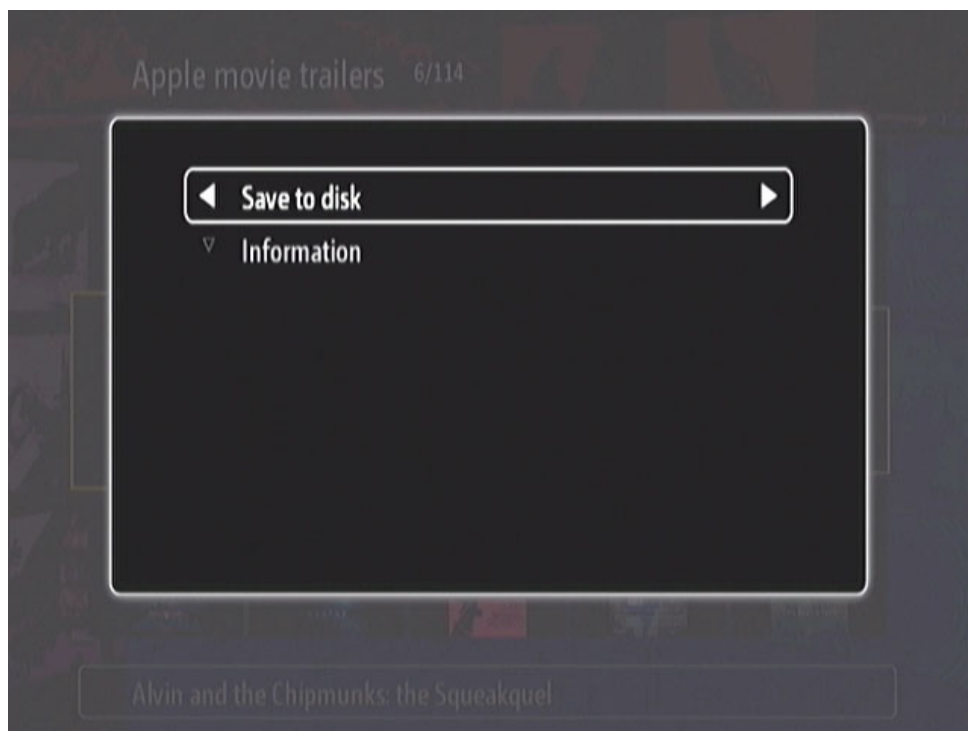
YouTube アカウントをお持ちの場合、動画を閲覧し再生する前に YouTube アカウントにログインすることをお勧めします。NMP-2000 の YouTube メニューから "Log in/My account" (ログイン/マイアカウント) に進み、ログイン情報を入力します。

正常にログインすると、YouTube にてアップロードした動画、お気に入り、および購読内容を表示することができます。NMP-1000 に YouTube へのログイン名とパスワードを保存することもできます。

YouTube の動画を再生

リモコンを試用して以下のうちいずれかのオプションを選択し、動画を選択します。"OK" を押して動画を再生します。

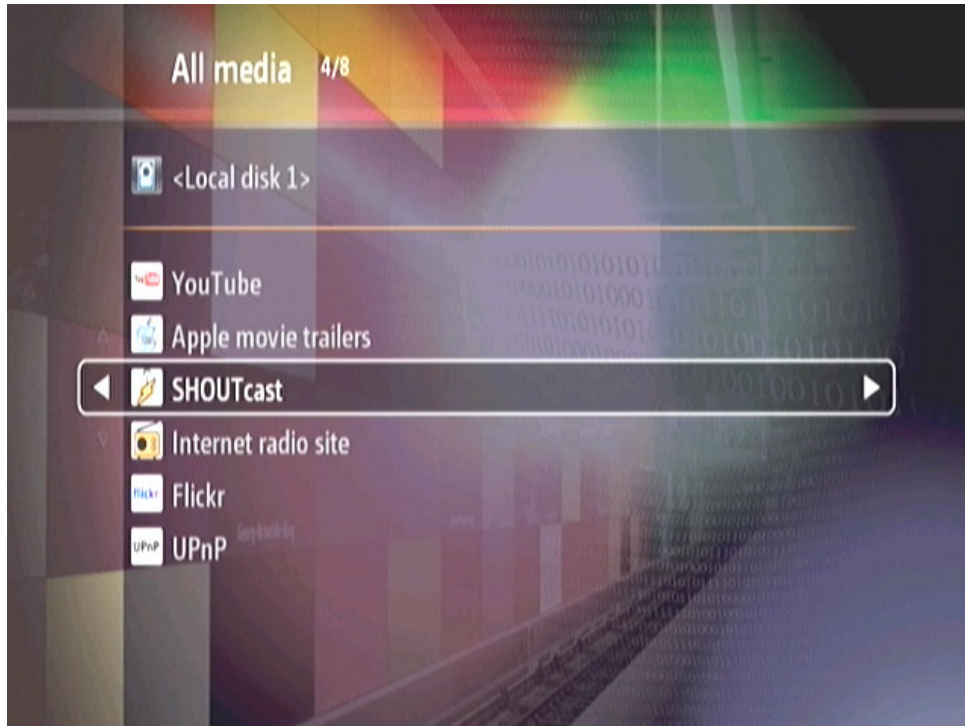
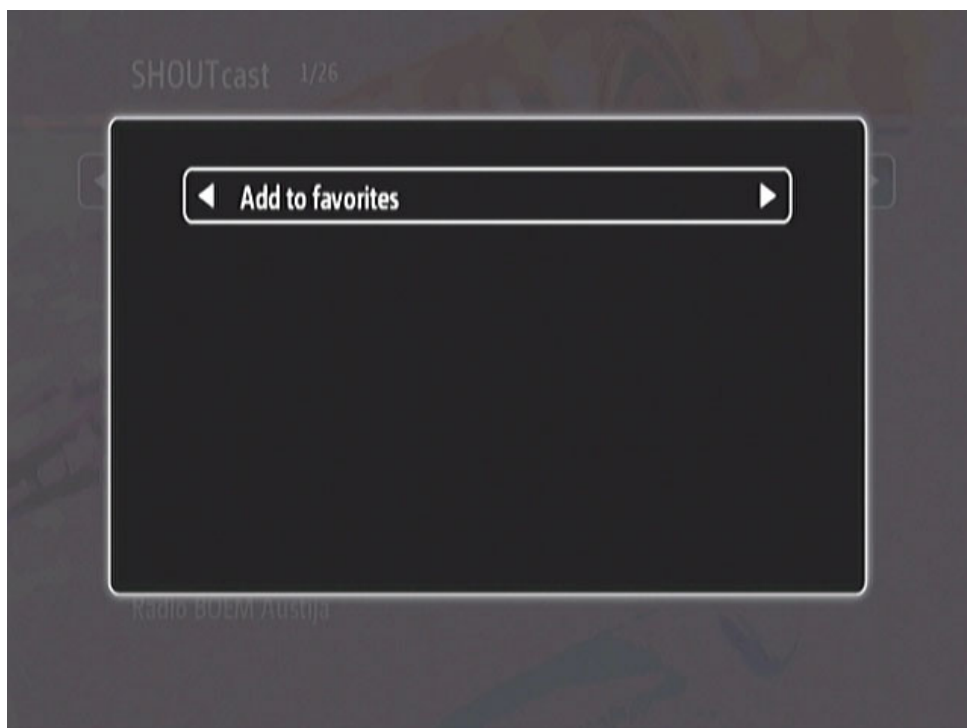
- 注目の動画:YouTube 場所における注目の動画を表示します。
- 再生回数の多い動画:YouTube 場所における再生回数の多い動画を表示します。
- 最近の動画:YouTube 場所における最近の動画を表示します。
- 評価の高い動画:YouTube にて評価の高い動画を表示します。

動画の再生中に“Options” (オプション)を押すと 以下のうちいずれかの機能を選択することができます。

- お気に入りに追加:動画をお気に入りに追加します。
- ディスクに保存:動画を内蔵ハードディスクドライブに保存します。ダウンロードした動画は¥¥NMP IP¥Download¥YouTube に保管されます。
- このユーザーの作品をもっと見る:この YouTube ユーザーがアップロードした動画ファイルを表示します。
- 関連動画を見る:関連のある動画ファイルを表示します。
- 評価:動画への評価を追加します。
- 情報:動画の情報を表示します。

その他のオプションは YouTube メニューから選択することができます。

- 履歴:このページは、NMP−1000 にてユーザーがこれまでに閲覧した YouTube の動画を記録します。
- 検索:YouTube の動画を検索します。
- ダウンロード済みファイル:YouTube からダウンロードした動画を閲覧します。

6.5.2 Apple movie trailers

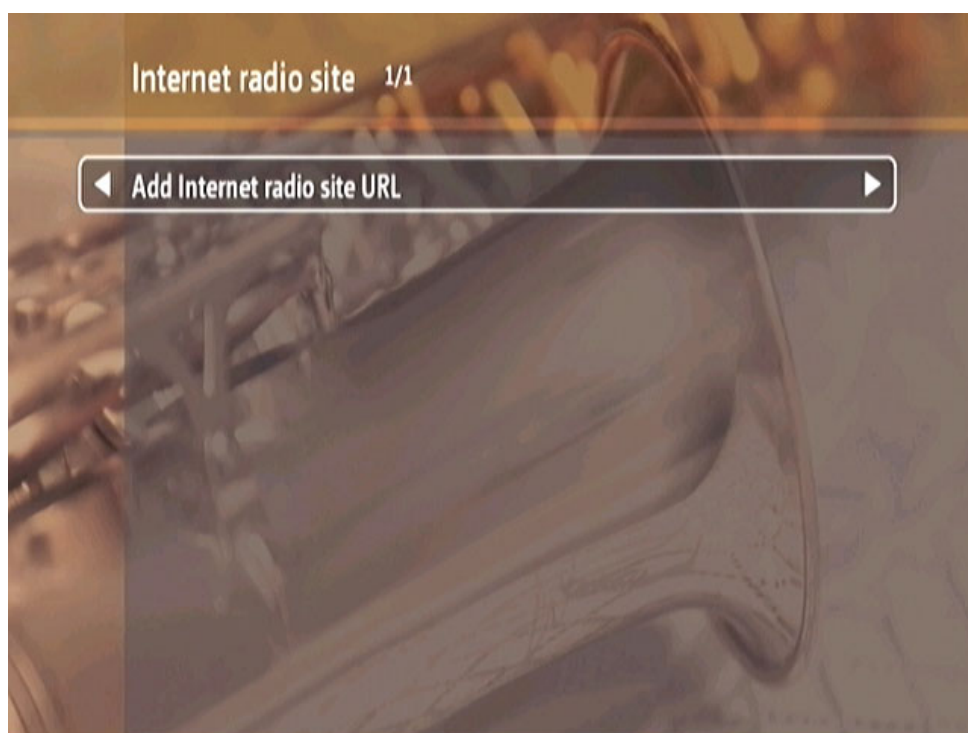
NMP-1000 は最新の Apple movie trailers の再生をサポートしています。“All media”（すべてのメディア）または “Video”（ビデオ）に移動し、“Apple movie trailers”を選択します。

再生したい予告編を選択、または予告編をハイライト色にし、“Options” （オプション） を押します。トレーラーを内蔵ハードディスクドライブに保存するか、あるいはトレーラーの情報を表示するかを選択できます。ダウンロードした予告編は¥¥NMP IP¥Download¥Trailers に保管されます。

6.5.3　SHOUTcast

NMP-1000 は、SHOUTcast により世界中の主要ラジオ局に素早くアクセス、ご使用のオーディオシステムから再生することができます。

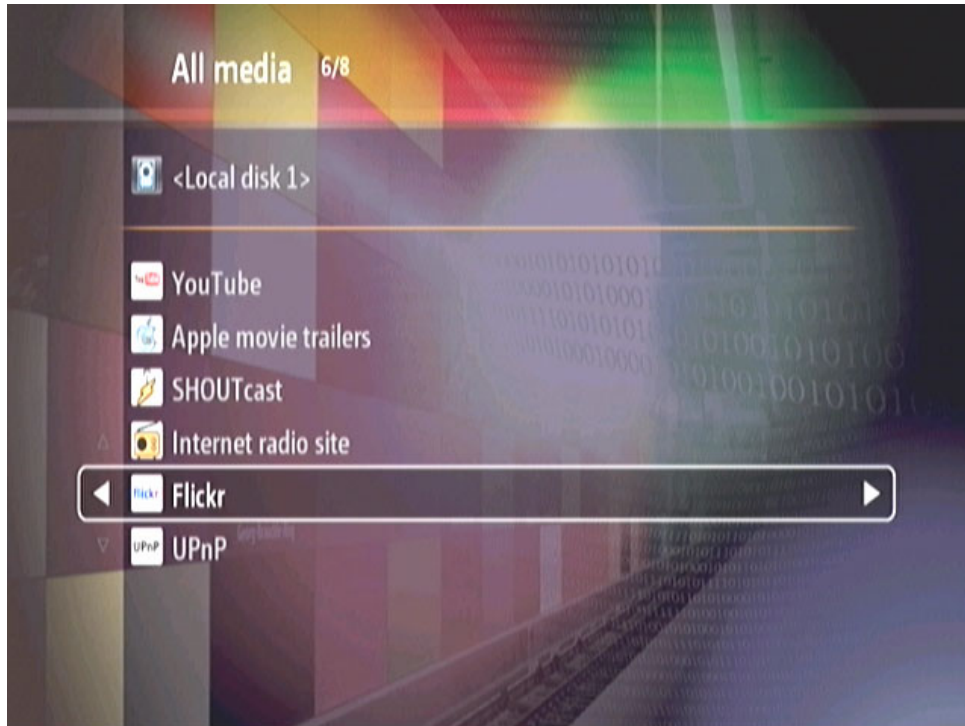
“All media”（すべてのメディア）または “Music”（音楽）に移動し、“SHOUTcast”を選択します。

SHOUTcast によりラジオチャンネルを閲覧します。"OK" を押してチャンネルを再生するか、あるいは"Options" (オプション) を押してラジオチャンネルをお気に入りに追加します。

6.5.4 インターネットラジオサイト

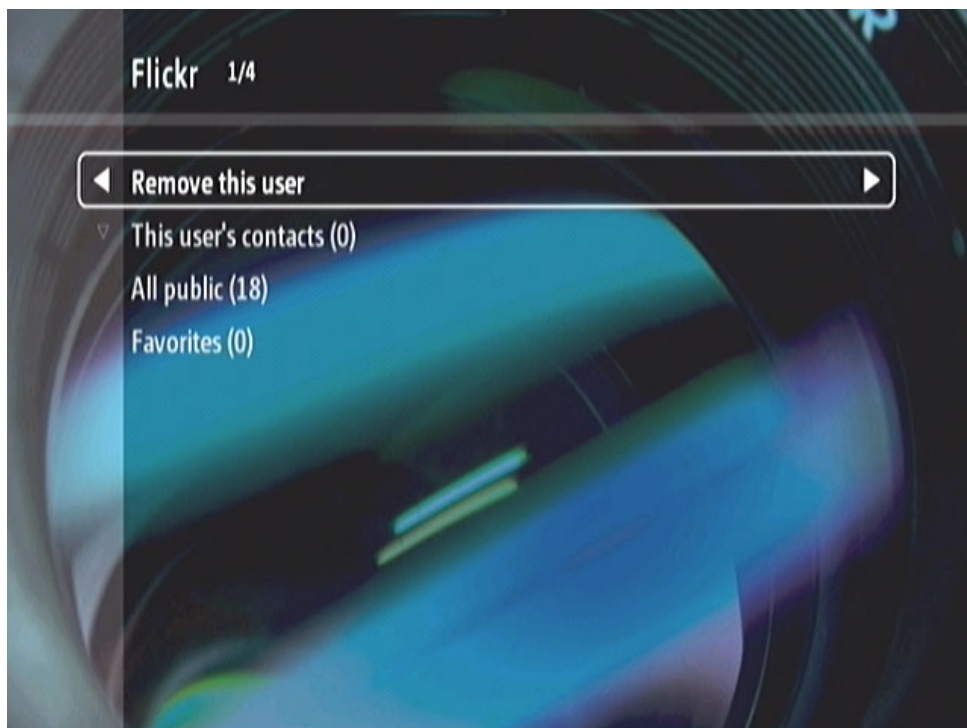
NMP-1000 にお気に入りのラジオチャンネルを入力することができます。“All media”（すべてのメディア）あるいは“Music”（音楽）に移動し、“Internet radio site”（インターネットラジオサイト）を選択します。.

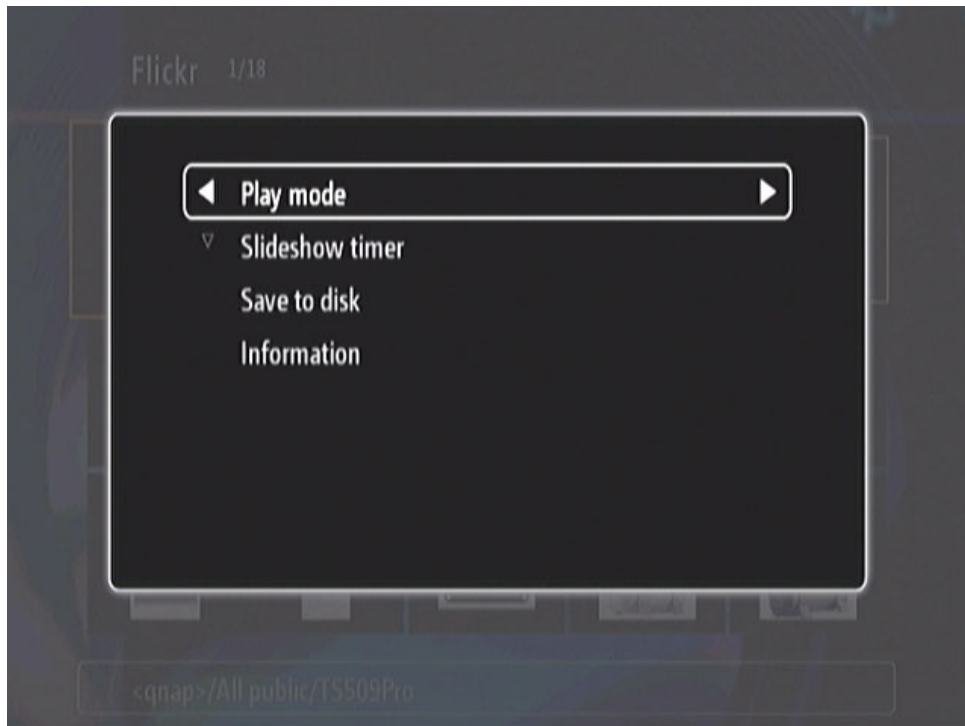
“Add Internet radio site URL”（インターネットラジオサイト URL）を選択し、インターネットラジオサイトの URL を入力します。“OK” ボタンを押してラジオを聴きます。

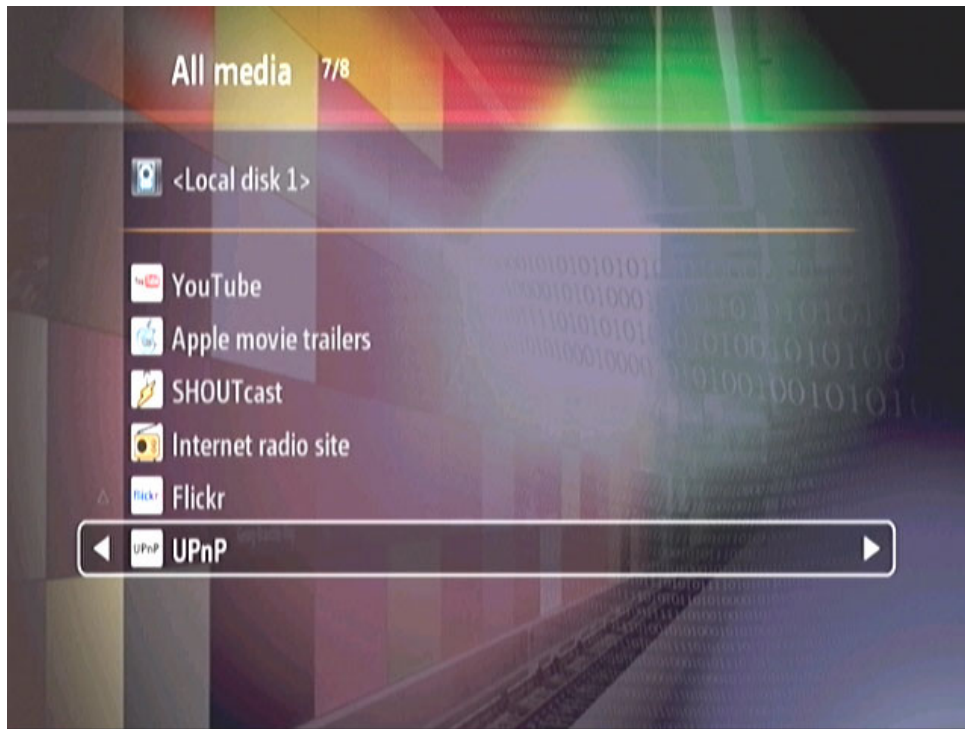
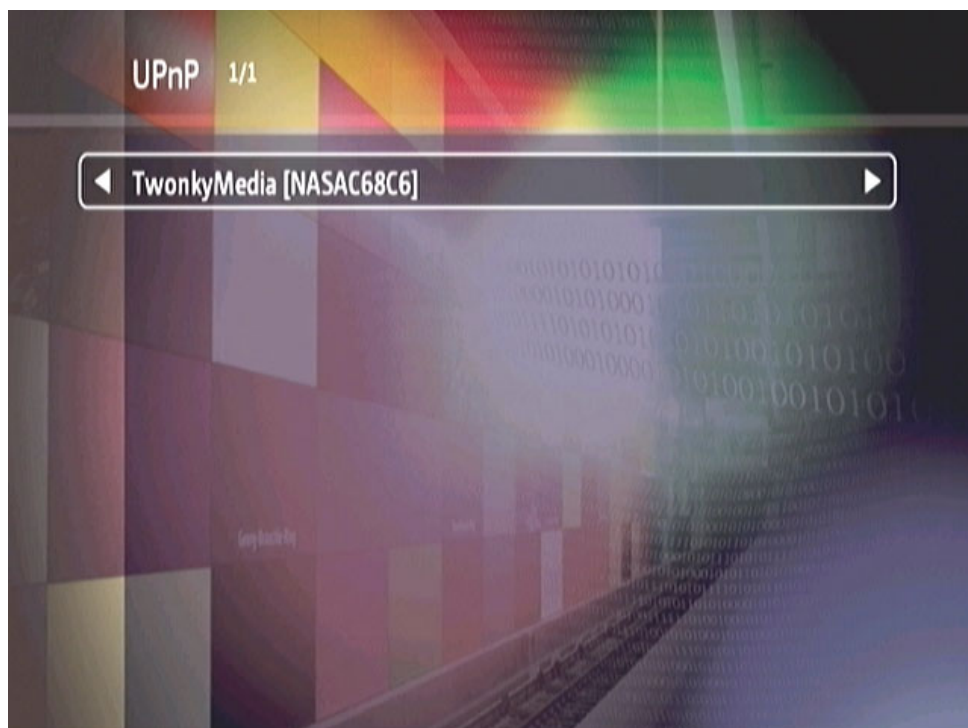
ラジオチャンネルを削除するには、一覧からチャンネルを選択します。“Options”（オプション）を押し、“Delete”（削除）を選択します。

6.5.5 Flickr

Flickr にてお友達やご家族が共有している写真にも、NMP-1000 によりアクセスすることができます。

“All media”（すべてのメディア）または “Photos”（写真）に移動し、“Flickr”を選択します。

“Add Flickr contact”（Flickr コンタクトを追加）を選択肢、Flickr コンタクト名を入力します。

Flickr コンタクトを追加した後、"OK" を押して共有のアルバム/写真、お気に入り、ユーザーのコンタクトを閲覧します。NMP-1000 上で Flickr コンタクトリストからユーザーを削除することもできます。

Flickr のアルバムまたは写真を表示している際に、“Options” (オプション) を押して以下のいずれかの機能を選択します:

- 再生モード:“Repeat” (繰り返し) あるいは “Shuffle” (ランダム) モードを選択します。
- スライドショー タイマー:各写真がスライドショーに表示される秒数を選択します。
- ディスクに保存:Flickr の写真を¥¥NMP IP¥Download¥Flickr に保存します。
- 情報:Flickr の写真の情報を表示します。

6.5.6　UPnP

NMP-1000 は、ローカルネットワークを通してのオンラインメディア再生のための UPnP/ DLNA 対応ストレージ機器をサポートしています。この機能を使用するには、“All media”（すべてのメディア）に移動し、“UPnP”を選択します。

NMP−1000 はすべての UPnP/ DLNA ストレージ機器を自動的に検索します。接続するデバイスを選択し、再生するマルチメディアコンテンツを参照します。

6.6　天気

NMP-1000 をインタネットで、接続して頂ければ、リアルタイムに天気予報とか、天気情報をご覧になれます。この機能を使うため、あず、ホームメニュまで、アクセスして、“Network”（ネットワーク）> “Weather”（天気）. を選んでください。それから、location を選択し、“天気情報”まで、アクセスして頂ければ、天気予報をご覧できます。

7. BitTorrent ダウンロード

NMP-1000 は PC 無しでの BitTorrent ダウンロードに対応しています。リモートコントロールの使用、あるいはウェブベースのインターフェイス（Download Station)へログインすることでダウンロードを実行することが出来ます。Download Station（ダウンロードステーション)はローカルネットワークあるいはインターネットを通しダウンロードの遠隔管理をサポートしています。

7.1 終了/実行/一時停止リスト

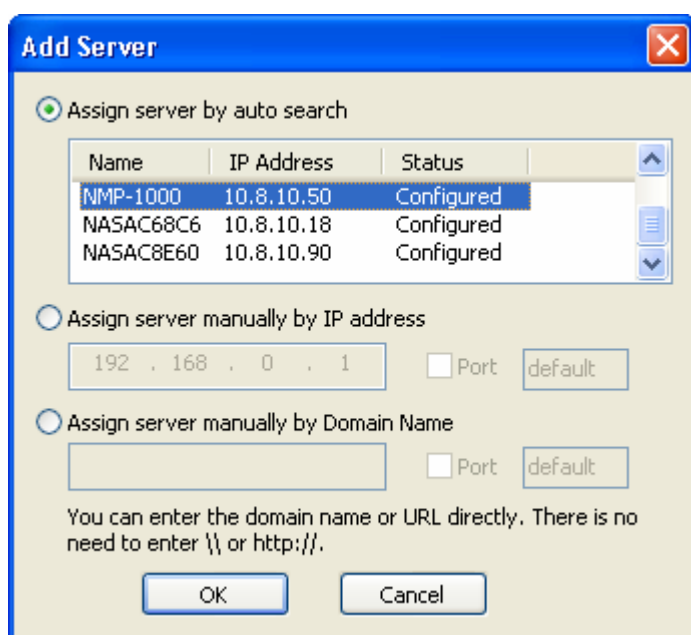
既存の torrent ファイルの状況は Finish/Run/Pause（終了/実行/一時停止)リストに表示されます。タスクを選択し、リモートコントロールの "Options(オプション)"キーを押すことで、BT ダウンロードのタスクをその活動状況によって、戻す、一時停止、あるいは消去することができます。

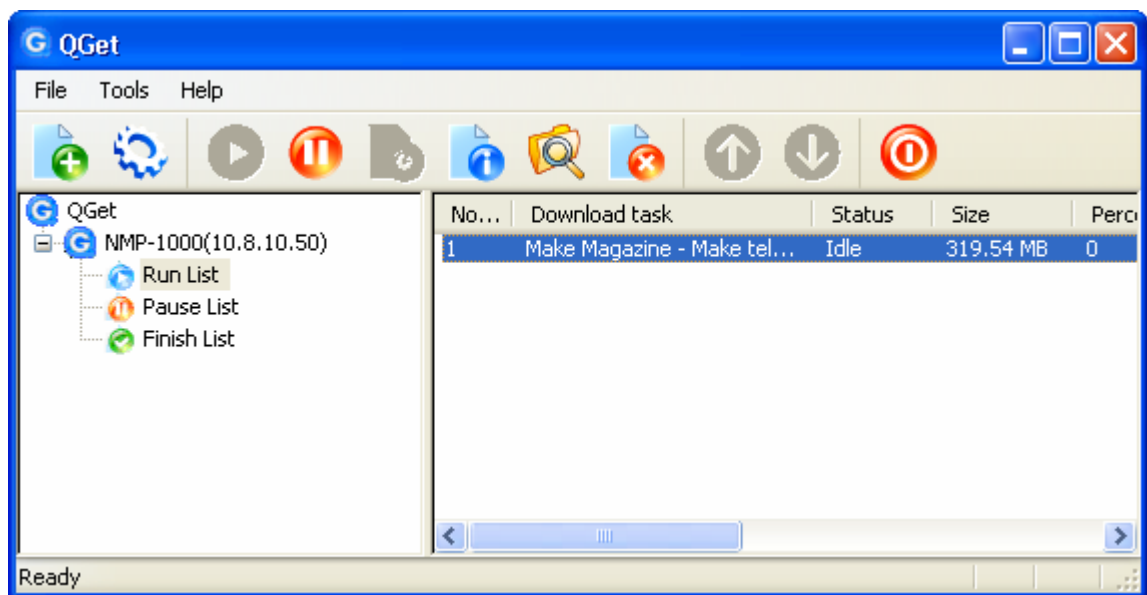
7.2 新規 BT タスクの追加

BT ダウンロードタスクを追加するには、ホームメニューに移動、"Network" (ネットワーク) > "BT download（BT ダウンロード)" > "Add new task（新規タスクを追加)"を選択します。ローカルディスクあるいはリモートディスクのうち、torrent ファイルの場所を選択します。ローカルディスクを選択した場合、torrent ファイルを NMP-1000 に必ずコピーしてください。Torrent ファイルをハイライトし、"OK"を押します。ダウンロード状況を "Run list（実行リスト)"にて確認することが出来ます。

7.3 QGet ダウンロードソフトウェア

QNAP は、NMP-1000 でのダウンロードタスクのリモート管理のため、限定ダウンロードユーティリティ QGet を提供しています。

1. QGet を使用するには、製品 CD-ROM よりユーティリティをダウンロードしてください。
2. 適切にインストールした後、"Add Server(サーバの追加)"機能を使用して NMP-1000 を追加します。NMP-1000 がネットワークに接続されていることを確認してください。

3. ユーザー名及びパスワードを入力します。

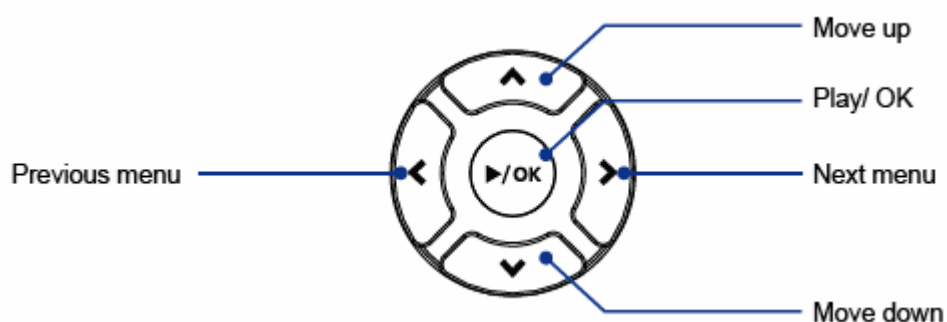
4. 管理画面が表示されると、QGet を使用しダウンロードタスクを管理することが出来ます。

8.　異なるメディアモードにおける追加機能

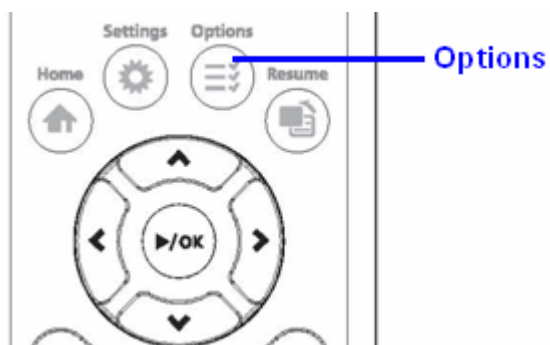
このセクションでは、異なるメディアモードにおける特定機能についてご紹介します。

8.1　DVD 再生

DVD ファイル再生中、Audio/ Menu/ Subtitle/ Title（オーディオ/メニュー/字幕/タイトル）キーを使用して標準 DVD ナビゲーション機能を利用することが出来ます。

8.2　ファイルリスト閲覧におけるページの上下移動

メディアファイルの長いリストを閲覧中、Move up/ Move down（上に移動/下に移動）キーを押し続ける代わりに、Previous menu/ Next menu（前のメニュー/次のメニュー）キーでページの上下移動の動作をすることができます。

8.3 フォルダコピー、ファイルコピー、及び削除

フォルダあるいはファイルをハイライトし “Options（オプション)”キーを使用してコピーすることが出来ます。フォルダあるいはファイルをコピーすると “Options(オプション)” メニュー上に “Paste(貼り付け)”項目が表示されます。ご希望のフォルダに移動しコピーしたフォルダあるいはファイルを貼り付けます。

8.4 Now Playing（現在再生中）

音楽ファイルの再生中あるいはビデオを一時停止しホームメニューに戻った際、“Now Playing（現在再生中）”のオプションがメニューに現れ、画面下部に再生状況が表示されます。“Now Playing（現在再生中）”を選択し、メディア再生画面に戻ります。

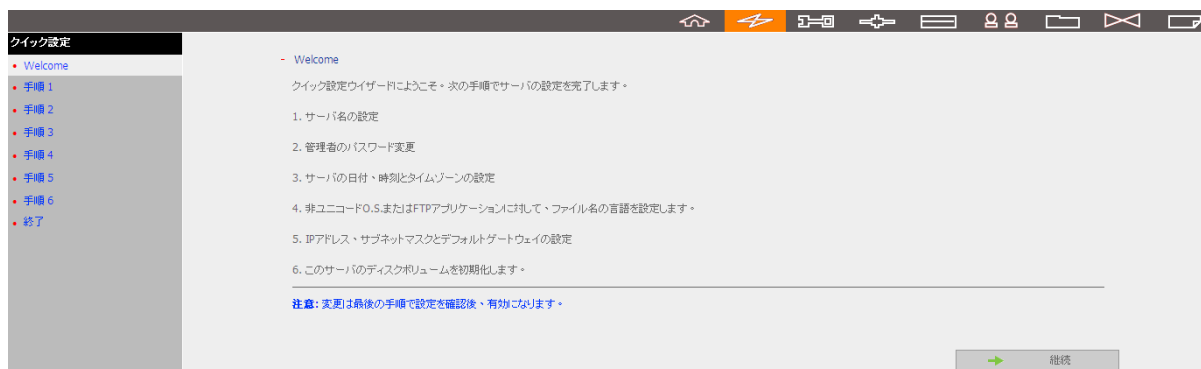
9.　NAS モード

NMP−1000 は Windows、Mac、Linux OS に渡ってのファイル共有のため、NAS 機能及び FTP サーバ、BT ダウンロード、ユーザー及びユーザーグループ管理、ネットワーク共有管理といったその他の機能をもサポートしています。

1. NMP−1000 の NAS 機能を使用するにはウェブブラウザ（IE または Firefox)を開き、サーバ IP を入力します。
2. ログインページの“Administration（管理)”をクリックします。管理者名及びパスワードを入力します。

デフォルトログイン: admin パスワード: admin

9.1　Quick Configuration (クイック構成)

NMP-1000 をクイック構成にて構成することが出来ます。

Step 1.　サーバ名を入力します。

- 1. サーバ名を入力してください。

サーバ名：　NMP-1000

戻る　継続

Step 2.　管理者パスワードを変更あるいはオリジナルのパスワードの使用を選択します。

- 2. administratorのパスワードを変更します。

パスワード：　●●●●●

パスワードの再入力：

☑ オリジナルのパスワードを使用

注意: "オリジナルのパスワードを使用"にチェックを入れると、管理者のパスワードを変更しません。

戻る　継続

Step 3.　日付及び時間を入力し、サーバ用のタイムゾーンを選択してください。

- 3. サーバの日付、時刻とタイムゾーンの設定

タイムゾーン：　(GMT) Greenwich Mean Time : Dublin, Edinburgh, Lisbon, London

現在の日付と時刻：　2009 / 10 / 20 AM 04 : 38 : 05

☐ 日付と時刻の変更:

日付: 1月 , (月/日/年)

時刻: : : AM (時/分/秒)

戻る　継続

Step 4.　ファイル名エンコードを選択します。

- 4. 非ユニコードO.S.またはFTPアプリケーションに対して、ファイル名の言語を設定します。

ファイル名の言語:　英語

戻る　継続

Step 5.　IP アドレス、サブネットマスク、及びサーバのデフォルトのゲートウエイを入力します。

- 5. サーバのIPアドレス、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイの設定

ネットワークタイプ　有線

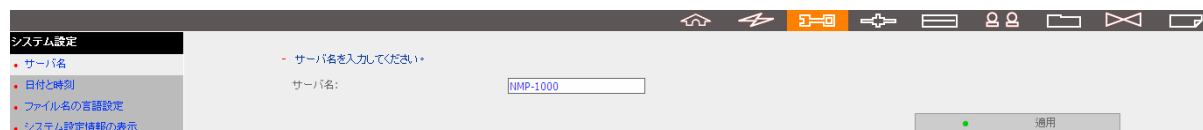
TCP/IP設定はDHCPによって自動的に取得

固定IP設定

IPアドレス:	10 . 8 . 12 . 118
サブネットマスク:	255 . 255 . 254 . 0
デフォルトゲートウェイ:	10 . 8 . 12 . 1
プライマリDNSサーバ	0 . 0 . 0 . 0
セカンダリDNSサーバ	0 . 0 . 0 . 0

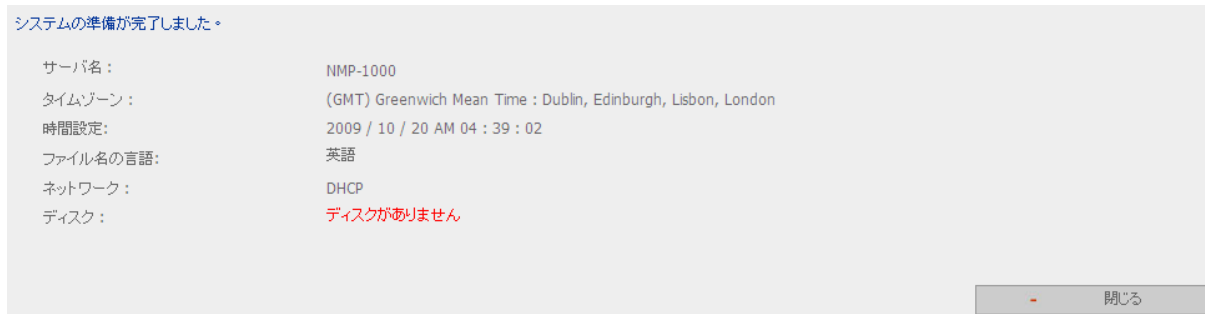
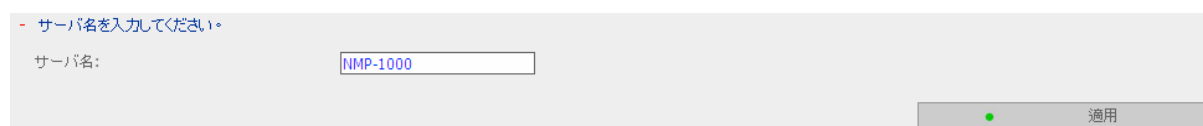
注意: デフォルトゲートウェイが必要ない場合には、"0.0.0.0"に設定します。

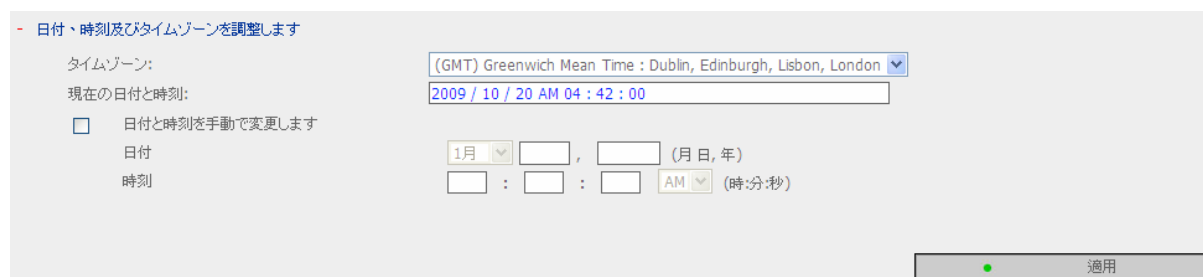
戻る　継続

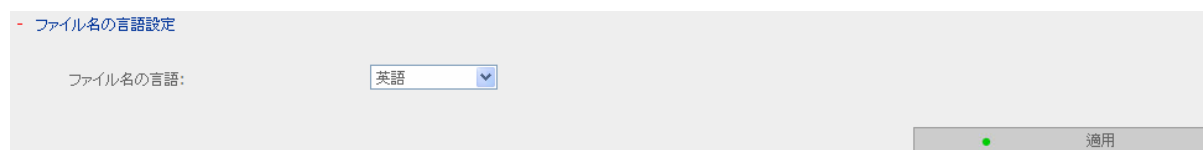
Step 6.　ハードディスクを初期化するかどうかを選択します。ハードディスクが既にフォーマットされている場合は、ハードディスクを初期化しないよう選択してください。

Step 7.　基本システム設定が表示されます。"Finish(終了)"をクリックしシステムの初期化を開始します。システムが初期化されたら、"Close(閉じる)"をクリックし終了します。

システムの準備が完了しました。

サーバ名：	NMP-1000
タイムゾーン：	(GMT) Greenwich Mean Time : Dublin, Edinburgh, Lisbon, London
時間設定:	2009 / 10 / 20 AM 04 : 39 : 02
ファイル名の言語:	英語
ネットワーク：	DHCP
ディスク：	ディスクがありません

閉じる

9.2 System Settings (システム設定)

サーバ名、日付と時間、及びファイル名エンコードをシステム設定内で構成します。

9.2.1 Server Name (サーバ名)

NMP-1000 のサーバ名を入力します。サーバ名は最大 14 文字、アルファベット、数字、及びハイフン(-)が使用できます。サーバはスペース、ドット(.)あるいはその他の記号は使用できません。

9.2.2 Date & time (日付と時間)

日付、時間、及び地域に適合するタイムゾーンを設定します。

9.2.3 Filename Encoding (ファイル名エンコード)

NMP-1000 がファイル及びディレクトリを表示するのに使用する言語を選択します。

9.2.4 View System Settings（システム設定を表示する）

このページで現在のシステム設定を全て表示することが出来ます。

- システム設定情報の表示

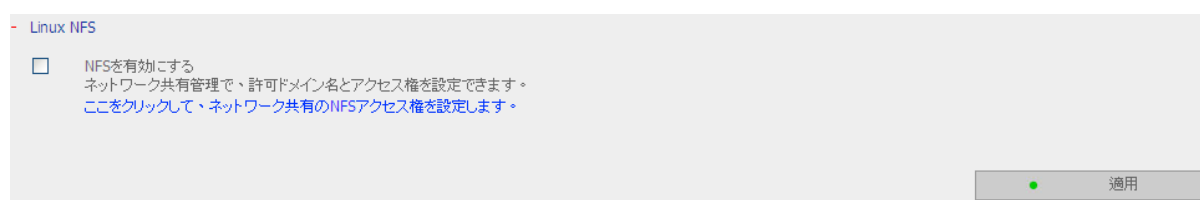
サーバ名	
サーバ名	NMP-1000
日付と時刻	
日付	10月 20日, 2009
時刻	4:42:31 AM
タイムゾーン	(GMT) Greenwich Mean Time : Dublin, Edinburgh, Lisbon, London
ファイル名の言語	
コードページ	英語 (437)
システム情報	
バージョン	1.1.2 Build 0922N

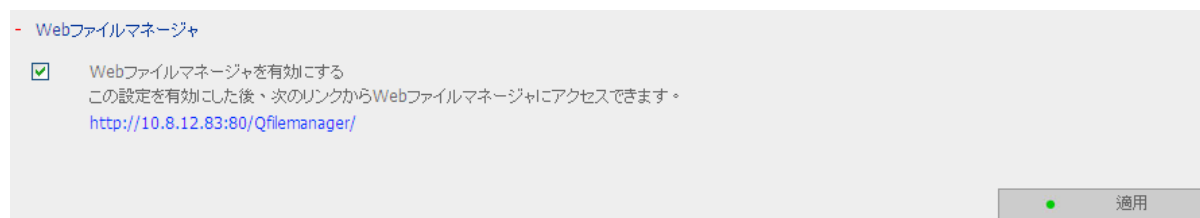
9.3 ネットワーク設定

9.3.1 TCP/ IP 構成

有線ネットワーク接続の使用中に、NMP-1000 の IP アドレスを構成することが出来ます。 ワイヤレスネットワークを使用している際は、この機能は無効になります。NMP-1000 はデフォルトでは DHCP を使用します。

9.3.2 Microsoft Networking (Microsoft ネットワーク)

Windows OS を使用している場合は、このサービスを有効化することで、Microsoft ネットワークによりネットワーク共有フォルダにアクセスすることが出来ます。

9.3.3　Apple Networking (Apple ネットワーク)

Mac OS より NMP-1000 にアクセスするには、このオプションを有効化します。ご使用の AppleTalk ネットワークが拡張ネット枠を使用し、複数のゾーンに割り当てられている場合、NMP-1000 にゾーン名を割り当ててください。ネットワークゾーンを割り当てたくない場合、星印(*)を入力しデフォルト設定を使用してください。**この設定はデフォルトでは無効化の状態です。**

9.3.4　NFS Service (NFS サービス)

Linux より NMP-1000 にアクセスするには、このオプションを有効化します。

9.3.5　Web File Manager (ウェブファイルマネージャ)

ウェブブラウザよりNMP-1000 条のファイルにアクセスするには、ウェブファイルマネージャを有効化します。NMP-1000 がインターネットに接続され、有効な IP アドレスを使用している場合、LAN あるいは WAN からウェブブラウザを使用してサーバ上のファイルにアクセスすることが出来ます。詳しくはセクション 10 を参照してください。

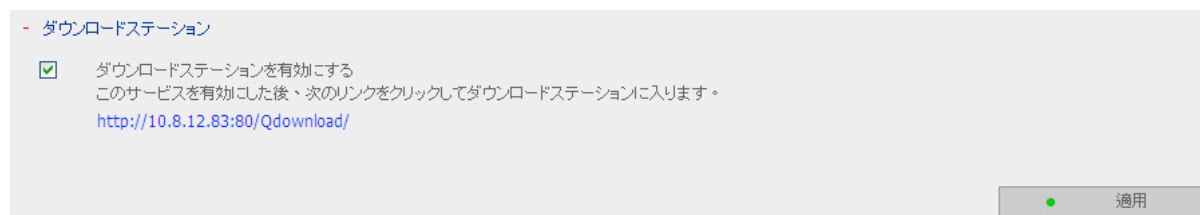
9.3.6 FTP Service (FTP サービス)

NMP-1000 は FTP サービスに対応しています。サービスのポート番号と、同時に FTP に接続できる最大ユーザー数を定義することが出来ます。

- Unicode Support (Unicode サポート)
  Unicode サポートの有効化あるいは無効化を選択します。デフォルトでは無効の状態です。多くの FTP クライアントが現在 Unicode をサポートしていないため、ここで Unicode を無効化し、"System Settings—Encoding Setting(システム設定—エンコード設定)"にてご使用の OS と同じ言語を選択することをお勧めします。これで FTP 上のフォルダ及びファイルは正しく表示されます。FTP クライアントが Unicode をサポートする場合、クライアントと NMP-1000 の両方で Unicode をサポートしていることを確認してください。

- Enable Anonymous (匿名を有効化する)
  匿名ログインを有効化することで、ユーザーが匿名で NMP-1000 の FTP サーバにアクセス出来るようになります。

9.3.7 Download Station (ダウンロードステーション)

NMP-1000 は PC 無しでの BitTorrent(BT)ダウンロードに対応しています。ダウンロード機能を使用するには、Download Station(ダウンロードステーション)を有効化してください。以下のステップを実行する前に、ハードドライブがデバイスに取り付けられていること、及びデフォルトのネットワーク共有 "Download"が存在していることを確認してください。

警告:著作権を侵害するダウンロードは違法です。ダウロードステーション機能は、認可されたファイルのダウンロードのみに使用してください。無認可の物件のダウンロードあるいは配布は、民事あるいは刑事法により厳しく罰せられる場合があります。ユーザーは著作権法により制限され、これに従わない場合はその責任を負うものとします。

ウェブブラウザを開き http://NMP-1000 IP/Qdownload を入力、あるいは NMP-1000 のログインページ上の"Download Station(ダウンロードステーション)"をクリックしてダウンロードステーションにアクセスします。

Add New BT Task (新規 BT タスクの追加)

1. 左にある“Add new BT task(新規BTタスクの追加)”をクリックし、torrentファイルをアップロードします。インターネットを検索して、合法なtorrentファイルをダウンロードすることができます。torrentを合法にシェアするウェブサイト(例: www.legaltorrents.com)もあります。torrentファイルをローカルディスクにダウンロードし、NMP-1000 にアップロードします。

2. ダウンロードタスクをアップロードすると、タスクは View Run List (実行リストを表示する)上に表示されます。

3. “Set Config(構成を設定)”をクリックし、タスクを同時にダウンロードできる最大数を入力します。(デフォルト数:3).
最大ダウンロード率を入力します。(0 は制限無しの意味です)
最大アップロード率を入力します。(0 は制限無しの意味です)
UPnP NAT port forwarding(UPnP NAT ポート転送)にチェックマークを入れ、UPnP サポートのゲートウェイにおいて自動ポート転送を有効化します。(デフォルトではチェックされていません)

Download Station

一度にダウンロードする最大数: 3
最大ダウンロード速度 (KB/s): 128
(デフォルトは0 である, それは無制限を意味する)
最大アップロード速度 (KB/s): 20
(デフォルトは0 である, それは無制限を意味する)
ダウンロードタスクが完了した後の共有時間: 1
UPnP NATポート転送
適用　コンフィギュレーション説明

注意:共有時間(0 時間以上)がダウンロードタスクに設定されている場合、共有時間が終了しダウンロードが完了した後、ダウンロードタスクは Finish List(完了リスト)に移動します。

4. 実行中のダウンロードタスクを一時停止するには、View Run List（実行リストを表示する)内のタスクを選択し、"Pause/ Restart download task(ダウンロードタスクを一時停止/再開)"をクリックします。一時停止あるいは完了したタスクは、View Pause List （一時停止リストを表示する)または View Finish List（完了リストを表示する)にてそれぞれ確認することが出来ます。一時停止のダウンロードタスクを再開するには、View Run List（実行リストを表示する)内のタスクを選択し、"Pause/ Restart download task(ダウンロードタスクを一時停止/再開)"をクリックします。

5. 実行中、一時停止中、あるいは完了したタスクを消去するには、タスクを選択し、"Delete download task(ダウンロードタスクを消去する)"をクリックします。ダウンロードタスクのみを消去してダウンロードされたファイルを残すか、タスクとファイルの両方を消去するかを選択することが出来ます。

6. ダウンロードステーションからログアウトするには、右上角にある をクリックしてください。

7. ダウンロードされたファイルは NMP-1000 のネットワーク共有"Download(ダウンロード)"に保存されます。

Dump Diagnostic Information (ダンプ診断情報)

ダウンロードタスクの診断詳細を表示するには、リスト上のタスクを選択し、"Dump Diagnostic Information(ダンプ診断情報)"をクリックします。

遅い BT ダウンロード率またはダウンロードにおけるエラーの良くある理由は以下のとおりです:

1. torrent ファイルが期限切れ、ピアがこのファイルの共有を停止、あるいはファイルにエラーがある場合。
2. NMP-1000 は一定の IP を使用するよう構成されているが DNS サーバが構成されていない、あるいは DNS サーバに問題がある場合。
3. 同時ダウンロードの最大数を 3-5 に設定し、ダウンロード率の改善を図ってみてください。
4. NMP-1000 が NAT ルーターの後ろに位置している場合。ポート設定が BT のダウンロード率を遅くしたり、応答しないようにしています。問題の改善には以下の方法を試してみてください:
   a. NAT ルーターの BitTorrent ポート範囲を手動で開けます。これらのポートを NMP-1000 の LAN IP に転送します。
   b. NMP-1000 新規ファームウェアは UPnP NAT ポート転送をサポートしています。NAT ルーターが UPnP をサポートしている場合、NAT 上でこの機能を有効化します。そして NMP-1000 の UPnP NAT ポート転送を有効化します。BT ダウンロード率が改善されるはずです。

9.3.8　DDNS Service (DDNS サービス)

このオプションを有効化するとドメイン名によってサーバにアクセスすることが出来ます。

DDNS サービスを使用する前に、NMP-1000 のホスト名を DDNS プロバイダ*より登録してください。NMP-1000 は DDNS プロバイダに対応しています:members.dyndns.org, update.ods.org, members.dhs.org, www.dyns.cx, www.3322.org.

*DDNS サービス登録についての情報は、DDNS プロバイダのウェブサイトを参照してください。

9.3.9　System Port Management (システムポート管理)

NMP-1000 のシステム管理にプロトコルを割り当てることが出来ます。デフォルトのポートは 80 です。"Apply(適用)"をクリックするとシステムは再起動します。

9.3.10　View Network Settings (ネットワーク設定を表示)

このページは NMP−1000 のネットワーク設定及び状況を表示します。

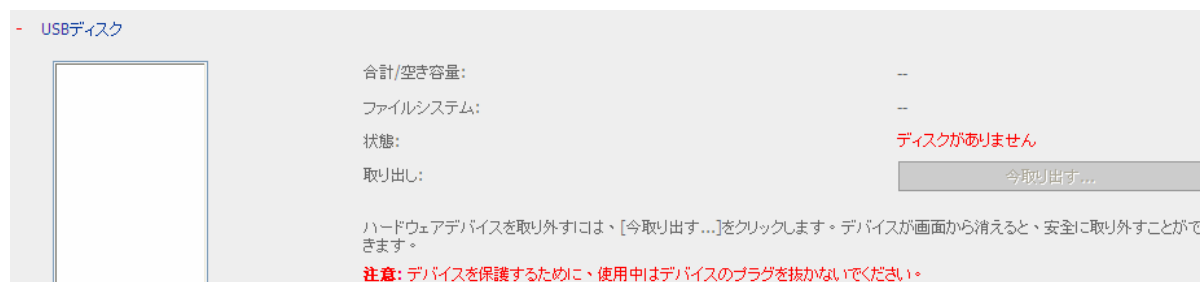
9.4 Device Configuration (デバイス構成)

9.4.1 SATA Disk(SATA ディスク)

このページでは NMP-1000 に取り付けられたハードドライブのモデル、サイズ、及び現在の状況を表示します。このページからハードディスクのフォーマットをすることができます。ハードドライブがフォーマットされると、NMP-1000 は以下のデフォルトの共有フォルダを作成します:

- ✓ Download(ダウンロード):ダウンロードステーション用のネットワーク共有
- ✓ Music(音楽):音楽ファイル用のデフォルトの共有
- ✓ Photo(写真):画像ファイル(写真)用のデフォルトの共有
- ✓ Video(ビデオ):ビデオ用のデフォルトの共有

9.4.2 USB Disk (USB ディスク)

NMP-1000 は外部デバイスのマルチメディアファイルの直接再生において USB ディスクをサポートしています。デバイス詳細についてウェブインターフェイスで確認することが出来ます。

9.5 User Management (ユーザー管理)

NMP-1000 において複数のユーザー及びユーザーグループをファイル共有のために作成することができます。

9.5.1 Users (ユーザー)

以下のユーザーはデフォルトで作成されます:

- admin(管理)
  全てのシステムアクセス権限を持つ管理者アカウントです。このアカウントは消去することはできません。

- guest(ゲスト)
  組み込みユーザーで、ユーザー管理ページには表示されません。ゲストはいかなるユーザーグループにも所属しません。ゲストのログインパスワードは **guest (ゲスト)**です。

- anonymous(匿名)
  組み込みユーザーで、ユーザー管理ページには表示されません。FTP サービスによりサーバに接続した際、これでゲストとしてログインすることが出来ます。

最大で 128 のユーザーを作成することが出来ます(システムのデフォルトユーザーを含みます)。ご希望に合わせて新規ユーザーを作成することが出来ます。新規ユーザーの作成には以下の情報が必要となります:

✓ User name(ユーザー名)
ユーザー名は最大 32 文字まで使用できます。大文字小文字の区別があり、中国語、日本語、及び韓国語で使用される全角文字をサポートしています。ユーザー名は以下の文字を含むことはできません。
″ / ¥ [ ] : ; | = , + * ? < > ` ' また、- # @を先頭にすることはできません。

✓ **Password(パスワード)**

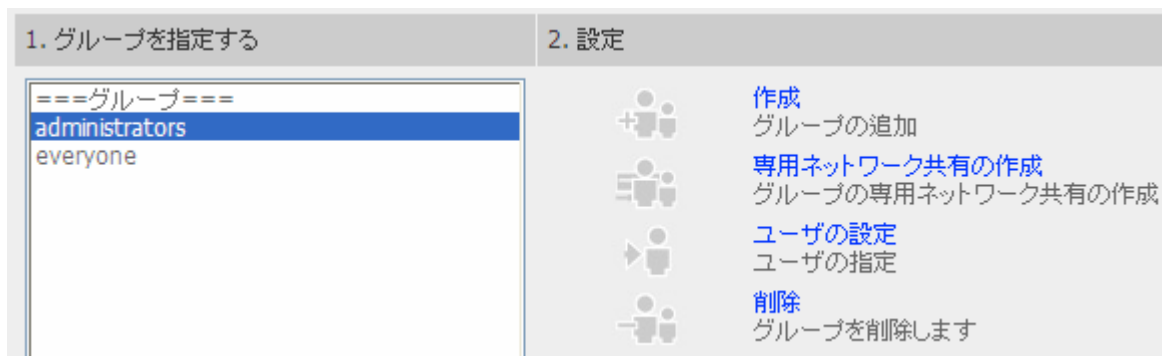
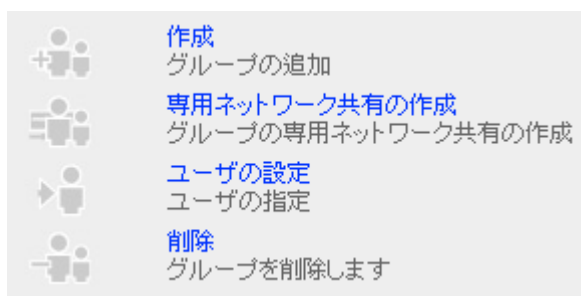
パスワードは大文字小文字の区別があり、最大 16 文字まで使用することが出来ます。パスワードには 6 文字以上使用することが推奨されます。

ユーザー管理には以下の動作を実行することが出来ます:

9.5.2　User Groups (ユーザーグループ)

ユーザーグループとは、ネットワーク共有に対して同じアクセス権限を持つユーザーの集まりです。NMP-1000 により、以下のユーザーがデフォルトで作成されます:

- **administrators(管理者)**
  このグループの全てのメンバーに管理者権限があります。このグループを消去することは出来ません。

- **everyone(全てのメンバー)**
  全てのメンバーグループに所属する全ての登録ユーザーこのグループを消去することは出来ません。

ユーザーグループは以下のオプションにより管理することが出来ます:

最大 32 グループまで作成することが出来ます。 グループ名は最大 256 文字まで使用できます。大文字小文字の区別があり、中国語、日本語、及び韓国語で使用される全角文字をサポートしています。ユーザー名は以下の文字を含むことはできません:
″ / ¥ [ ] : ; | = , + * ? < > ` '

9.6 Network Share Management (ネットワーク共有管理)

NMP-1000 上にネットワーク共有フォルダを作成し、ユーザー及びユーザーグループに異なるファイルアクセス権限を割り当てることが出来ます。

9.6.1 Create (作成)

NMP-1000 にて最大 128 ネットワーク共有まで作成することが出来ます(デフォルトのネットワーク共有を含みます)。ネットワーク共有を作成するには、以下の情報を入力してください:

✓ Network share name(ネットワーク共有名)

ネットワーク共有の名前は半角文字で最大 32 文字、全角文字で最大 10 文字まで使用できます。また、以下の記号は使用できません:

″ . + = / ¥ : | * ? < > ; [ ] %

✓ Hide network drive(ネットワークドライブを隠す)

My Network Places(マイネットワーク)にてネットワークを表示するかどうかを選択できます。ドライブは、My Network Places(マイネットワーク)に手動でディレクトリを入力することで表示することが出来ます。

✓ Path(パス)

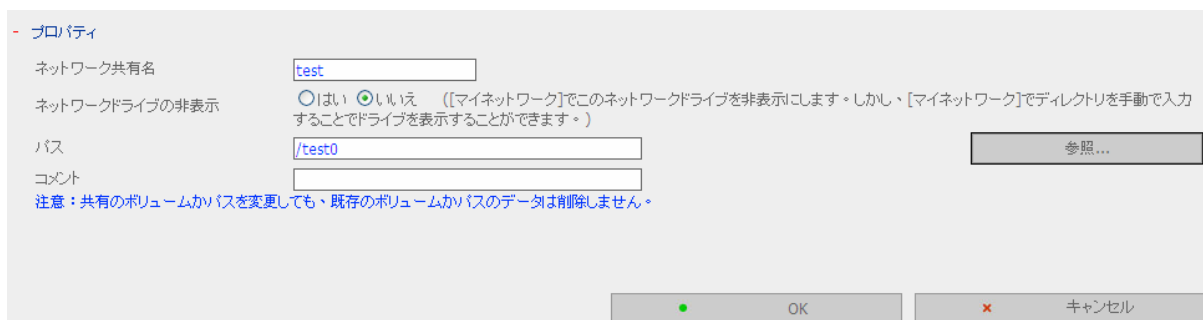
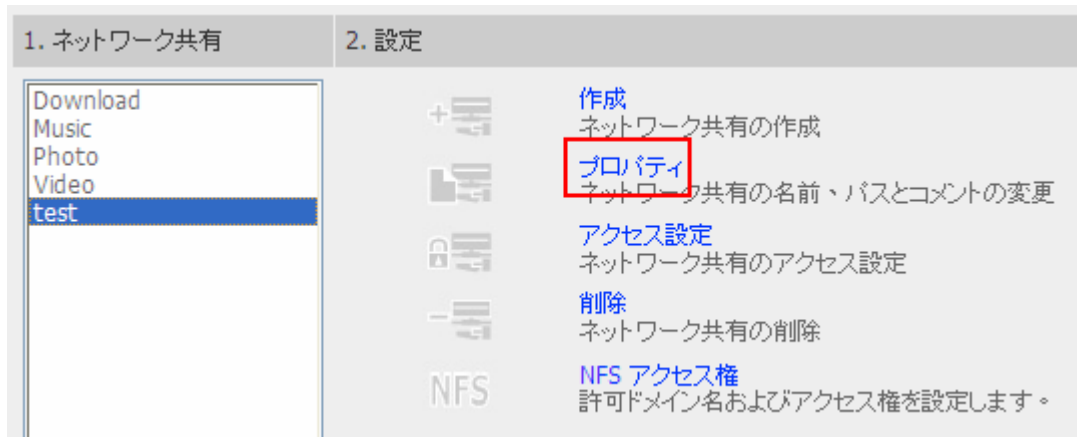
全てのデータはディスクボリュームの割り当てられたパスにて保管されます。“Specify path automatically(パスを自動的に特定する)”、あるいは手動でパスを割り当てるかを選択することが出来ます。パスは最大 256 文字まで、また以下の記号は使用できません:

″ . + = / ¥ : | * ? < > ; [ ] %

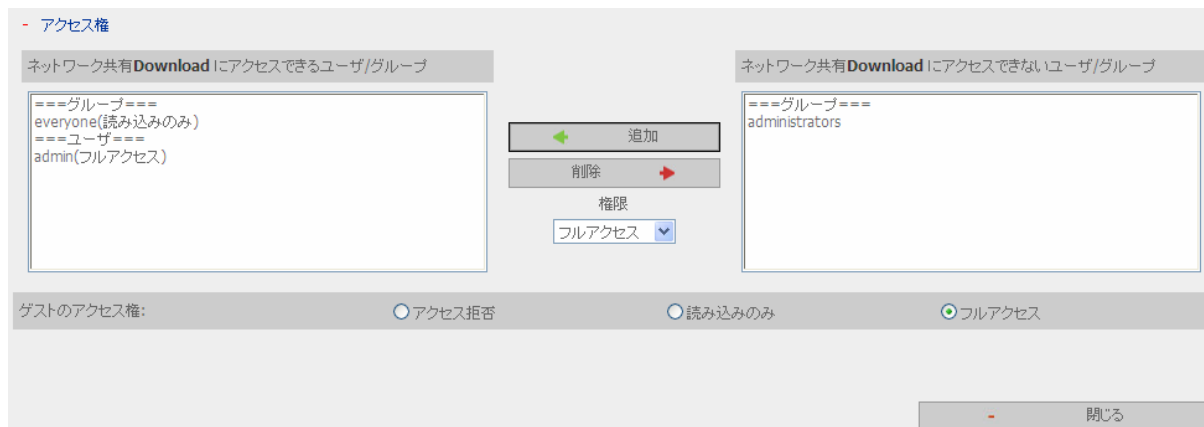
✓ Comment(コメント)

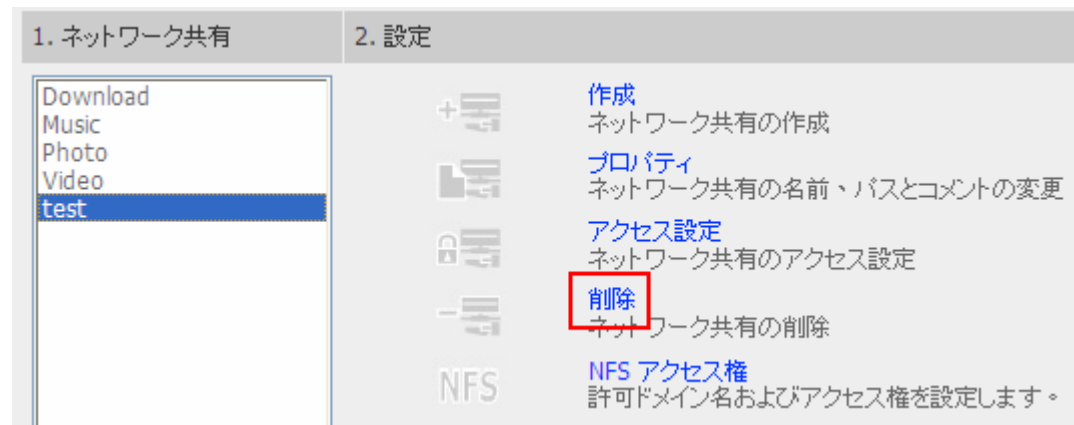
共有フォルダの簡単な説明を入力します。コメントは最大 128 文字までです。

9.6.2 Property（プロパティ）

既存のネットワーク共有のプロパティを編集するには、共有を選択し“Property(プロパティ)”をクリックします。その共有の内容を編集することが出来ます。

9.6.3 Access Control(アクセスコントロール)

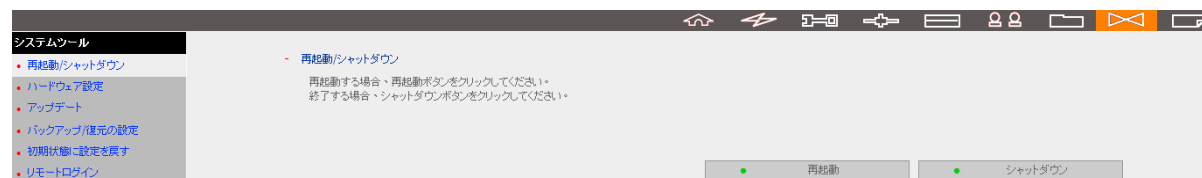
ネットワーク共有を作成した際、ユーザーまたはユーザーグループに異なるアクセス権限を割り当てることが出来ます:

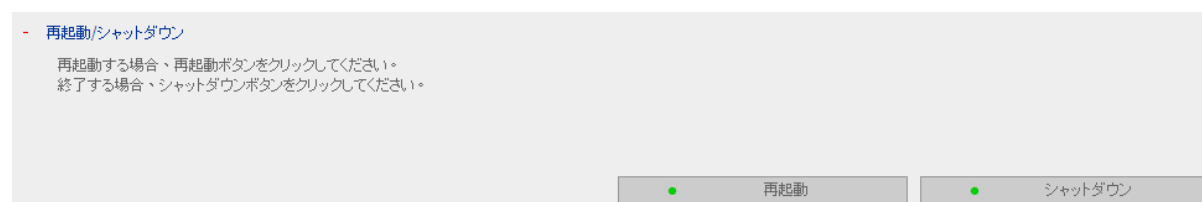
- ✓ Deny access(アクセス拒否)
  ネットワーク共有へのアクセスは拒否されます。
- ✓ Read only(読み取り専用)
  ユーザーはネットワーク共有のファイル及びフォルダを読み取ることが出来ます。
- ✓ Full access(フルアクセス)
  ユーザーはネットワーク共有のファイル及びフォルダを読み取り、書き込み、作成、あるいは削除することが出来ます。

9.6.4 Delete (消去)

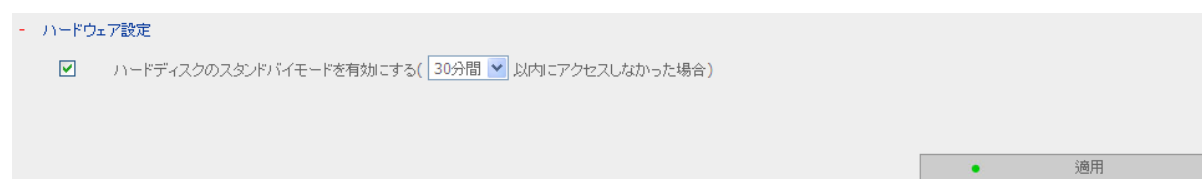
共有を選択し“Delete(消去)”をクリックします。“OK”をクリックして確定します。

9.6.5 NFS Access Control(NFS アクセスコントロール)

ネットワーク共有のNFSアクセス権限を設定することが出来ます。この設定はデフォルトでは拒否の状態です。

9.7 System Tools (システムツール)

System Tools (システムツール)により NMP-1000 のメンテナンス及び管理が最適化されます。

9.7.1 Restart/ Shutdown (再起動/シャットダウン)

サーバの再起動には"Restart(再起動)"をクリック、オフにするには"Shutdown(シャットダウン)"をクリックします。

9.7.2 Hardware Settings (ハードウェア設定)

NMP-1000 のハードディスク スタンバイモードを有効化できます。 ハードドライブへのアクセスがない状態が特定の時間続いた場合、ハードドライブはスタンバイモードになります。

9.7.3 System update (システム更新)

注意：システムが正常に動作している場合は、ファームウェアの更新は必要ありません。

システムファームウェアを更新する前に、製品モデル及びファームウェアバージョンが正しいことを確認してください。ファームウェアを更新するには以下のステップに従ってください:

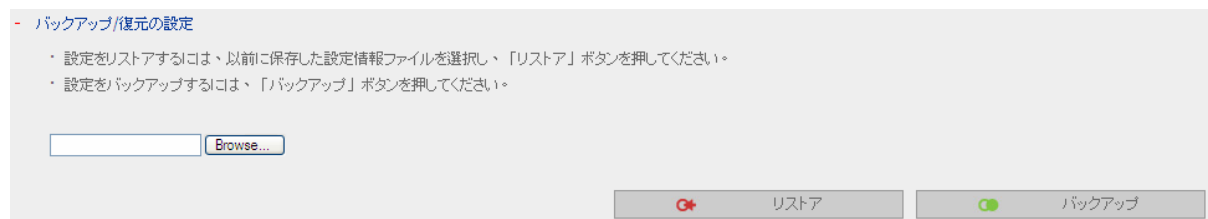
ステップ 1:最新のファームウェアのリリースノートをQNAPウェブサイト http://www.qnap.comからダウンロードします。ファームウェアの更新が必要なことを確認するため、リリースノートをよく読んでください。

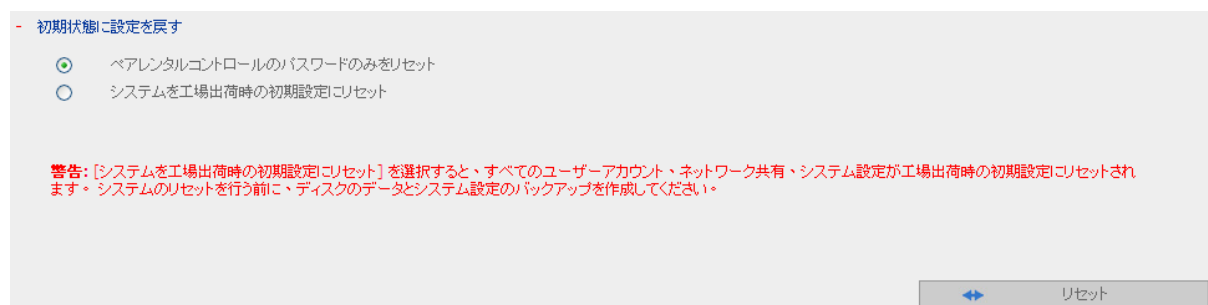
ステップ 2:ファームウェアを更新する前に、更新中のデータ損失の可能性を防ぐため、全てのディスクのデータをバックアップしてください。

ステップ 3:"Browse…(参照)"をクリックし、システム更新に適切なファームウェアの画像を選択します。"Update System(システムを更新する)"をクリックしてファームウェアを更新します。

注意：システムの更新には、ネットワーク接続状況により数十秒から数分かかることがあります。そのままお待ちください。更新が完了した際にシステムがメッセージを表示します。

9.7.4 Back up/ Restore Settings (バックアップ/復元設定)

- ユーザーアカウント、サーバ名及びネットワーク構成などを含む全ての設定をバックアップするには、“Backup(バックアップ)”をクリックし設定ファイルを保存します。
- 全ての設定を復元するには、“Browse(参照)”をクリックし、保存されている設定を選択、“Restore(復元)”をクリックします。

9.7.5 Reset to Factory Defaults (工場出荷時設定にリセットする)

保護者規制パスワードのリセット、及びシステムの工場出荷時設定へのリセットをおこなうことが出来ます。デフォルトの保護者規制パスワードは 111111 です。“Reset system to factory default(システムを工場出荷時設定にリセット)”を選択した場合、ユーザーアカウント、ネットワーク共有、及びシステム設定が工場出荷時設定にリセットされます。ディスクデータ及びシステム設定は、システムのリセット前にバックアップしてください。

9.7.6 Remote Login (Telnet Connection) (リモートログイン(Telnet 接続))

このオプションを有効にすると、Telnet がサーバにアクセスできるようになります。この機能をご使用の際は、ルーターのポートあるいはファイアーウォールが開けてあるか確認してください。

9.8 System Logs (システムログ)

9.8.1 System Event Logs (システムイベントログ)

NMP-1000 は、警告、エラー、情報メッセージを含むイベントログを最新の 10,000 件まで保管しています。システムの誤作動の際に、エラーを分析するためにイベントログを参照することが出来ます。

9.8.2 System Information (システム情報)

CPU 使用率のシステム情報をこのページで表示することが出来ます。

10. Web File Manager (ウェブファイルマネージャ)

ウェブベースのWeb File Manager(ウェブファイルマネージャ)にてNMP-1000のデータを管理するには、ウェブブラウザを起動し、NMP-1000 管理ページに移動してください。“Web File Manager(ウェブページマネージャ)”をクリック、適切なログイン名及びパスワードを入力します。“guest(ゲスト)”としてログインし、ゲストに解放されている NMP-1000 のネットワーク共有にアクセスすることが出来ます。ゲストのログインパスワードは“guest(ゲスト)”です。

注意:Web File Manager(ウェブファイルマネージャ)を使用する前にネットワーク共有が作成されていることを確認してください。

ネットワーク共有を選択します。

ネットワーク共有内のファイル及びフォルダを、アップロード、名前変更、あるいは消去することが出来ます。

ファイルをオンラインで表示する

ウェブページに表示されているファイルをクリックします。ファイルの情報が表示されます。ファイル形式をブラウザがサポートしていない場合、ダウンロードウィンドウが自動的にポップアップとして現れます。ファイルをダウンロードし、PC 上で開きます。

フォルダを作成する

i.　新規フォルダを作成したいネットワーク共有またはフォルダを選択します。

ii.　ツールバーにある （フォルダを作成する）をクリックします。

iii.　新規フォルダの名前を入力し、“OK”をクリックします。

ファイルまたはフォルダの名前を変更する

i.　名前を変更したいファイルあるいはフォルダを選択します。

ii.　ツールバーにある （名前変更）をクリックします。

iii.　新規フォルダの名前を入力し、“OK”をクリックします。

ファイルまたはフォルダを移動/コピーする

i. 移動あるいはコピーしたいファイルまたはフォルダを選択します。

ii. ツールバー上にある (移動/コピー)をクリックします。

iii. 選択したファイルまたはフォルダの移動/コピー先のフォルダを選択することが出来ます。

ファイルまたはフォルダを削除する

i. 削除したいファイルあるいはフォルダを選択します。

ii. ツールバーにある (削除) をクリックします。

iii. ファイルあるいはフォルダの削除を確定します。

全てのファイル及びフォルダを削除するには, (全てを選択)、そして (削除)をクリックします。

ファイルをアップロードする

i. ファイルのアップロード先のフォルダを開きます。

ii. "Browse(参照)"をクリックしファイルを選択します。

iii. "Upload(アップロード)"をクリックします。

ファイルをダウンロードする

i. ダウンロードしたいファイルを選択します。

ii. ファイルを右クリックし、"Save Target As(名前をつけて保存)"を選択、ファイルを保存します。

ログアウト

Web File Manager(ウェブファイルマネージャ)を終了するには、 (ログアウト)をクリックします。

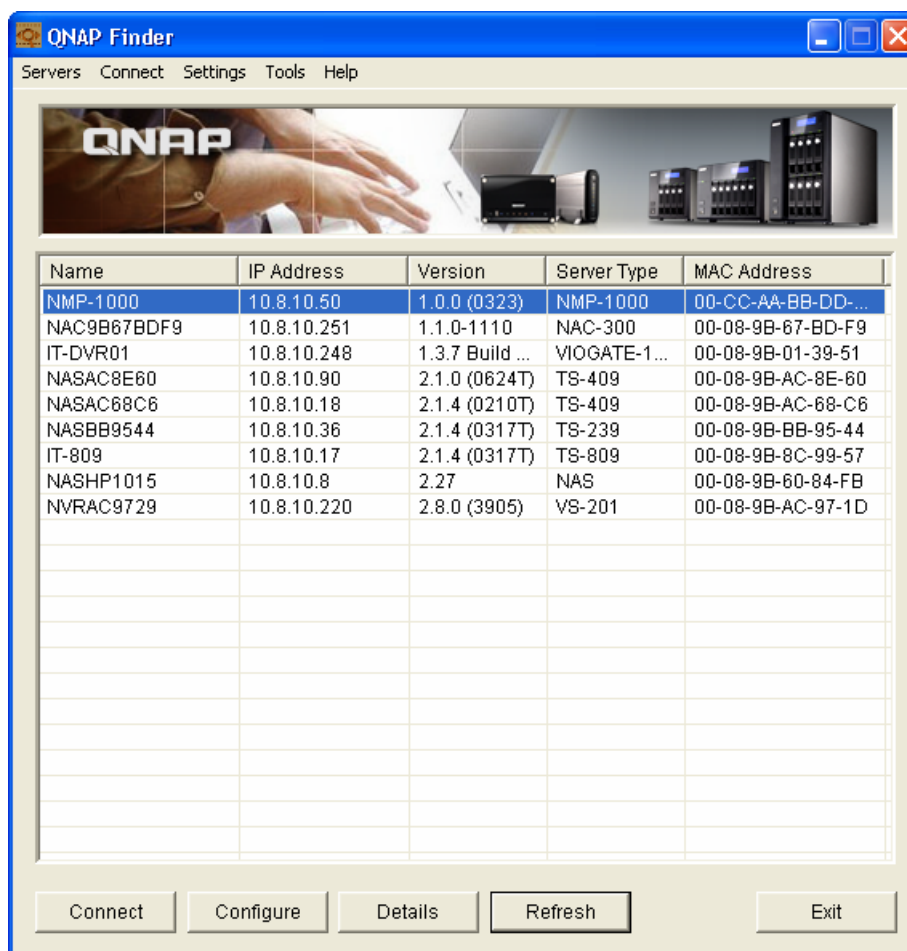
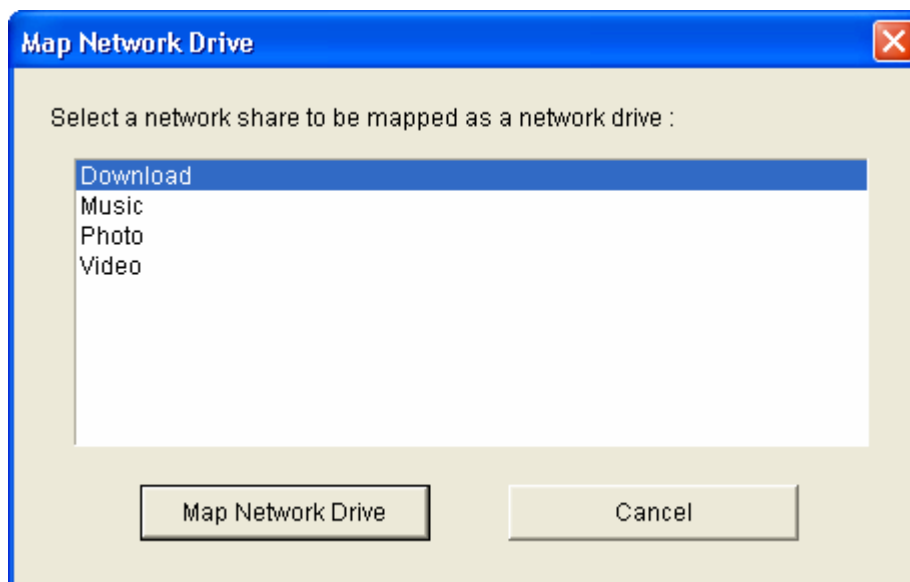
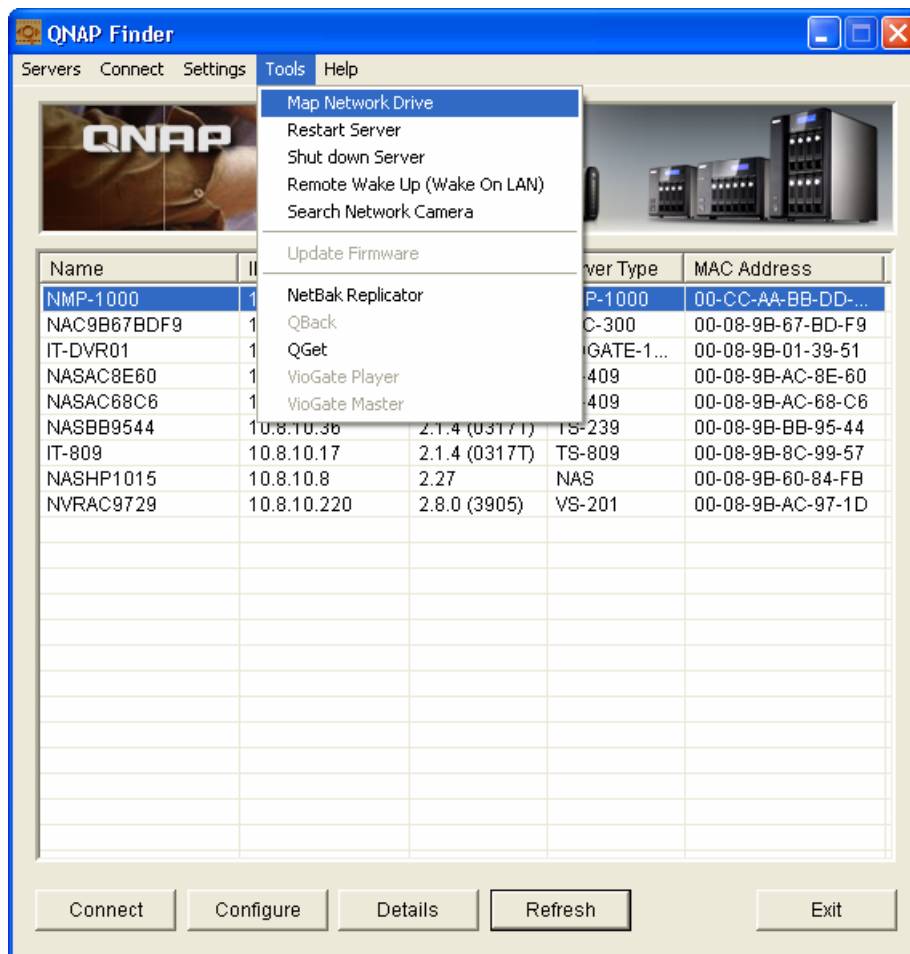
11. その他のソフトウェアユーティリティ

11.1 QNAP Finder

QNAP Finder はローカルネットワーク上の使用可能な全ての NMP-1000 デバイスを検索し、共有をネットワークドライブとしてマップするためのユーティリティです。

Finder は CD-ROM よりインストールすることが出来ます。

Windows XP SP2 をご使用の際は、最初に実行する際にユーティリティのブロックを解除してください。

リスト上の NMP-1000 名をダブルクリックして、デフォルトのウェブブラウザによりデバイスに接続します。NMP-1000 がネットワークに接続されていることを確認してください。

Windows OS 上の“Tools(ツール)”メニューより、NMP-1000 の共有をネットワークドライブとしてマップすることを選択できます。

11.2　NetBak レプリケータ

NetBak Replicator(NetBak レプリケータ)はシステム(Windows® OS のみ)にデータバックアップ用にインストールされた強力なプログラムです。ローカル PC 上のいかなるファイルあるいはフォルダでも、LAN または WAN を使用して NMP-1000 上の特定の共有フォルダにバックアップすることが出来ます。

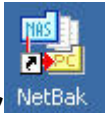
主要機能

1. Backup (バックアップ)
   - Instant Backup（即時バックアップ）
     ローカル PC 上のファイルまたはフォルダを選択し、NMP-1000 上の特定のネットワーク共有フォルダに即座にバックアップすることが出来ます。

   - File Filter (ファイルフィルタ)
     特定のタイプのファイルがバックアップから除かれるよう選択することが出来ます。データをバックアップする際に、システムはこれらのファイルタイプに属する全てのファイルをフィルタします。

   - Schedule (スケジュール)
     このオプションにて、データのバックアップのスケジュールを特定することが出来ます。(例:毎日正午、または毎土曜日午後 5 時など)

   - Monitor (監視)
     このオプションが有効の場合、ファイルあるいはフォルダに変更が加えられた場合、全てのファイルあるいはフォルダはバックアップのため即座にサーバにアップロードされます。

2. Restore (復元)
   このオプションを選択すると、バックアップされたデータは元のファイルの場所か、あるいは新規ディレクトリに復元されます。

3. Log (ログ)
   このオプションを有効にすると、NetBak レプリケータのイベント(例:NetBak レプリケータの開始及び終了時間)が記録されます。

NetBak レプリケータのインストール

1.　NMP-1000 CD-ROM を実行します。“Install NetBak Replicator(NetBak レプリケータのインストール)”を選択します。

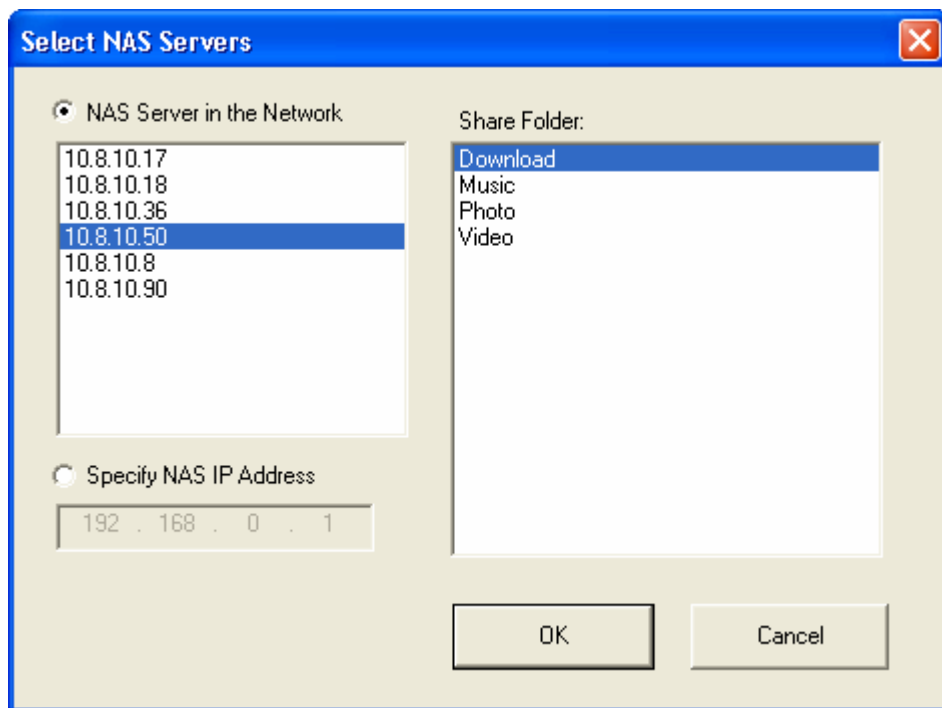
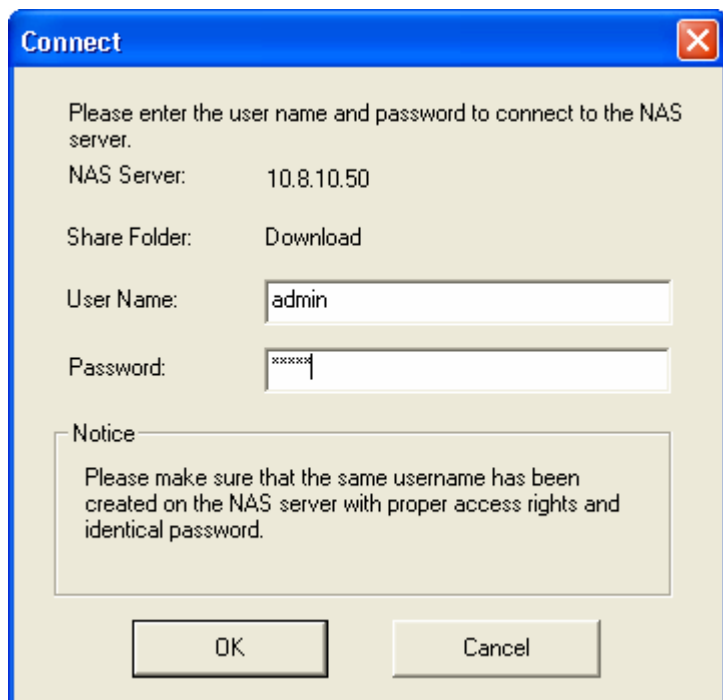
2.　ステップに従って NetBak レプリケータをインストールします。

3.　インストールが成功すると、ショートカットアイコン NetBak がデスクトップに表示されます。NetBak レプリケータを実行するにはアイコンをダブルクリックします。

NetBak レプリケータの使用

1. NetBak レプリケータを使用する前に、NMP-1000 管理にログインして“Network Share Management(ネットワーク共有管理)”に移動し、バックアップ用の共有フォルダを作成します。共有フォルダが全ユーザーアクセスに開放されているか、あるいは共有フォルダに NetBak レプリケータにより認可されているアカウントまたは管理者としてログインしているか確認してください。

2. NetBak レプリケータを実行します。 をクリックします。全ての NMP-1000 サーバとネットワーク内にあるその共有フォルダが表示されます。NMP-1000 の検索が問題なくおこなわれるよう、NetBak レプリケータを使用中は QNAP Finder をオフにしてください。

3. 以下のウィンドウが表示された際、LAN 内の全ての NMP−1000 は左のリストに表示されます。右側のサーバ及び共有フォルダを選択します。NetBak レプリケータは WAN 経由のバックアップもサポートしています。NMP−1000 の IP アドレスを入力することでデータの直接バックアップ及び共有フォルダの選択が出来ます。“OK”をクリックします。

4. ユーザー名及びパスワードを入力しサーバにログインします。

5. NMP−1000 に接続した後、バックアップの手順を開始することが出来ます。

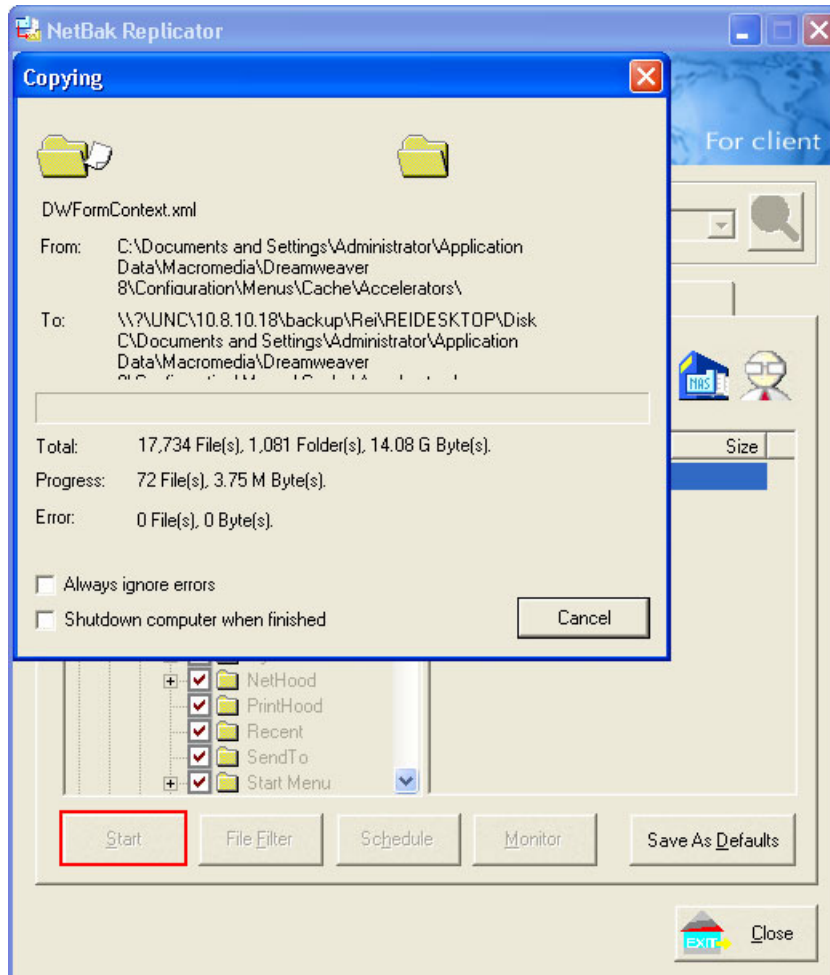
NetBak レプリケータ)上のボタンの説明

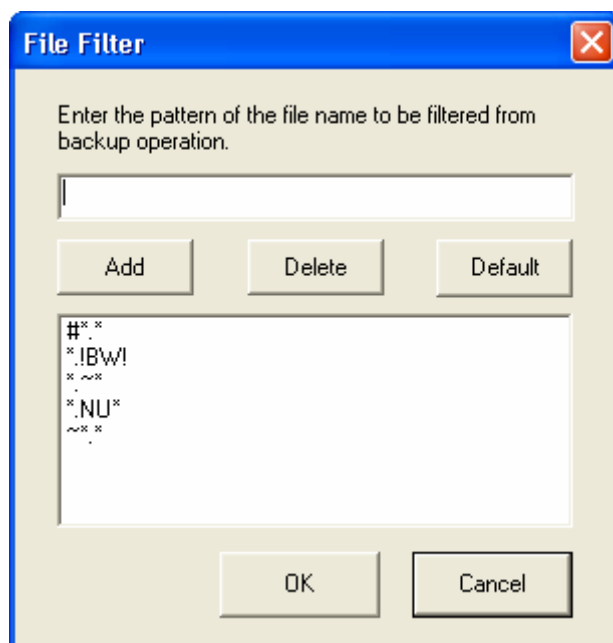
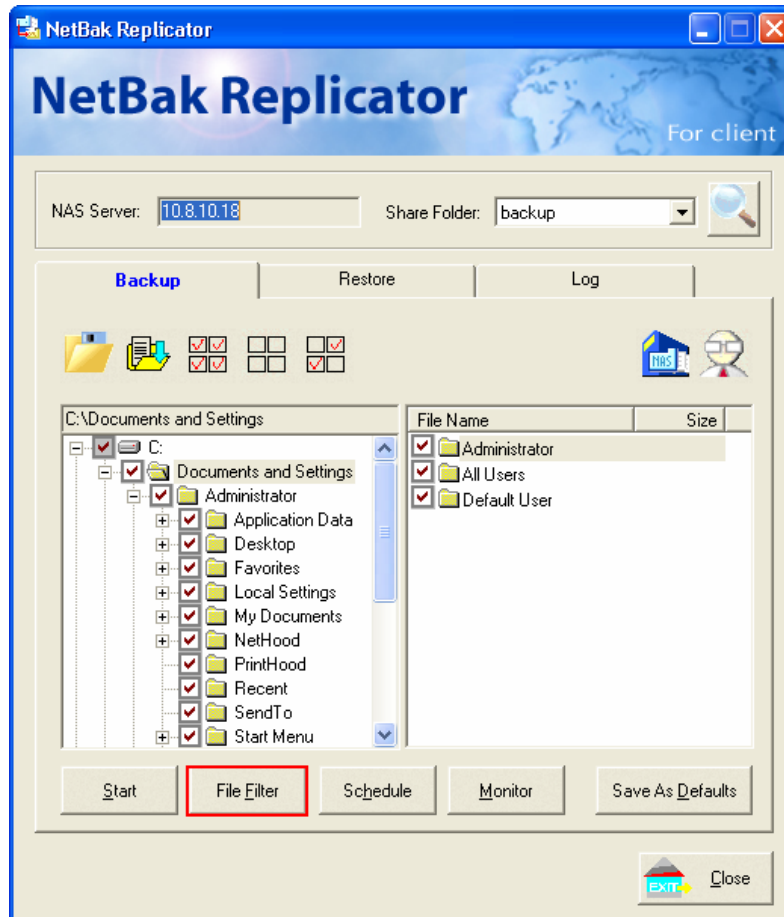
	構成を開く:前回保存された NetBak レプリケータの構成を開きます。
	構成を保存:NetBak レプリケータの設定を保存します。ファイル名は*.rpr です。
	全てを選択:ウィンドウ内の全ての項目を選択します。
	全てをクリア:選択をクリアします。
	マイドキュメントを選択:マイドキュメント内の全てのフォルダを選択します。
	NMP-1000 バックアップフォルダを開く:どこにファイルがバックアップされたか、またアーカイブされたファイルを手動で確認または管理することが出来ます。
	バックアップ詳細:パワーユーザーは、さらに詳細なオプションでフォルダをバックアップすることが出来ます。

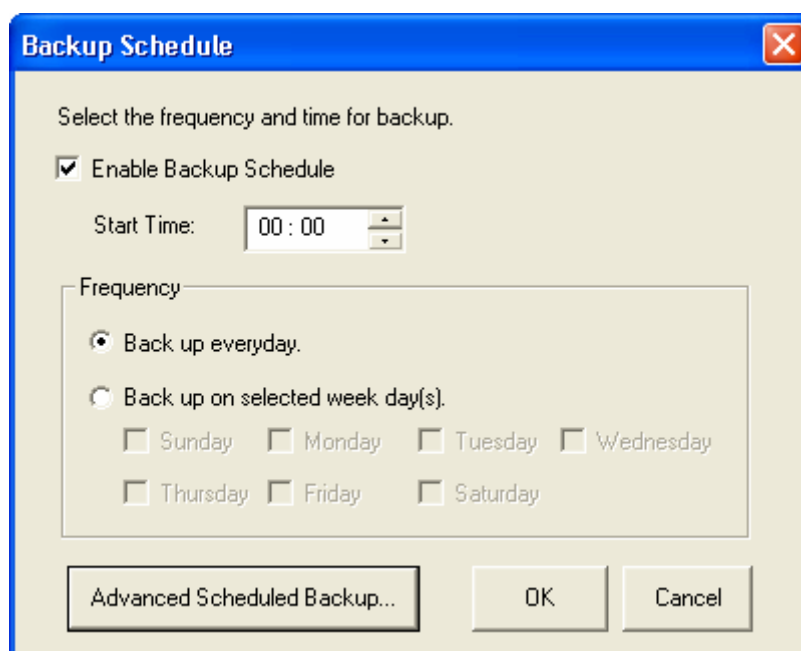
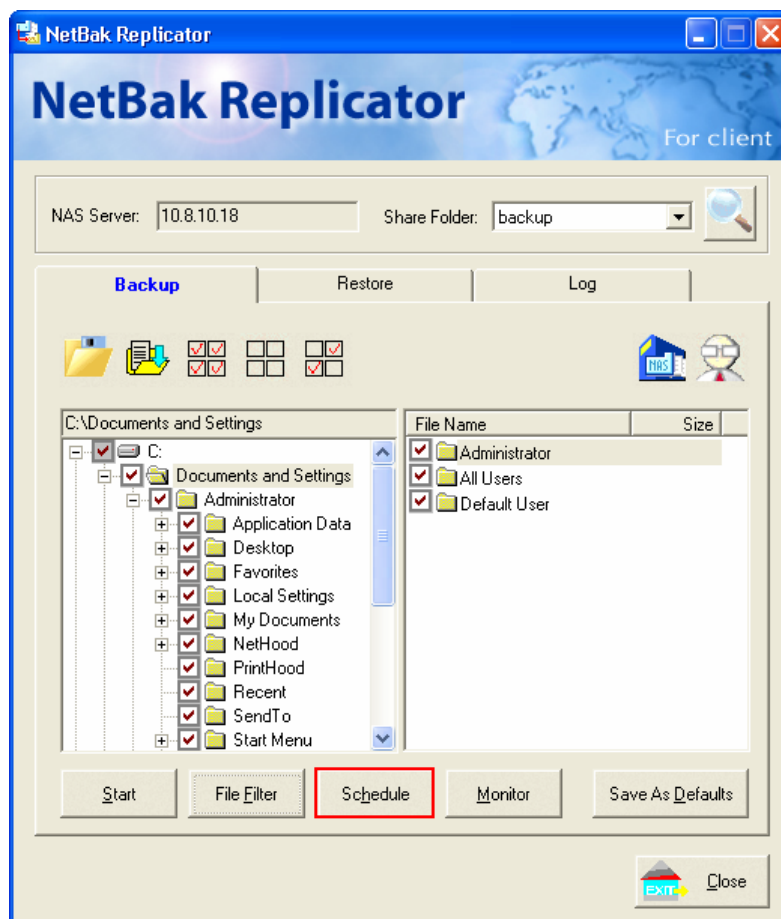
- Backup（バックアップ）

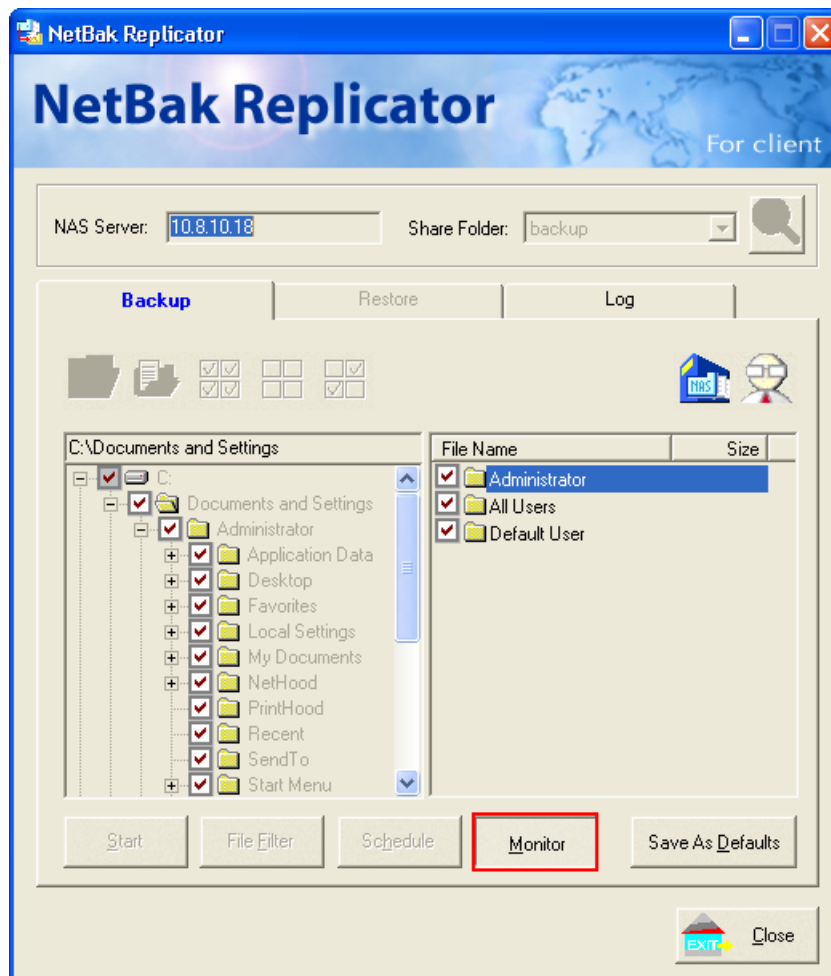
バックアップするファイル及びフォルダを選択します。

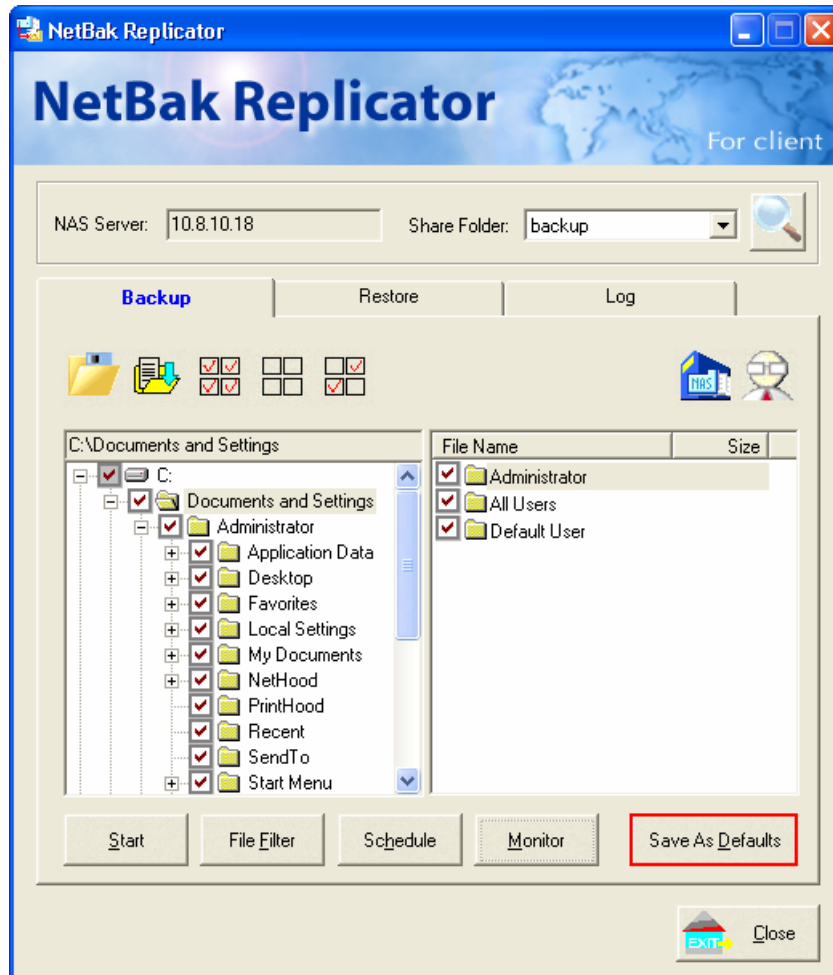
✓ Start（開始）

NMP−1000 にバックアップするファイルを選択した後、“Start(開始)”をクリックします。プログラムは選択されたファイルを NMP−1000 上の特定の共有フォルダにコピーし始めます。

✓ File Filter (ファイルフィルタ)

NetBak レプリケータのメインページ上で"File Filter(ファイルフィルタ)"をクリック、バックアップから除きたいファイル形式を選択します。"OK"をクリックします。

✓ Schedule（スケジュール）

NetBak レプリケータのメインページ上で"Schedule(スケジュール)"をクリックします。"Enable Backup Schedule(バックアップスケジュールを有効化する)"のボックスにチェックを入れ、バックアップの頻度と時間を選択します。"OK"をクリックして確定します。

✓ Monitor（監視）

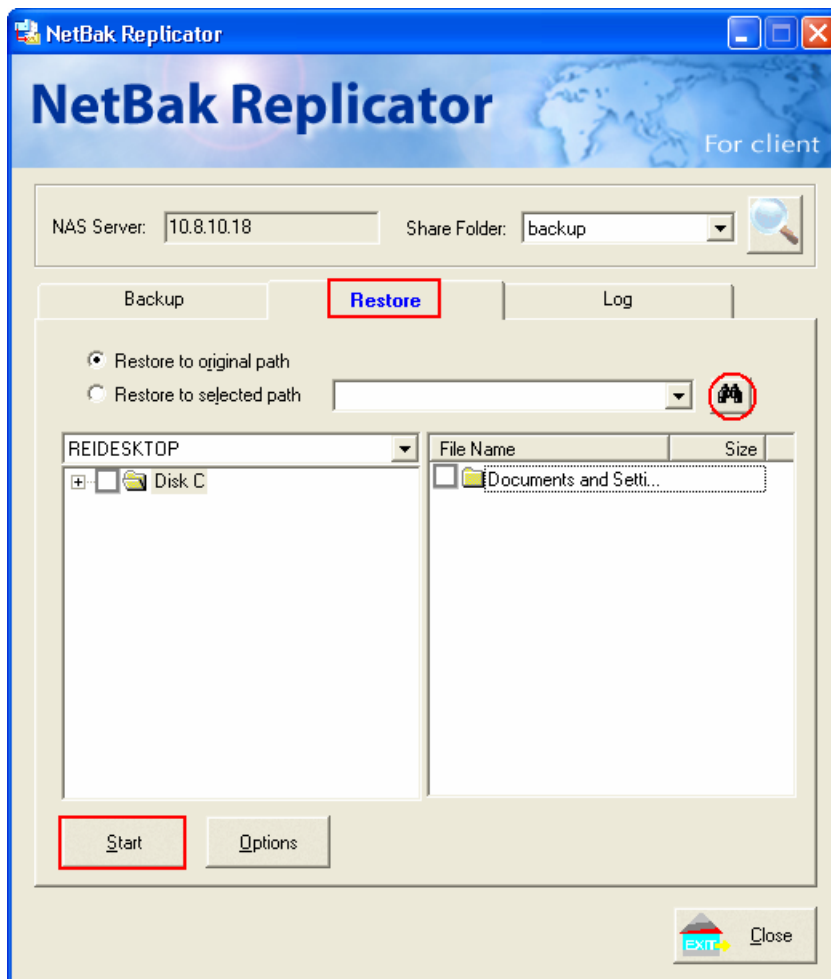
監視用のフォルダを選択します。このオプションが有効の場合、ファイルあるいはフォルダに変更が加えられた場合、全てのファイルあるいはフォルダはバックアップのため即座にサーバにアップロードされます。その他のファイルはグレー（灰色）になり、選択することは出来ません。“Monitor（監視）”を再度クリックすると、監視が取り消されます。監視が進行中の際は、アイコンが Windows®のタスクバーに表示されます。

✓ Initialize Configuration(構成を初期化)

この機能を使用中は、NetBak レプリケータは、監視機能が有効かどうかに関わらず、ユーザーの現在の設定を全て記録します。ユーザーが再度ログインした際に、ユーザーのデータバックアップ管理のため、このプログラムは前回記録された設定を読み込みます。

- **Restore (復元)**

  以下のステップに従って、NMP-1000 から PC にファイルを復元してください。

  a. 元の位置に戻す:データが復元される場所を選択します。

  b. 新しい復元位置を選択する:をクリックしてデータを復元するディレクトリを選択するか、あるいはドロップダウンメニューから前回選んだ場所を選択してください。

  c. 右側のリストから復元するフォルダ及びサブフォルダを選択し、“Start(開始)”をクリックします。

d. オプション:リカバリーオプション及びエラーオプションを選択します。

復元ファイルが存在する場合、NetBak レプリケータは:

✓ Overwrite all the files(全てのファイルを上書きする)

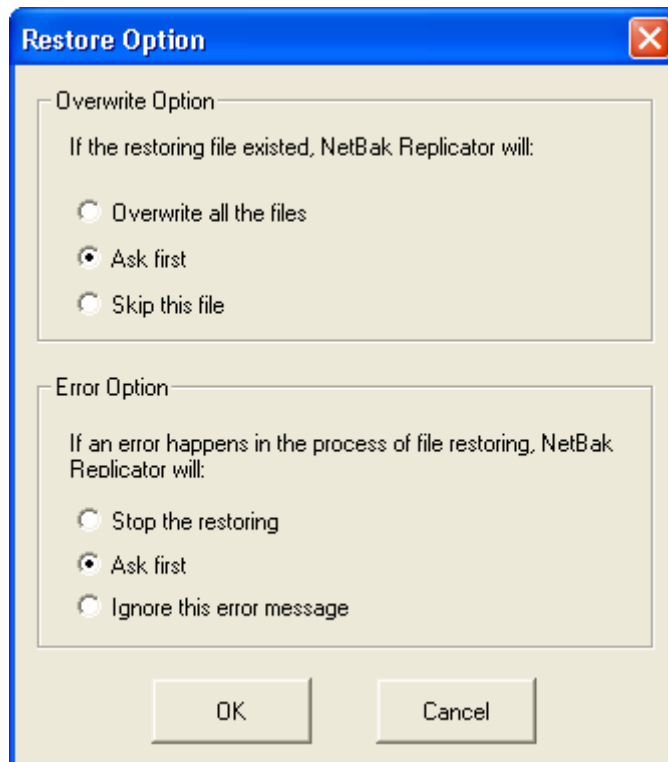
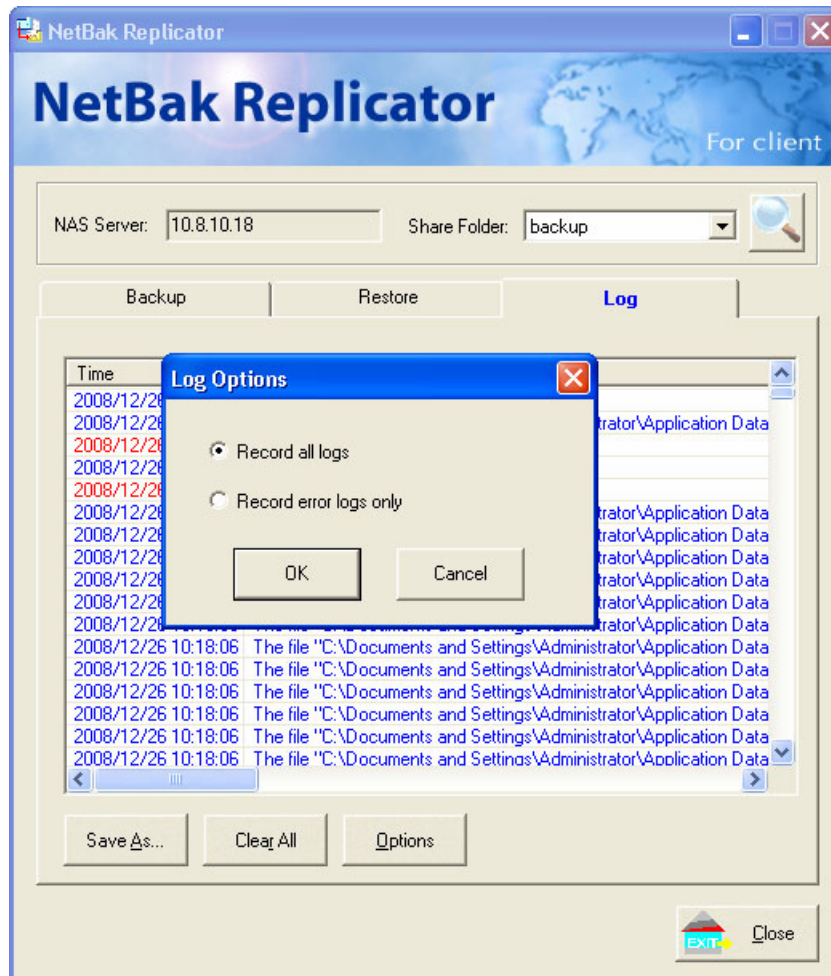
✓ Ask first(常に確認メッセージを表示する)

✓ Skip this file(このファイルをスキップ)

ファイルの復元中にエラーが発生した場合、NetBak レプリケータは:

✓ Stop the restoring(復元を停止する)

✓ Ask first(常に確認メッセージを表示する)

✓ Ignore this error message(エラーメッセージを無視する)

- **Log (ログ)**
  a. Save As…(名前をつけて保存):NetBak レプリケータに全てのログを保存するには、このボタンをクリックします。全てのログはテキストファイルとして保存されます。
  b. Clear All(全てをクリア):全てのログをクリアするにはこのボタンをクリックします。
  c. Option(オプション):記録されるログのタイプを選択します—“Record all logs(全てのログを記録)”あるいは“Record error logs only(エラーログのみ)”

12. システム メンテナンス

このセクションではシステムリカバリー及びハードウェアのリセット手順についてご紹介します。このセクションをよく読み、必ず説明に従ってください。

QNAP は、製品の誤使用あるいは不適切な取り扱いにより発生した製品の破損/誤作動あるいはデータ損失/修復について、いかなる事由・状況に関わらず一切の責任を負いません。

12.1 リカバリー手順

システム更新中の電力不足で更新が未完了となりNMP-1000 が誤作動する場合、以下の手順に従ってシステムをリカバリーしてください。

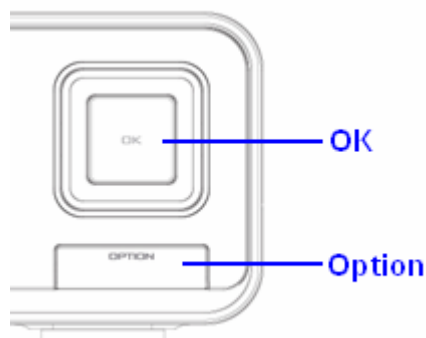
標準のファームウェア更新手順は、セクション 5.2.6 あるいは 9.7.3 をご覧ください。

リカバリー手順を実行するには二つの条件があります。

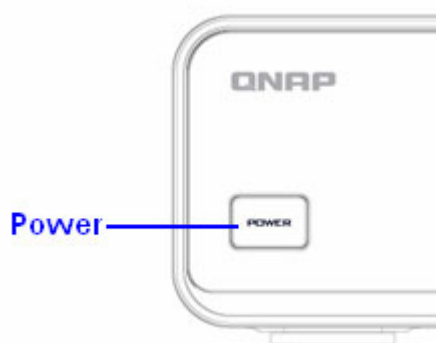
(1) eSATA または USB 2.0 インターフェイスによりNMP-1000 を外部ディスクモードで PC に接続する場合、NMP-1000 は USB 大容量記憶装置として検出されます。

(2) NMP-1000 の内部ハードドライブには、システム更新におけるファームウェアファイルの保存のため 256MB 以上の空き容量が必要です。

システムリカバリー手順:

1) 最新のファームウェアをQNAP公式ウェブサイト http://www.qnap.comからダウンロードします。
2) eSATA または USB 2.0 インターフェイスにより NMP-1000 を外部ディスクモードで PC に接続します ; 詳しくはセクション 4.2.1 をご覧ください。
3) PC はデバイスを USB 大容量記憶装置として検出します。デバイスの保存スペースをファイルブラウザにより開きます。
4) その他全ての共有フォルダが存在するルートディレクトリに、"qnapfw"(引用符は無し)という名前でフォルダを作成します。
5) 最新の NMP-1000 ファームウェアを、"qnapfw"フォルダに入れます。
6) デバイスを PC から安全に取り外します。
7) NMP-1000 の電源はオフのまま、電源は接続されていることを確認してください。
8) デバイスの前面パネルで、"Option(オプション)"ボタンを押したまま"Power(電源)"ボタンを押し、両方を同時に離します。

9) ファームウェアファイルの名前が VFD ディスプレイ上にスクロールされます。前面パネルの"OK"ボタンを押し、リカバリーモードが手順を進めるのを確定します。
10) リカバリーのプロセスが開始し、完了と共にデバイスは自動的に再起動します。

12.2　ハードウェアのリセット

NMP-1000 が理由無しに反応しなくなった場合、ハードウェアのリセットを試行してください。リセットするには、前面パネルの"Power(電源)"ボタンを 6 秒以上長押しします。デバイスがリセットし、電源がオフになります。デバイスの電源を入れてください。プレーヤーが正しく動作するはずです。リセット後にデバイスが正しく動作しない場合、販売業者/取扱店または当社テクニカルサポートにご連絡ください。

テクニカルサポート

QNAP は専用のオンラインサポート及びインスタントメッセンジャーによるカスタマーサポートを提供しています。以下の方法でご連絡ください:

オンラインサポート:http://www.qnap.com/onlinesupport.asp
MSN: q.support@hotmail.com
Skype: qnapskype
Forum: http://forum.qnap.com/

米国およびカナダにおけるテクニカルサポート
メール: q_supportus@qnap.com
電話: 909-595-2819 外線110
住所: 168 University Parkway Pomona, CA 91768-4300
受付時間: 08:00~17:00 (GMT- 08:00 太平洋時間、月曜日から金曜日)

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 3, 29 June 2007

Preamble

The GNU General Public License is a free, copyleft license for software and other kinds of works.

The licenses for most software and other practical works are designed to take away your freedom to share and change the works. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change all versions of a program--to make sure it remains free software for all its users. We, the Free Software Foundation, use the GNU General Public License for most of our software; it applies also to any other work released this way by its authors. You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for them if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs, and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to prevent others from denying you these rights or asking you to surrender the rights. Therefore, you have certain responsibilities if you distribute copies of the software, or if you modify it: responsibilities to respect the freedom of others.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must pass on to the recipients the same freedoms that you received. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

Developers that use the GNU GPL protect your rights with two steps: (1) assert copyright on the software, and (2) offer you this License giving you legal permission to copy, distribute and/or modify it.

For the developers' and authors' protection, the GPL clearly explains that there is no warranty for this free software. For both users' and authors' sake, the GPL requires that modified versions be marked as changed, so that their problems will not be attributed erroneously to authors of previous versions.

Some devices are designed to deny users access to install or run modified versions of the software inside them, although the manufacturer can do so. This is fundamentally incompatible with the aim of protecting users' freedom to change the software. The systematic pattern of such abuse occurs in the area of products for individuals to use, which is precisely where it is most unacceptable. Therefore, we have designed this version of the GPL to prohibit the practice for those products. If such problems arise substantially in other domains, we stand ready to extend this provision to those domains in future versions of the GPL, as needed to protect the freedom of users.

Finally, every program is threatened constantly by software patents. States should not allow patents to restrict development and use of software on general-purpose computers, but in those that do, we wish to avoid the special danger that patents applied to a free program could make it effectively proprietary. To prevent this, the GPL assures that patents cannot be used to render the program non-free.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS
0. Definitions.
“This License” refers to version 3 of the GNU General Public License.

“Copyright” also means copyright-like laws that apply to other kinds of works, such as semiconductor masks.

“The Program” refers to any copyrightable work licensed under this License. Each licensee is addressed as “you”. “Licensees” and “recipients” may be individuals or organizations.

To “modify” a work means to copy from or adapt all or part of the work in a fashion requiring copyright permission, other than the making of an exact copy. The resulting work is called a “modified version” of the earlier work or a work “based on” the earlier work.

A “covered work” means either the unmodified Program or a work based on the Program.

To “propagate” a work means to do anything with it that, without permission, would make you directly or secondarily liable for infringement under applicable copyright law, except executing it on a computer or modifying a private copy. Propagation includes copying, distribution (with or without modification), making available to the public, and in some countries other activities as well.

To “convey” a work means any kind of propagation that enables other parties to make or receive copies. Mere interaction with a user through a computer network, with no transfer of a copy, is not conveying.

An interactive user interface displays “Appropriate Legal Notices” to the extent that it includes a convenient and prominently visible feature that (1) displays an appropriate copyright notice, and (2) tells the user that there is no warranty for the work (except to the extent that warranties are provided), that licensees may convey the work under this License, and how to view a copy of this License. If the interface presents a list of user commands or options, such as a menu, a prominent item in the list meets this criterion.

1. Source Code.
The “source code” for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. “Object code” means any non-source form of a work.

A “Standard Interface” means an interface that either is an official standard defined by a recognized standards body, or, in the case of interfaces specified for a particular programming language, one that is widely used among developers working in that language.

The “System Libraries” of an executable work include anything, other than the work as a whole, that (a) is included in the normal form of packaging a Major Component, but which is not part of that Major Component, and (b) serves only to enable use of the work with that Major Component, or to implement a Standard Interface for which an implementation is available to the public in source code form. A “Major Component”, in this context, means a major essential component (kernel, window system, and so on) of the specific operating system (if any) on which the executable work runs, or a compiler used to produce the work, or an object code interpreter used to run it.

The “Corresponding Source” for a work in object code form means all the source code needed to generate, install, and (for an executable work) run the object code and to modify the work, including scripts to control those activities. However, it does not include the

work's System Libraries, or general-purpose tools or generally available free programs which are used unmodified in performing those activities but which are not part of the work. For example, Corresponding Source includes interface definition files associated with source files for the work, and the source code for shared libraries and dynamically linked subprograms that the work is specifically designed to require, such as by intimate data communication or control flow between those subprograms and other parts of the work.

The Corresponding Source need not include anything that users can regenerate automatically from other parts of the Corresponding Source.

The Corresponding Source for a work in source code form is that same work.

2. Basic Permissions.
All rights granted under this License are granted for the term of copyright on the Program, and are irrevocable provided the stated conditions are met. This License explicitly affirms your unlimited permission to run the unmodified Program. The output from running a covered work is covered by this License only if the output, given its content, constitutes a covered work. This License acknowledges your rights of fair use or other equivalent, as provided by copyright law.

You may make, run and propagate covered works that you do not convey, without conditions so long as your license otherwise remains in force. You may convey covered works to others for the sole purpose of having them make modifications exclusively for you, or provide you with facilities for running those works, provided that you comply with the terms of this License in conveying all material for which you do not control copyright. Those thus making or running the covered works for you must do so exclusively on your behalf, under your direction and control, on terms that prohibit them from making any copies of your copyrighted material outside their relationship with you.

Conveying under any other circumstances is permitted solely under the conditions stated below. Sublicensing is not allowed; section 10 makes it unnecessary.

3. Protecting Users' Legal Rights From Anti-Circumvention Law.
No covered work shall be deemed part of an effective technological measure under any applicable law fulfilling obligations under article 11 of the WIPO copyright treaty adopted on 20 December 1996, or similar laws prohibiting or restricting circumvention of such measures.

When you convey a covered work, you waive any legal power to forbid circumvention of technological measures to the extent such circumvention is effected by exercising rights under this License with respect to the covered work, and you disclaim any intention to limit operation or modification of the work as a means of enforcing, against the work's users, your or third parties' legal rights to forbid circumvention of technological measures.

4. Conveying Verbatim Copies.
You may convey verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice; keep intact all notices stating that this License and any non-permissive terms added in accord with section 7 apply to the code; keep intact all notices of the absence of any warranty; and give all recipients a copy of this License along with the Program.

You may charge any price or no price for each copy that you convey, and you may offer support or warranty protection for a fee.

5. Conveying Modified Source Versions.
You may convey a work based on the Program, or the modifications to produce it from the Program, in the form of source code under the terms of section 4, provided that you also meet all of these conditions:

a) The work must carry prominent notices stating that you modified it, and giving a relevant date.
b) The work must carry prominent notices stating that it is released under this License and any conditions added under section 7. This requirement modifies the requirement in section 4 to "keep intact all notices".
c) You must license the entire work, as a whole, under this License to anyone who comes into possession of a copy. This License will therefore apply, along with any applicable section 7 additional terms, to the whole of the work, and all its parts, regardless of how they are packaged. This License gives no permission to license the work in any other way, but it does not invalidate such permission if you have separately received it.
d) If the work has interactive user interfaces, each must display Appropriate Legal Notices; however, if the Program has interactive interfaces that do not display Appropriate Legal Notices, your work need not make them do so.
A compilation of a covered work with other separate and independent works, which are not by their nature extensions of the covered work, and which are not combined with it such as to form a larger program, in or on a volume of a storage or distribution medium, is called an

“aggregate” if the compilation and its resulting copyright are not used to limit the access or legal rights of the compilation's users beyond what the individual works permit. Inclusion of a covered work in an aggregate does not cause this License to apply to the other parts of the aggregate.

6. Conveying Non-Source Forms.
You may convey a covered work in object code form under the terms of sections 4 and 5, provided that you also convey the machine-readable Corresponding Source under the terms of this License, in one of these ways:

a) Convey the object code in, or embodied in, a physical product (including a physical distribution medium), accompanied by the Corresponding Source fixed on a durable physical medium customarily used for software interchange.
b) Convey the object code in, or embodied in, a physical product (including a physical distribution medium), accompanied by a written offer, valid for at least three years and valid for as long as you offer spare parts or customer support for that product model, to give anyone who possesses the object code either (1) a copy of the Corresponding Source for all the software in the product that is covered by this License, on a durable physical medium customarily used for software interchange, for a price no more than your reasonable cost of physically performing this conveying of source, or (2) access to copy the Corresponding Source from a network server at no charge.
c) Convey individual copies of the object code with a copy of the written offer to provide the Corresponding Source. This alternative is allowed only occasionally and noncommercially, and only if you received the object code with such an offer, in accord with subsection 6b.
d) Convey the object code by offering access from a designated place (gratis or for a charge), and offer equivalent access to the Corresponding Source in the same way through the same place at no further charge. You need not require recipients to copy the Corresponding Source along with the object code. If the place to copy the object code is a network server, the Corresponding Source may be on a different server (operated by you or a third party) that supports equivalent copying facilities, provided you maintain clear directions next to the object code saying where to find the Corresponding Source. Regardless of what server hosts the Corresponding Source, you remain obligated to ensure that it is available for as long as needed to satisfy these requirements.
e) Convey the object code using peer-to-peer transmission, provided you inform other peers where the object code and Corresponding Source of the work are being offered to the general public at no charge under subsection 6d.
A separable portion of the object code, whose source code is excluded from the

Corresponding Source as a System Library, need not be included in conveying the object code work.

A “User Product” is either (1) a “consumer product”, which means any tangible personal property which is normally used for personal, family, or household purposes, or (2) anything designed or sold for incorporation into a dwelling. In determining whether a product is a consumer product, doubtful cases shall be resolved in favor of coverage. For a particular product received by a particular user, “normally used” refers to a typical or common use of that class of product, regardless of the status of the particular user or of the way in which the particular user actually uses, or expects or is expected to use, the product. A product is a consumer product regardless of whether the product has substantial commercial, industrial or non-consumer uses, unless such uses represent the only significant mode of use of the product.

“Installation Information” for a User Product means any methods, procedures, authorization keys, or other information required to install and execute modified versions of a covered work in that User Product from a modified version of its Corresponding Source. The information must suffice to ensure that the continued functioning of the modified object code is in no case prevented or interfered with solely because modification has been made.

If you convey an object code work under this section in, or with, or specifically for use in, a User Product, and the conveying occurs as part of a transaction in which the right of possession and use of the User Product is transferred to the recipient in perpetuity or for a fixed term (regardless of how the transaction is characterized), the Corresponding Source conveyed under this section must be accompanied by the Installation Information. But this requirement does not apply if neither you nor any third party retains the ability to install modified object code on the User Product (for example, the work has been installed in ROM).

The requirement to provide Installation Information does not include a requirement to continue to provide support service, warranty, or updates for a work that has been modified or installed by the recipient, or for the User Product in which it has been modified or installed. Access to a network may be denied when the modification itself materially and adversely affects the operation of the network or violates the rules and protocols for communication across the network.

Corresponding Source conveyed, and Installation Information provided, in accord with this

section must be in a format that is publicly documented (and with an implementation available to the public in source code form), and must require no special password or key for unpacking, reading or copying.

7. Additional Terms.
“Additional permissions” are terms that supplement the terms of this License by making exceptions from one or more of its conditions. Additional permissions that are applicable to the entire Program shall be treated as though they were included in this License, to the extent that they are valid under applicable law. If additional permissions apply only to part of the Program, that part may be used separately under those permissions, but the entire Program remains governed by this License without regard to the additional permissions.

When you convey a copy of a covered work, you may at your option remove any additional permissions from that copy, or from any part of it. (Additional permissions may be written to require their own removal in certain cases when you modify the work.) You may place additional permissions on material, added by you to a covered work, for which you have or can give appropriate copyright permission.

Notwithstanding any other provision of this License, for material you add to a covered work, you may (if authorized by the copyright holders of that material) supplement the terms of this License with terms:

a) Disclaiming warranty or limiting liability differently from the terms of sections 15 and 16 of this License; or
b) Requiring preservation of specified reasonable legal notices or author attributions in that material or in the Appropriate Legal Notices displayed by works containing it; or
c) Prohibiting misrepresentation of the origin of that material, or requiring that modified versions of such material be marked in reasonable ways as different from the original version; or
d) Limiting the use for publicity purposes of names of licensors or authors of the material; or
e) Declining to grant rights under trademark law for use of some trade names, trademarks, or service marks; or
f) Requiring indemnification of licensors and authors of that material by anyone who conveys the material (or modified versions of it) with contractual assumptions of liability to the recipient, for any liability that these contractual assumptions directly impose on those licensors and authors.
All other non-permissive additional terms are considered “further restrictions” within the

meaning of section 10. If the Program as you received it, or any part of it, contains a notice stating that it is governed by this License along with a term that is a further restriction, you may remove that term. If a license document contains a further restriction but permits relicensing or conveying under this License, you may add to a covered work material governed by the terms of that license document, provided that the further restriction does not survive such relicensing or conveying.

If you add terms to a covered work in accord with this section, you must place, in the relevant source files, a statement of the additional terms that apply to those files, or a notice indicating where to find the applicable terms.

Additional terms, permissive or non-permissive, may be stated in the form of a separately written license, or stated as exceptions; the above requirements apply either way.

8. Termination.
You may not propagate or modify a covered work except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to propagate or modify it is void, and will automatically terminate your rights under this License (including any patent licenses granted under the third paragraph of section 11).

However, if you cease all violation of this License, then your license from a particular copyright holder is reinstated (a) provisionally, unless and until the copyright holder explicitly and finally terminates your license, and (b) permanently, if the copyright holder fails to notify you of the violation by some reasonable means prior to 60 days after the cessation.

Moreover, your license from a particular copyright holder is reinstated permanently if the copyright holder notifies you of the violation by some reasonable means, this is the first time you have received notice of violation of this License (for any work) from that copyright holder, and you cure the violation prior to 30 days after your receipt of the notice.

Termination of your rights under this section does not terminate the licenses of parties who have received copies or rights from you under this License. If your rights have been terminated and not permanently reinstated, you do not qualify to receive new licenses for the same material under section 10.

9. Acceptance Not Required for Having Copies.
You are not required to accept this License in order to receive or run a copy of the

Program. Ancillary propagation of a covered work occurring solely as a consequence of using peer-to-peer transmission to receive a copy likewise does not require acceptance. However, nothing other than this License grants you permission to propagate or modify any covered work. These actions infringe copyright if you do not accept this License. Therefore, by modifying or propagating a covered work, you indicate your acceptance of this License to do so.

10. Automatic Licensing of Downstream Recipients.
Each time you convey a covered work, the recipient automatically receives a license from the original licensors, to run, modify and propagate that work, subject to this License. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

An "entity transaction" is a transaction transferring control of an organization, or substantially all assets of one, or subdividing an organization, or merging organizations. If propagation of a covered work results from an entity transaction, each party to that transaction who receives a copy of the work also receives whatever licenses to the work the party's predecessor in interest had or could give under the previous paragraph, plus a right to possession of the Corresponding Source of the work from the predecessor in interest, if the predecessor has it or can get it with reasonable efforts.

You may not impose any further restrictions on the exercise of the rights granted or affirmed under this License. For example, you may not impose a license fee, royalty, or other charge for exercise of rights granted under this License, and you may not initiate litigation (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that any patent claim is infringed by making, using, selling, offering for sale, or importing the Program or any portion of it.

11. Patents.
A "contributor" is a copyright holder who authorizes use under this License of the Program or a work on which the Program is based. The work thus licensed is called the contributor's "contributor version".

A contributor's "essential patent claims" are all patent claims owned or controlled by the contributor, whether already acquired or hereafter acquired, that would be infringed by some manner, permitted by this License, of making, using, or selling its contributor version, but do not include claims that would be infringed only as a consequence of further modification of the contributor version. For purposes of this definition, "control" includes the right to grant patent sublicenses in a manner consistent with the requirements of this

License.

Each contributor grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free patent license under the contributor's essential patent claims, to make, use, sell, offer for sale, import and otherwise run, modify and propagate the contents of its contributor version.

In the following three paragraphs, a "patent license" is any express agreement or commitment, however denominated, not to enforce a patent (such as an express permission to practice a patent or covenant not to sue for patent infringement). To "grant" such a patent license to a party means to make such an agreement or commitment not to enforce a patent against the party.

If you convey a covered work, knowingly relying on a patent license, and the Corresponding Source of the work is not available for anyone to copy, free of charge and under the terms of this License, through a publicly available network server or other readily accessible means, then you must either (1) cause the Corresponding Source to be so available, or (2) arrange to deprive yourself of the benefit of the patent license for this particular work, or (3) arrange, in a manner consistent with the requirements of this License, to extend the patent license to downstream recipients. "Knowingly relying" means you have actual knowledge that, but for the patent license, your conveying the covered work in a country, or your recipient's use of the covered work in a country, would infringe one or more identifiable patents in that country that you have reason to believe are valid.

If, pursuant to or in connection with a single transaction or arrangement, you convey, or propagate by procuring conveyance of, a covered work, and grant a patent license to some of the parties receiving the covered work authorizing them to use, propagate, modify or convey a specific copy of the covered work, then the patent license you grant is automatically extended to all recipients of the covered work and works based on it.

A patent license is "discriminatory" if it does not include within the scope of its coverage, prohibits the exercise of, or is conditioned on the non-exercise of one or more of the rights that are specifically granted under this License. You may not convey a covered work if you are a party to an arrangement with a third party that is in the business of distributing software, under which you make payment to the third party based on the extent of your activity of conveying the work, and under which the third party grants, to any of the parties who would receive the covered work from you, a discriminatory patent license (a) in connection with copies of the covered work conveyed by you (or copies made from those copies), or (b) primarily for and in connection with specific products or compilations that

contain the covered work, unless you entered into that arrangement, or that patent license was granted, prior to 28 March 2007.

Nothing in this License shall be construed as excluding or limiting any implied license or other defenses to infringement that may otherwise be available to you under applicable patent law.

12. No Surrender of Others' Freedom.
If conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot convey a covered work so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not convey it at all. For example, if you agree to terms that obligate you to collect a royalty for further conveying from those to whom you convey the Program, the only way you could satisfy both those terms and this License would be to refrain entirely from conveying the Program.

13. Use with the GNU Affero General Public License.
Notwithstanding any other provision of this License, you have permission to link or combine any covered work with a work licensed under version 3 of the GNU Affero General Public License into a single combined work, and to convey the resulting work. The terms of this License will continue to apply to the part which is the covered work, but the special requirements of the GNU Affero General Public License, section 13, concerning interaction through a network will apply to the combination as such.

14. Revised Versions of this License.
The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the GNU General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies that a certain numbered version of the GNU General Public License "or any later version" applies to it, you have the option of following the terms and conditions either of that numbered version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of the GNU General Public License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

If the Program specifies that a proxy can decide which future versions of the GNU General

Public License can be used, that proxy's public statement of acceptance of a version permanently authorizes you to choose that version for the Program.

Later license versions may give you additional or different permissions. However, no additional obligations are imposed on any author or copyright holder as a result of your choosing to follow a later version.

15. Disclaimer of Warranty.
THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. Limitation of Liability.
IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MODIFIES AND/OR CONVEYS THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

17. Interpretation of Sections 15 and 16.
If the disclaimer of warranty and limitation of liability provided above cannot be given local legal effect according to their terms, reviewing courts shall apply local law that most closely approximates an absolute waiver of all civil liability in connection with the Program, unless a warranty or assumption of liability accompanies a copy of the Program in return for a fee.

END OF TERMS AND CONDITIONS